京城日報
夕刊
五月二日（金）
編輯兼發行人 印刷人
京城府太平通一丁目
發行所 京城日報社

時計完全修理
御一報次第參上
京城本町 村木時計店修理部
電話本局

# 陸相缺席問題で首相と一騎打ち

## 花井氏得意の法律論で皮肉る

## 勝田氏は緊縮一點張を非難す

## 二日の貴族院本會議

【東京電話】二日の貴族院本會議は陸相缺席問題の花井博士、財政經濟問題の勝田主計、財政經濟問題の論村義雄男等の質問を迎へて久方振りに賑やかなる景氣を示す。傍聽席にはカーキー色の陸軍將校が詰めかけ陸相缺席問題の成行を氣づかつてゐる。營の花井博士は開會に先立ち通盟の法官を訪びなから眞面目に質問を準備してゐる。午前十時十分開議、先づ日程第一の

竊犯防止及處分に關する法律案（政府提出委員長報告）を上程、三室委員長の報告あつて原案を可決し、次で前回の花井博士の質問に答へるべく

**濱口首相**　宇垣陸相の病氣は經過良好である、四日頃には多分退院出來ることゝ信ずる。しかし何分疲勞してゐるから直ちに出席することは困難であらう〔以下 illegible〕

**花井卓藏氏**　登壇して、まづ明治四十三年第二次桂内閣當時自分が國務大臣の權限及び其責任等の問題につき質した前例を引いて〔以下 illegible〕

**濱口首相**　今回の場合陸相事務管理を置く必要がないといふ點についても〔以下 illegible〕

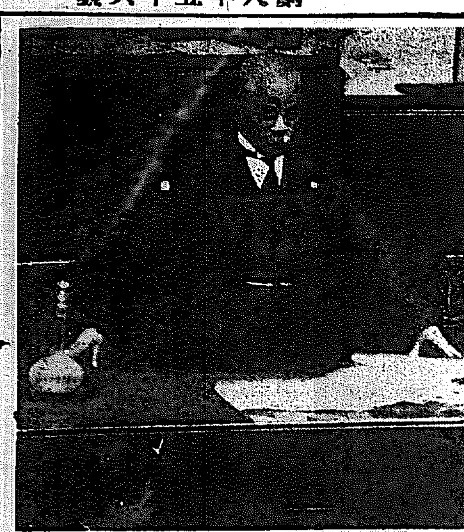
◇花井氏　私は統帥權問題につき陸相に質問すべく具合通告をして置いたのであるから私は陸相の出席を要求する意志を明かにして置く

◇濱口首相　當時の政府が各省大臣は代理又は兼攝にあらずして〔以下 illegible〕

### 國務大臣の演説に關する件

〔本文 illegible〕

**勝田主計氏**　首相は國際貸借の改善について大いに力説されるが生産に對する何等の施設をも示さずこれが改善の徹底を期することは出來ぬではないか。又政府の唱へる物價下落は順當な下落ではなく政府の極端な消〔以下 illegible〕


—濱口首相の答辯振り—
統帥權問題を大童になつて

# 財政立直しのため非募債主義續行

## 井上藏相の固い決心

### 衆議院豫算總會

【東京電話】昨夜來會在の豫算總會は二日の衆議院豫算總會は開會前より緊張の氣漲り十時半開會森田委員長より〔以下 illegible〕

**太田氏**（政友）政府は〔以下 illegible〕

**井上藏相**　非募債主義を將來まで實行する積りか、次ぎに實行豫算においての陶税、酒税、森林收入の未穫入見積りを減じた根據如何

◇太田氏　他の税、他の收入は何うしたか

◇井上藏相　第一種第二種所得税〔以下 illegible〕

**砂田重政氏**（政友）〔本文 illegible〕

◇青木政府委員　山林所得は不景氣のため百分の七を控除してゐるので〔以下 illegible〕

◇町田農相　關係なし

◇太田氏　郵便電信收入が一千五百七十萬圓の増加となつてゐる理由如何

◇武田德三郎氏　一千萬圓增額〔以下 illegible〕

◇安達内相　さうならぬ樣努力する

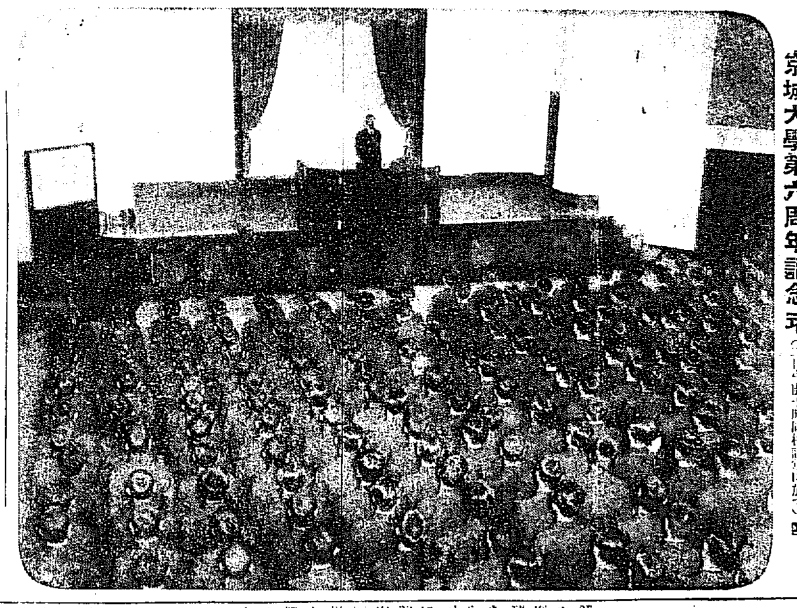
【東京電話】衆議院における義務教育費國庫負擔法改正委員會は午前十時十五分開會前日に引續き質問を續行

# 義務教費

## 國庫負擔法改正委員會

## 輸出補償法案特別委員會

【東京電話】衆議院の輸出補償法案特別委員會は二日午前十時半開會〔以下 illegible〕


京城大學第六周年記念式（二日午前十時同校講堂に於て）

# 疑惑は益々深まるのみ

## 政府は國防を獨斷で決定し得ると考へてゐるので

## 公正會と統帥權問題

【東京電話】統帥權問題に關し衆議院の豫算總會における質疑應答の經緯に見て政府が答辯回避の態度に出でたため貴族院方面は果然激化し來つたことは既報の如くであるが、公正會は一日午後一時から政務調査會、分科會を開き〔以下 illegible〕

# 秘密會議要求か

## 貴院各派で重視し

## 眞相を明かにするため

【東京電話】最近勃發せる累件大事件には其責任に相當重大なるものが伏在するもの〔以下 illegible〕

# 海軍と同一戰線に陸軍側も乘出す

## 統帥權侵犯を容さぬ

## 參謀總長と陸相の意見一致

【東京電話】〔本文 illegible〕

# 職業科用教科書

## 近く決定

五年度から小學校實業補習學校では職業科の〔以下 illegible〕

# 民政黨

計畫的暴力を用ひたと——

# 政友會

其場逃れの答辯が原因——と

# 孰れが負ふべきか議場混亂の責め

## 豫算委員會混亂事件に就き互に責任轉嫁の聲明

【東京電話】民政黨は一日の豫算總會散會後、富田幹事長の名を以て左の聲明を發表した

昨夜來豫算委員會の狀況をみるに政友會は計畫的に議事の引延しをなせるものゝ如く、委員をして同一事項を繰返さしむると共に一定の傍聽議員を入場せしめ盛んに野次らしめ、相俟つて議場を騷擾に導きつゝあるが、本日亦同様同一質問を連發議事引延しを策したゝめ、井上藏相はこれ等の質問に對し一、二回答を與へ〔以下 illegible〕

【東京電話】政友會は一日午後十一時半豫算總會散會後同委員會における混亂事件に關し、鳩山幹事長名で左の聲明書を發表した〔以下 illegible〕

# 堀切市長

## 辭表提出

【東京電話】堀切東京市長は昨年四月就任以來東京市政改革に努めたが、最近市の理事者内部に不統一を來したのと健康を害した爲め本日午後辭表を提出のはず

# 補助金目當ての會社濫立を防ぐ

## 私鐵補助改正委員會

【東京電話】衆議院私設鐵道補助法中改正法律案委員會は二日午前十時十分開會、大島要三氏（民）〔以下 illegible〕

◇林政府委員　愼重に考慮するから今直に實際經營者の意見を聞く事にする

## 會

◇府中協議員招待宴　關水京城府尹は二日午後五時より京城府協議員一同を南山莊に招待し一夕の懇談會を開く

## 人

〔人事消息欄 illegible〕

# 捕物奇聞 江都秘錄

**夜叉王召捕（三）**　稻葉進 作

〔本文 illegible〕

## あすの天氣（3）

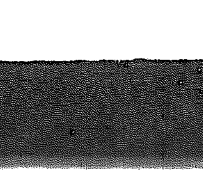
低氣壓は滿洲北部にある模樣で〔以下 illegible〕

| 豫報 | 曇一時晴 |
|---|---|
| 二日正午 | 〔illegible〕 |
| 一日最低 | 〔illegible〕 |

男女兒服。婦人服。裁縫裁斷
實地講習會
日時 來る五月十二日より向ふ一週間
場所 日本生命ビルデング三階
會費 金一圓五十錢
主催 京城婦人子供服洋裁研究會

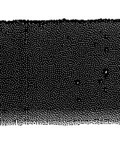
諸先生の嚴撰になる
カワウリのキモ
瀨肝
肺（肺尖カタル）肋膜 心臟等に絕大なる効力を有しております
婦人方へ 男女廿歲
京城府太平通 池田慈惠堂

Columbia
コロムビア蓄音器
超廉價の超優秀品
日本コロムビア蓄音器株式會社



ハタ印
參精葡萄酒
ニンジンブドウシュ

本店 京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
支店 南大門、東大門、西大門、水原、大田、大邱、釜山、開城、平壤、平壤大和町、白川、堤川、永登浦

大王印 自轉車タイヤー

大脇ゴム商會

理屈に適へば病は治る
雷丸號 六神丸
肺・心臟・胃腸 結局はこれで治せ
雷丸號藥房

# 焼死者を出した 黄金町の火事

## 負傷者數名を出し 光武臺も半焼す

二日午前一時五十六分府內黄金町四丁目二〇番地看板店早川又造方雇人部屋より出火、發見が遲れたのとペンキ類が散亂してゐた爲め火は忽ち燃え擴がり隣接の朝鮮物銘酒飲料商光武臺初め二八七番地藤井龜若方同番地山中隣昶、二八四番地瀧野秀雄同番地高橋榮番地方を悉く全焼その際**藤井龜若**(五七)**は前日晝頃から痛飲熟睡してゐたため火の手の廻ることに氣がつかず氣が付いた時は既に一面火の海と化し逃げ場を失つて火焰に包まれ遂に燒死を遂げ**消化に努力した大和町消防組長、消防手某は何れも石炭を釘で突きさし頭部に燒け落ち木片で打撲傷、同某(四九)は右足にこれも燒片で打撲傷を負ふた急報に接して京城消防組初め京城龍山各消防組、憲兵隊、本町署員青年團等現場に駈けつけ消火につとめた結果約二十分間燒いて午後二時二十六分漸く鎭火した。損害約六萬圓に上る見込みである

### 失火のもとは ローソクをつけて 眠つてゐたため

原因は同夜早川又造方雇人李龍(二〇)が外出先から歸り雇人部屋には電氣を使用せしめないのでローソクを持つて部屋に入り、そのまゝ机の上に立てゝおいたのが障紙に移つたもので毎日の勞働に疲れ切つた爲か何事も知らずスヤスヤと眠り、火事と氣のついた時はも早手の下しやうもなく、消防署への通報が遲れた爲めかくは大事を惹き起したものである

### 危かつた東亞倶樂部

當夜は東向の微風のため比較的大事に至らなかつたもので附近には京城・大和町消防設館東亞クラブ、大正館、喫茶初め高野山、新町御所等の大建築物あり寢入りばなの時刻の事であり近隣のカフエなどから與次が押し寄せ一時は仲々の大騒ぎであつた

### 焼死した 藤井氏 史跡に明るかつた人

右黄金町火災であへなく燒死を遂げた藤井龜若氏は新聞雜誌方面の關係深くかつ京城の史跡に通る明ろく本紙の創刊號以來の愛讀者で創刊號からのものを悉く所藏してゐる篤志家である

**黄金町の火事** 【上】は焼けた光武臺と危ふかつた東亞倶樂部 【下】は消防隊の活動

### 奮闘した高岡君

なほ右火災の際焼失した高麗營造の次男賀(二〇)は義勇消防組員で右火事と知るや直ちに出動して光武臺附近の消火につとめたが何時の間にか自分の家も一なめにされつゝあるを見ながらもこれを構はず職務に從事したものでこの奮闘な行爲に對しては附近住民も感謝の意を表し消防署、本町署でも表彰の手續きを取る模樣である。右に就いて大衆消防署長は語る

### 警火に注意 消防署長談

消防の防御方法も軍人が常に戰術や戰闘に對する講究を研究するのと同樣で平素消防上の事前調査や假想訓練が充分練られて居れば夫れ丈け有事に效果が著しいのは勿論で東亞倶樂部の防護や光武臺の半焼は其の賜である、京城市內には我々の見る所では火の玉子がごろ〳〵此處彼處に轉がつて居て寸時の油斷も出來得ない。一般も相當警火には注意してゐるが、なほ高岡君が自宅の燒けるのを構はずに他の消火につとめたことは誠に感心すべきことである

# 「單なる借金」……と 頑强に否認す

## 朝鮮疑獄事件の…… 公判けふ開かる

朝鮮疑獄事件として最初に摘發された忠清南道道廳移轉問題にからまる大田市街期成會長須々木と會社員谷野の兩名にかゝる贈收賄被告事件は二日午前九時三十分京城地方法院第四號法廷で金川裁判所長堀田檢事立會の下に開廷、當日傍聽者は案外に少く五十余名、被告尾間は流石に旅の疲れと病後に青い顔を鼠色なモーニングにつゝみ黑灰色の袴服に低く頭を垂れた相被告谷野とゝもに被告席につく。金川裁判長は型の如く被告尾間の姓名生年月日職業をただし被告事件當時の家庭の情況、前總督と被告との關係と次から次へ質問、やがて問題の道廳移轉問題にからむ須々木氏を中心とする被告尾間相被告谷野の三人のいきさつに突かゝり裁判長より

『一萬圓の金を須々木から借用してゐるがこれは道廳移轉の運動をなす相談の下にしたのだらう……』

と訊問されるや被告尾間は直下に

『いやそうではありません運動するなどとは毛頭考へませんでした、全くの借用です』

と答へ矢つぎ早やな裁判長の難詰に對し尾間は徹頭徹尾運動する意味で受けた一萬圓ではなく相被告谷野との親密なる借用であると運動費なることを否認して午後零時四十分休憩午後一時半より四萬圓問題に入ることゝなつた

### 大田事件の問答

被『山梨大將の秘書となる約束の下に來ましたが東京を出發する時既に秘書候補が三人もあつて私は來るとすぐ總督となり山梨大將の身邊雜務を世話してゐました』

裁『身邊雜務とはどんな仕事か』

被『例へば宴會とか客の接待とかで役所の仕事は一切關係がなかつた』

裁『豫審によると山梨は昭和三年三月頃から次第に被告に對して冷やかになつたやうに申してゐるがどうか』

被『昭和三年四、五月頃から冷やかになりました』

裁『どういふ所からわかつたか』

被『山梨さんの態度からわかる』

裁『素行上のことが疎隔の原因になつてゐないか』

被『私はそうとはいがいに想ひません』

と裁判長は廷丁を通じて被告の當時の證與勘定帳の部厚な綴りを被告に渡す、被告尾間は机上の證與勘定帳を人差指をなめ〳〵めくりながら『こゝに昭和四年とあるは三年の間違ひではありませんか』と問ふ中を裁判長は『そんなわけはないだらう』となじり

被『どうも四年に入つては疎遠ばなかつたやうに思ひますが』

裁『三年の十二月から殆んどずつと逆目遊んでゐるのであるから四年と三年を間違ふわけがないぢやないか』

被『……』

裁『そんなわけで山梨と信用も薄くなつて來たんではないか』

と山梨と尾間の疎遠になつた經路をたどり

裁『谷野とどうして知り合つた』

被『汽車の中で早川といふ人の紹介で』

裁『谷野も三月末頃から山梨の信用を失つたが原因は何か』

被『ある役人が谷野を近寄らせてはいけないといつたからと思ひます』

裁『三年二月に衆議院の解散で知人から選擧費の運動方を頼まれたといふが何人位か』

被『二十人位です』

裁『その送つた合計金額はどの位になつたか』

被『總額で十二、三萬圓位ではないかと思つてゐます』

裁『被告自身はどの位送つた』

被『二千圓位』

裁『あとの十一萬か十二萬の金は山梨が送つたのか』

被『私が送りました』

裁『その金は何から出てゐる』

被『何から出てゐるかわからぬが送れといはれて手渡されたので送つただけです』

と裁判長が急所を突くと尾間はただじたじと答へながらいよ〳〵大田事件に移り

被『その頃金錢には非常に窮迫してゐた』

裁『その頃谷野に對し金策の相談をしたことはあるか』

被『あります』

裁『大部金に困つたか』

被『選擧費をあづかつてゐましたが一月の末になるともうなくなつてしまひ自分の金を使つて間に合はしているといつたわけです』

裁『大田道廳の移轉運動はどう考へてゐた』

被『太田に道廳を移すのは當地方の要求と感じてゐました』

裁『困つてゐるところから金策しようと相被告谷野に相談したところ須々木に頼んで見ようといふことになつたが須々木に頼むといふのは彼が最も道廳移轉問題を期望してゐた有志であつたからではなかつたか、そうでなければ……なんで……』

被『谷野さんが須々木と十數年來の交際があつたからです』

裁『須々木から金を借りるといふのは道廳の移轉といふ交換があつてのことでせう、そうでなければわからぬではないか』

被『**いや絶對に移轉問題のことは考へてゐなかつた**』

裁『そうでなければたいした金持でもない、須々木がしかも初めて總督の秘書として誘惑した被告に何萬圓といふ金をかす道理がないではないか』

と裁判長は益々突き込み尾間はたじ〳〵となり

被『須々木さんの方でそう考へたかも知れないが』

裁『いや須々木が考へたぢやない』

被『いや私は谷野さんからもそうした事を聞いたことがない』

裁『**あてのない金を何萬圓も誰が貸すか**』

被『自分が總督に接近してゐるといふ便宜があるから金を借したのでせうそう云ふ移轉問題を條件でしたら谷野さんだつて僅か五千圓位をとるわけはありません』

裁『いやこれ一度には限らぬではないか、次から次へと……』

被『いや金を借ります時には道廳の移轉問題などは全然出なかつた』

裁『三月二十二日京城ホテルで金を受けとつたか』

被『金が出來そうであるから一度須々木にあつてくれといふことであるが』

裁『須々木の方から道廳の移轉問題に關して努力してもらひたいとあるが』

被『初めこういふ話でした。公州にある道廳はへんぴの地で大田に移すのは朝鮮の與論である。山梨在任中にどうか早く移してもらひたいものだ』

裁『それについて運動してもらひたい』

被『いや自分は赴任早々でわからぬから内部の事情を聞いて見やう』

裁『依頼があつたんだらう』

被『依頼といふと語弊がありますが側近にゐたからそうしたときは便宜をしてくれると』

裁『結局依頼も同じことぢやないか、しかも豫審廷において須々木は被告が「運動してやる」といつてゐる』

被『總選擧の前で山梨の地位が危ふくなるかどうかわからぬ時でもありましたし、運動費をとる程これほどの金の必要を感じてゐません』

裁『更に須々木はじめ村尾の兩名が豫審廷で被告が「大田移轉問題は必ず實現する」といつてゐるが』

被『**そんなことはいひません**』

裁『そうすると殺入須々木、村尾兩名は嘘言を吐いてゐると申すのか』

被『……』

裁『須々木は詳細に申立てゝゐるかどうか直接でなくても人を介してでも……』

被『運動の話はありません』

# 四萬圓問題は 事實を認める

## 尾間の審理を終り 一まづ休憩となる

尾間理吉との四萬圓問題に關し一部は尾間に渡し殘りは谷野、尾間兩名が使用するといふ相談の事實を認め更に山梨前總督新任の際東京の質津から借用した三萬八千圓の事情については

裁『東京の旅館で大村と會ひ、總督が質津から借用した三萬八千圓の返濟に困つてゐる總督の威信にかゝはる事であり、この際四萬圓を才覺してもらへば總督も救はれるし道廳の移轉問題も速かに實現するとの口實で金策を依頼したことは事實か』

被『はい』

と輕く答へその事實を認め四萬圓中一萬五千圓は直ちに同人等の經營する大田土地株式會社所有の土地を以て大村をして他にて金策をなさしめて貸與すべき旨を承諾せしめたる上昭和三年十二月十日京城府蓬萊町不知火旅館に於て**須々木權次郎より現金一萬五千圓を受取り**更に翌昭和四年一月七日同町土地二萬圓を金策したもののうち**一萬二千圓を大村の宅で受けとつた事實をいづれも認めた**が、一度び裁判長の訊問が運動費なるかにかゝるや被告尾間は極力運動費なることを否認し貸借關係であると主張した。のち金の使用に就いてただし返濟におよぶや尾間は『三千圓は現金で返濟し殘る一萬四千圓は約手を切り替へ期間は本年十二月になつてゐる』旨を申立て更に裁判長は一通の手紙を示し

裁『これは太田の須々木より來たものであるが內容は被告に對する貸借關係の消滅をかいてゐる しかるにスタンプ(消印)が京城局となつてゐる。これは何か被告が小刀細工をしたのではないか』

と問ひ質し被告はこれを否認し零時四十分ひとまづ尾間に對する審理は終了して休憩となつた

# シベリア横斷 朝鮮を經由

## 在米邦人飛行家 いよいよ母國訪問

【東京電話】昨年太平洋を横斷し米國より日本への飛行を計畫した在米邦人飛行家東善作氏は該飛行を斷念し更に米國より英國に渡り日本訪問飛行を計畫し一日遞信省航空局に對し日本領土飛行許可を願ひ出たが航空局では米國は國際航行條約に加盟していないが駐米大使より公式手續きあれば許可の方針である。この訪問飛行機はトラベルエヤー複葉四〇〇馬力、發動機はライトホルウレジエー九型三百馬力でコースはロスアンゼルスよりニューヨークに飛び大西洋を汽船でロンドンに送りロンドンよりパリ、ブラツセル、ベルリン、イルクーツク、チタと西比利を横斷しハルビンより平壤、京城、大邱、廣島、岡山、大阪を經て東京の空に英姿を現はすものでロスアンゼルス出發は多分本年五月末か六年初頭の豫定である

# 總領事館を襲ふ

## 朝鮮人女學生を交えた 犯人十八名を逮捕

【ハルビン一日發至急電報】ハルビンのメーデーは一日無事終了するかに過ぎ來たつたが午後七時に至り支那人中學生および朝鮮人約七十名は計畫的に在ハルビン日本總領事館前に集合し突如に總領事館目がけて投石を開始し窓硝子其他を粉碎し勢ひに乘じ館も總領事官舎を襲撃せんとしたが警戒中の支那巡査のため遮られ十八名は遂に逮捕され他はプリスタン方面に逃走した逮捕者中には朝鮮女學生十名ありいづれも共産系色彩を帶びたものである

### 大部分は 共產黨員 卅餘名を逮捕

【ハルビン一日發至急電報】日本總領事館を襲撃した暴徒は大部分朝鮮人でこれに小數の反帝國同盟の支那人を加へたものである、朝鮮人は東支鐵道東部沿線一帶に在住し高麗獨立黨と稱し密かに五月一日を企圖せる共產黨員であるが五月一日のメーデーを期し密かにハルビンに潜入しこの擧に出でたものである、市內警察は日本總領事館襲撃の報を得るや市中の警戒を嚴にし卅餘名を逮捕した

# 電車又もや脱線

## きのふの脱線場所附近で 乘客にも異狀なし

一日南大門通太平通りに突發した電車顛覆事件の騒ぎがまだ消えやらぬ二日午後五時二十分又もや南大門交叉點、太平通線において電車の脫線騒ぎがあつた。光化門發京城驛行第八十號電車が二日午後五時二十分頃太平通りを經て南大門通り京城驛に入らんとする際、後部の車輪が脫線しポールを切斷したが、幸に乘客には何等被害なく三十分後に復舊した、同脫線箇所は前日の脫線箇所より約十間距離にてゐる所とて、前日の椿事の直後でもあり大騒ぎとなり、これがため一時は電車が十數臺立往生し交通上極度な地點とて非常な混雜を示した

### 白米値上げ

京城府內公設市場では五月二日より白米の小賣相場を特等米一キロ二十二錢五厘に、一等米一キロ二十一錢五厘にして各一キロ當り五厘の値上げを發表した

京都菓(東いろ) ちまき 橘屋

# 草むらの中から 現はれた强盜犯

## 米屋を襲つた男を 格闘して逮捕す

一日午後七時頃西大門署某刑事部長が府內峴底洞**裏山を密行中草むらに寢そべつて居た**眼つき鋭い男を訊問すると、**突然起きあがつて組ついて來たので、大格闘の末**組敷き本署に連行して取調べると右は江華郡華南面生れ、住所不定、**前科三犯朴龍辰**(二〇)といひ、案外にも去る三月卅一日午前二時頃、**府外龍江面光石里**二二九番地米穀商**金東赫方に朝鮮紙で覆面して侵入し**ポプラで作つた木刀を突きつけて主人を脅迫、十圓を强奪逃走した犯人なることが判明同人は前記犯行後所轄の警戒網を巧にくゞつて江華島に逃げのび、該方を荒し廻つた上四月十日再び京城に立ち歸り同月十三日午前一時頃、府外孔德里、米穀商林秦緣方に押し入り金員を强奪せんとして失敗したのをはじめ、窃盜數件を働いたことを自白したが、なほ余罪多數にのぼる見込みで引續き取調べ中(寫眞は犯人朴(右)と殊勳者李刑事部長)

### 窓硝子を 突き破る バスの乘客 四名負傷

一日午後六時頃、新龍山行府營バス一〇一號運轉手金某は府內吉市町四十三番地先を疾走中前面から進行して來た自轉車を避けんとして步道に入り込み力余つて朝鮮每日新聞支局前に衝突し窓硝子二枚を破損したが、乘客林町一六二番地、井內賀(二〇)は左頭部に、岡崎町九九番地、植村すゑ(二〇)は右胸部に、峴底洞六七番地金相均(二〇)は足部に各々輕微な打撲傷、鐘路四丁目、盛運延(二〇)は顏面八ケ所を硝子の破片で負傷したが、幸ひ大事に至らなかつた、自動車の損害は十圓位

### 實業リーグ 野球戰 あすは京電 對鐵道

去る廿九日の天長節當日、第一日目を行ふ筈だつた實業野球リーグ戰は、當日雨天のため試合不可能となり從つて左のスケジユールにより試合を行ふ なほ三日は各選手三時四十分集合入場式を行ふ事となつた

三日(土)午後四時京電對鐵道

四日(日)午後二時殖銀對遞信

七日(水)午後四時殖銀對鐵道

### 强盜未遂 檢事局送り

去る二十六日午後八時四十分府外漢江里三番地崔某方へ押し入り難なく逮捕された峴底洞一〇六番地の一〇無職某の强盜未遂事件に關してはその後種々取調べを續けてゐたが、二日書類と共に檢事局へ送致した

### 羅馬法王 日本青年を引見

【ウアチカンシチー一日發電】ローマ法王はローマで開催中の日本少年團の同人たる十五名の日本人青年を本日法王廳で引見された

### 自轉車で怪我

一日午後一時五十分高陽郡漢芝面新堂里二六八番地朝鮮化學ゴム工業所に橋爪吉方店員段鎬(一九)が自轉車で鍾路九丁目一八八番地先にさしかゝつた際同番地成榮天の孫成吾順(七)が車道を北側から南側へ横斷せんとしたのとぶれ成は右足頭を骨折直ちに東大門婦人病院へかつぎ込み手當中であるが全治二週間を要する重傷である

### ガンヂス河で汽船沈沒 二百八十名溺死す

【カルカツタ廿八日發電】ベンゴールのパブナトゴーランダ間のガンヂス河において汽船コンドル號は沈沒し二百八十名溺死した


三日……四日 セール賣つくしデー

在庫品一掃のため 破格見切 大廉賣

丁子屋


### 飛降りて負傷

咸南安邊郡衛益面七番地朴某は一日京城へ來て午後八時二十分鍾路三丁目派出所前に二六八號電車がさしかゝつた際飛降りをなし右肩及後頭部を强打し顏面を負傷し附近病院で應急手當を受けた

### 天台宗の 朝鮮分院

聖德太子を祭る天台宗の朝鮮分院は永らくの懸案となつてゐたがいよ〳〵吉野町に京都六角堂分院長子幸を迎え律師星野俊英心僧都事務引受者これに當ることとなつた。諸人の諸祠に神佛の力により加持を授ける筈である

### 日本對ハンガリー 兩軍選手決定

【ブタペスト一日發電】デ杯戰歐州ゾーン第二ラウンド日本對ハンガリー庭球戰は三日より四日まで當地で行はれる兩軍選手左の如し

(日本)シングルス(原田、太田)ダブルス(原田、安部)

(ハンガリー)シングルス(ヘラ・フオン・ケーリング)(エメリツク・タツ)ダブルス(ヘラ・フオン・ケーリング)(パウル・アシユネル)


謹出火御見舞
今曉出火の際は早速御馳付御盡力に預り厚く御禮申上候一々拜趨御禮申述べき筈の處混雜中略儀不取敢以紙上御厚禮申上候 敬具
京城府黄金町四丁目 早川看板店

謹近火御見舞 京城府黄金町四丁目 京春貨物自動車部 內田運送店 電話本局二六二八番

謹近火御見舞 輪島塗漆器製造販賣 日用雜貨商 余里起三郎 京城黄金町四ノ二九九

謹近火御見舞 京城黄金町四ノ一六九 新藤印刷所 電話本局八〇九番

謹近火御見舞 やよい 武永豊三郎 京城府黄金町四ノ二六六

謹近火御見舞 京城府黄金町四丁目 植西酒店 電話本局九八八番

謹近火御見舞 理髪館 柴田登氏 京城府黄金町四丁目

謹近火御見舞 京城府黄金町四 大和屋旅館支店 電話本局一九八六番

謹近火御見舞 京城府黄金町四 壹岐醫院 電話本局一九一九番

謹近火御見舞 京城府黄金町四 林泉亭 電話本局四〇二四番

謹近火御見舞 京城府黄金町四丁目 森北辰堂 電話本局一九九一番

謹近火御見舞 京城府黄金町 濱崎屋商店

謹近火御見舞 京城黄金町四丁目二一〇 和洋食 御料理 仕出し 萬直し食堂 川本竹次郎

謹近火御見舞 カフエーツバメ 中塚薫 京城府黄金町四丁目三百十番地

謹近火御見舞 東亞キネマ鮮滿配給所 德永活動寫眞商會 東亞倶樂部 京城府黄金町四丁目 電話本局二六三七番

謹近火御見舞 松竹キネマ 共營 大正館 京城櫻井町一丁目 電話本局八七三番

謹近火御見舞 京城府黄金町四丁目 日本自動車株式會社京城出張所 電話本局二二〇・四一九・二八四〇

謹近火御見舞 京城黄金町四丁目一五五 北方材木店 電話本局一九六八番

謹近火御見舞 京城府黄金町四(電本二四二六番) 戎湯

謹類焼御見舞 京城府黄金町四丁目 高野山大師教會 黄金支部 新藤智照

謹近火御見舞 京城府黄金町二丁目 合資會社 黄金タクシー 電話本局四一八一番

謹近火御見舞 京城黄金町四丁目 土木建築 深堀工務所 電話本局二五二一番

謹近火御見舞 公認京城自動車運轉手養成所 野中彌八 京城府黄金町四 電本四一八〇

謹近火御見舞 朝鮮火災海上保險株式會社 代理店 川津商會 京城府黄金町四

謹近火御見舞 昭電合資 充電所 京城黄金町四ノ一 電話本局二六四番

謹近火御見舞 黄金町四丁目三〇六 中水友之助

謹近火御見舞 京城府黄金町四丁目 日下部喜三郎

謹近火御見舞 京城府黄金町ノ二六〇 榮壽し

謹近火御見舞 京城府櫻井町 回城呉服店 電話本局二七一九番

謹近火御見舞 京城黄金町四丁目二〇 小林源次郎

謹近火御見舞 都山流尺八指南 京城黄金町四丁目一六六 田中允山

謹近火御見舞 京城府黄金町四丁目 沼茂平

謹近火御見舞 京城府黄金町四ノ二九七 尾關龜繁 電話本局一八八番

謹近火御見舞 事務所 京城黄金町 田島勘右衛門

謹近火御見舞 京城府櫻井町一丁目一六 中水ヤス

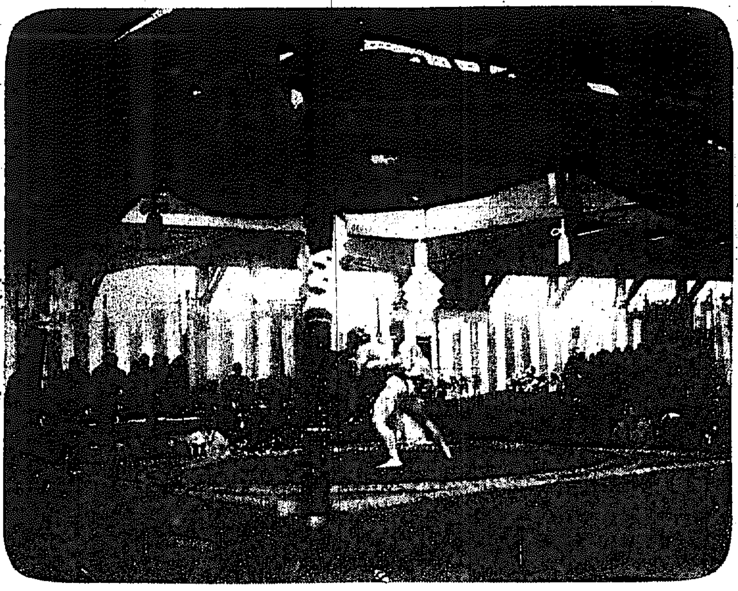
謹近火御見舞 子供洋服裁縫 小野熊三 京城府黄金町四ノ二

謹近火御見舞 京城櫻井町二丁目四一 加藤格四郎

謹近火御見舞 京城黄金町四丁目二一七 二宮キク

謹近火御見舞 すき焼 洋食 森田 京城櫻井町二丁目二十六 電話本局二七〇番

# 輝く天覧相撲 （宮内省御貸下）



宮城山(右)と常の花(左)の一戦

# 吾々婦人に公民權を與へよ

## 大いに輿論を喚起して議會の通過を期せよ

婦人參政權獲得同盟　金子しげり女史談

第五十六議會において今一息といふ間際まで漕ぎつけて惜くも敗れた婦人公民權案には今や政民兩黨の贊成に動いて

**讓ひ合ひ** の形となり政友會からは去る二十二日、民政黨からは政友會に先手を打たれて二十三日に婦人公民權案はいよ〳〵提出せられたのである。ことにおいて衆議院においては大多數を以つて難なく通過することは疑ひを入れる余地はないのであるが、後に殘る關門たる貴族院において此の案の運命が如何に運ばれて行くかは未だ未知數ではあるが、然し衆議院において絶對の贊成を以つて迎へられてゐる婦人公民權案が如何に保守的な貴族院といへどもむざ〳〵と傷つけられて葬られるやうなことはよもやあるまいとは思はれるけれども此際より以上の

**安全率を** 增すために我日本全土の婦人は大きく國家の爲め、小にしては我が身の爲め、家庭の爲め、子供の爲めにこの案が貴族院無事通過を行はしめるべきあらゆる合理的合法的手段方法を講ぜねばならぬ事はいふまでもないのである。又一方衆議院に於いても婦人公民權案の貴族院通過を期すべく種々方策を講ずべく見られてゐるから貴族院通過は殆ど疑ひない所である顧みるに現日本婦人はさきに普選實施以來婦人の議會進出の必要を痛感し今日に至つて遂に

**一大輿論** となつたのである。我々婦人總體のすべては勿論一般家庭にある婦人が國家政治に社會生活に如何に重要なる關係を有するかを思ひ、日本の全婦人は『我々婦人に公民權を與へよ』との輿論のうづを捲き起こして積極的に當れば婦人公民權案は大册に乘つた氣持ちで悠々と如何なる難關も突破し婦人の前途には輝かしい光明への途が開かれるであらう

# 麻、木綿の漂白法

◇—注意の數々

昨年使用した白地の木綿類や、麻類のシャツ等は次の樣にして漂白しますと

**新ら** しいもの〻樣に美しくなります。即ち先づ漂白液として布が充分に浸せる程度の水にクロールカルキ（漂白粉）を適量に溶かし布でこして入れます。その液の中に汚れた布を入れて布が液の面に出ない樣にしてそのまゝ三十分間位浸しておきます。そこで更に次の液をこしらへます。布が充分浸せる程度の水に硫酸四分の一をたらしこみ一寸酸味を感じる位の硫酸水をこしらへます。即ち最初漂白液に浸した布を浸して三十分間以上おきます

**そう** すれば大概漂白されます。漂白をへたなら充分水で濯いでから乾かします。なほ漂白液の水に湯を用ひますと六分間位で漂白することが出來ます。右の分量を用ひますとシャツ二枚位までは充分に漂白出來ます。最後に適宜糊付す。注意することはクロールカルキは、使用した後必ず密閉して保存しておくことで、でないと鹽素ガスがとんでしまひますから、漂白の

**効力** を失つてしまひます。カルキを求める時にもまた充分注意しなければいけません。なほ漂白液に布を浸した場合、布が液面に出るとその部分が傷みますから特に注意せねばなりません

◇…櫻花に故國を偲ぶ　ワシントンにて出淵駐米大使とその家族

# 童話　一ッのお日樣（四）

西川滿作　大石哲路畫

お母さんの話しを聞くと、パアラマは大喜びです。『ねえお母さん。この瓶には水がはいつてゐますが、若し私が太陽をまかしたら、水はこぼれずに瓶だけゆれるでせう。また萬一私が誤つて殺されたら、瓶は動かないで水が流れるでせう。私が勝つた事のわかつた時には、うんと時をついて待つて下さい』

さういつて、パアラマは色々と身支度をとゝのへました。先づ金色の大事な矢を背中にせおつて、強い弓を手にし、門出をする事になりました。『ではお母さん。行つて參ります。私の申しました事は忘れないで下さい』

『あゝパアラマや。それじや行つておいで、身體を大事にするんですよ。お母さんはお前をついてお前の歸りをまつてゐるからね』お母さんはさういつてからパアラマに門出の歌を歌つてやりました。

『ピカ〳〵金の矢を持つて大事なパアラマ門出です。行く手は遠い旅のみちお日樣退治に行くのです。強いこわいお日樣をピューッと弓で射た時は瓶もガタ〳〵動きましよう。そしたら私は待ついて、パアラマ勝つたと喜びませう』

パアラマはその歌を聞くと、本當に喜んで叫びました『おや、さよなら、お母さん。元氣で行つて參ります』

勇みに勇んだパアラマは東へ東へと長い旅を續けるのでした。行けども〳〵たゞたゞつぴろい野原ばかりです。草や木の實を拾ひ泉の水で喉のかわきをとめ、勇氣をふるつて東へ東へとなほも進みました。しかし、暫くカン〳〵と照りつけられて、めまひさへ起こりさうな暑さへ感じると、時にはさすがのパアラマもへこたれてしまつて、『あゝ。いやだ。もういつその事歸らうかしら。』などとさへ思ふのでした。けれどどうした時に思ひ出すのは母親の歌でした。『さうだ。〳〵。こんな弱いことではお母さんに申しわけない。よし進め！』自分で號令かけると、つかれた足を更に運ばせて、どん〳〵と進んでゆくのでした。

# メートル法の功德十則

メートル法が實施せられてから早や十有余年になるが未だに充分に普及されないのは遺憾であります。右にメートル法功德十則ともいふべきものを揭げて見ませう

一、地球子午線の長さを基本とせる比較的確實なる根據を有すること

二、十進法で解り易く從つて換算の必要がない

三、一地方的のものに非ずして世界共通性を有すること

四、一デシメートルの長さを一邊とした正方體の體積を有する容量は一リツトルにして最大密度に於ける蒸溜水の一リツトルの質量は一キログラムなる如く度量衡互に連絡ある事が記憶し易いこと

五、キロメートルの如き長大なるもの及ミクロンの如き極微の單位ありて文化の進展に順應してゐること

六、學校における算數の問題は殆んど減少し兒童の學習上の勞力と時間とを省くことを得

七、學術研究の用語が直ちに實務上に應用され所謂學俗一致であること

八、最も便利な一單位で作業をなすから職工の熟達が速かにして能率が增進し産業の發達を助長すること

九、各國度量衡の換算なきに至らば貿易及商取引において利すること頗る多かるべきこと

十、單位の數從來の六十餘種に比し二十七種（實用には十種位にて足る）なるがゆゑに覺え易く使ひよいこと

# 献立作成に必要なアチドーヂスの話

◇…身體にはアルカリ
◇…過剩たるべきこと

吾々の體の血液や淋巴液には一定のアルカリ性を保持してゐなければいけないのである。これはアチドーヂスといつて常に重大なものである。若し食物にアルカリ過度の低い場合には酸過剩となり發育上悪い結果を來す。故に食品の組合せにはつねに注意しなければならない。そのアルカリ過剩はどの位がよいかといふと人乳のアルカリ過剩は二、八〇であるからこれを參考とすべきである。そこで各食品のアルカリ過剩及酸過剩程度を示す

## 酸過剩

| 食品 | | 食品 | |
|---|---|---|---|
| 肉類 | [illegible] | 鷄肉 | [illegible] |
| 豚肉 | [illegible] | 牛肉 | [illegible] |
| 鷄ソップ | [illegible] | 乾酪 | [illegible] |
| 乳汁 | [illegible] | 鷄卵 | [illegible] |
| 鰹節 | [illegible] | 煮汁 | [illegible] |
| スルメ | [illegible] | 鰯 | [illegible] |
| 鮪 | [illegible] | 鯛 | [illegible] |
| 鯉 | [illegible] | 生鮭 | [illegible] |
| 牡蠣 | [illegible] | 蛤 | [illegible] |
| 鰻 | [illegible] | 蜆 | [illegible] |
| 數の子 | [illegible] | アサリ | [illegible] |
| 海老 | [illegible] | 玄米 | [illegible] |
| 雛 | [illegible] | ソバ粉 | [illegible] |
| 引割麥 | [illegible] | 大麥 | [illegible] |
| 白米 | [illegible] | 食パン | [illegible] |
| 肉饅頭 | [illegible] | 蠶豆 | [illegible] |
| 落花生 | [illegible] | 乾海苔 | [illegible] |
| 蠶豆 | [illegible] | | |

## アルカリ過剩

| 食品 | | 食品 | |
|---|---|---|---|
| バナナ | [illegible] | 柿 | [illegible] |
| 栗 | [illegible] | 梨 | [illegible] |
| 苺 | [illegible] | 葡萄汁 | [illegible] |
| 西瓜 | [illegible] | 昆布 | [illegible] |
| 蜜柑汁 | [illegible] | 隠元 | [illegible] |
| 林檎 | [illegible] | 生姜 | [illegible] |
| 甘藷 | [illegible] | 人參 | [illegible] |
| 里芋 | [illegible] | 馬鈴薯 | [illegible] |
| 百合 | [illegible] | 大根 | [illegible] |
| 牛蒡 | [illegible] | 甘蕉 | [illegible] |
| 荷 | [illegible] | 玉葱 | [illegible] |
| 南瓜 | [illegible] | 茄子 | [illegible] |
| 胡瓜 | [illegible] | 松茸 | [illegible] |
| 椎茸 | [illegible] | 昆布 | [illegible] |
| 若芽 | [illegible] | | |
| 乾昆布 | [illegible] | | |

以上の樣な數字を示してゐるが献立にはすべてこれを參考としてアルカリ過剩二、八〇以上とするがよいのである

# 各派聯合琵琶會

三日六時から美術クラブで

京城琵琶界の各流派を打つて一丸とした聯合琵琶會が朝鮮文藝社の主催で三日午後六時から南山町美術クラブで開催される、當夜は筑前薩摩より他、橘、花園、錦心、錦琵琶の各流名手二十數名が出演するよしで近來にない盛會を豫想されてる

# 兒童愛護デー

五月五日の兒童愛護デーを控て朝鮮社會事業協會では強く正しく愛らしくの標語入りに印刷物...

# 山陽軒の改築

旭町一丁目の山陽軒は改築工事が竣工した、氣持のよいボックスと、柔かな採光、それに頗る擴張されたので、宴會の求めに應ずるし、自慢の料理と綺麗な設備に人氣がよい

# 東亜倶樂部

（三日から三日間）▲「狂戀呪文」前後篇▲「沈默」エッチビーワーナー主演ヴェラレイノールズ助演

たる美麗なポスター千五百枚を府内各所へ配付した

# JODKプログラム

五月三日（土曜日）

午前十時〇分　氣象概況　各地天氣
同十時四十五分　料理献立、物の皮のけんちん汁」日用品値段
正午　時報　ニュース
午後一時三十分　講演と童謡（第二部）
子供テーについて　丁洪敎
子供デー標語朗讀　李彰奎
子供デー歌（合唱）
童謡合唱　一、紙舟　二、風車　ソウル少年會　侍天少年會
同三時十五分　趣味講座　季節の園藝（二）　白花園　白澤追太郎
同三時四十五分　ニュース　公示事項　官廳
同四時〇分　運動競技　京城實業聯盟鐵道對京電野球第一回戰實況（京城グラウンドより）　説明　上原誠治
同六時一分　合唱と獨唱　ムジイカハルミコ合唱團
一、混聲合唱
イ、霞の歌（フーラー曲）
ロ、春の怨（作者不詳）
ハ、宵出（メンデルゾーン曲）
二、女聲二部合唱　ムジイカハルミコ合唱團
イ、旅人の夜の夢（ルビンシュタイン曲）
ロ、春夜の夢（メンデルゾーン曲）
三、テノール獨唱　渡邊直大
イ、出船（杉山長谷夫曲）
ロ、ラルゴ（ヘンデル曲）
四、男聲四重奏
イ、ボルガの船唄（ロシア民謠）
ロ、團栗坊（オットー曲）
第一テノール　渡邊直大
第二テノール　鈴木三枝
第一バス　高木文雄
第二バス　東塚成三
五、混聲合唱　流浪の民（シューマン曲）　ムジイカハルミコ合唱團
同七時三十分　ニュース官廳公示事項　職業紹介事項　翌日プログラム發表
同七時三十五分　講演　國民道德に就いて　丸尾何通
同八時〇分　獨唱と管絃樂（東京）　獨唱　田谷力三　指揮　篠原正雄　JOAKオーケストラ
一、ポーランド國家
二、マポロネーズ變曲作品五三變い長調（ショパン）
淨瑠璃　講元美貞壽大夫
同　講元津賀長太夫
同　講元梅七郎
三味線　講元扇助
上調子
同九時三十分　西道雜歌
一、愁心歌
二、遊興歌
三、桃花打鈴
四、梅山打鈴
五、巫女歌　李圭　金井鎧
氣象概況　各地天氣實況　時報
同十時十五分　國民保健體操
▲御注意　本日午後六時三十分に左記を追加します
同六時三十分　內鮮語講座
元、歌劇「カヴァレリアルスチカーナ」序曲と投歌曲（マスカーニ）
四、歌劇「蝶々美人」さいはて（ブッチーニ）
五、歌劇「フィガロの結婚」（モーツァルト）
同八時三十分　講演　根の庭の家（獨唱）
年後八時三十分　上席　大島小伯鶴
同九時〇分　講元（東京）

# 遺族弔慰金

愛國婦人會拔

▲五圓伊波リヨ▲一圓宛嘉川鋒志夫、岡武セキノ、佐々木カメ、西島ツヤ、佐藤キク▲五十錢宛加藤サワ、松本トリ、宮田文子、淺野きみ、鳥枝タメ、永岡ミツ、妹尾シズエ、藤ヨシノ、本間サカエ、山下ハツイ、齋藤ス▲一圓宛宗像キン、小林京子、伊藤キミ、甲木萬、加藤ザク、合屋ヤ▲二圓石市昇子▲一圓宛谷口ヒサエ、…

# 運命大鑑定

…運命大鑑定…京城府本町…

# 處世上の……及第と落第

人生は長き試驗の連續也
安じて試驗場に入るべし
茲に健腦強精の秘法あり

**茲に二暦の治療書あり**

人は生れし時より死する時迄間斷なく試されてゐるのである。しかしてそれに吾々が及第する者が成功者となり、落第する者が失敗者となる。大にしては國家の試驗、小には小學校の試驗に始まり、入學の人材登用試驗、試驗にも一々…

**茲に諸博士の推獎あり**

**茲に無代價の提供あり**

…レーベンは第一に東京帝大の…京城府本町…東京市京橋區…


朝博金牌　フジチュウ醬油　景品付・特賣中　紀念　於朝鮮博受領金牌　優秀品
景品　特價(製甘露醬油四合瓶一本へ)貯金八十錢を小樽(九升詰)一樽に添へます是は特殊品として最高級の醬油です
内地品に勝る　定評あり　マークより實質を!!
春の御料理　是非
醸造元 大辻醸造所　三月十日より五月二十日まで　全鮮著名食料品店にて御求め下さい

小粒 大粒 仁丹
頭痛眩暈に卓効ある　銀粒の仁丹
銀粒は仁丹主劑の外貴薬朝鮮人參及びヴィタミンBを配合す
●仁丹は滋強、胸脘、精神爽快、口腔芳香、保健救急の爲め
氣分悪しき時　口中惡臭の時　音聲を使ふ時
執務勉強の時　疲勞倦怠の時　船車旅行の時
運動散歩の時　集合觀劇の時　宴會喫煙の時
食前食後　訪問接客の時　惡疫流行の時
毎日常之を「護身藥」として二、三粒絶えず活用あれ
仁丹ハミガキ・仁丹の体温計

ロシヤ飴　安東縣市場通　大山堂

資本金壹千五百萬圓　株式會社十八銀行京城支店
同新龍山支店
同龍山支店

宮内省御用達　菊正宗　京城前田商店　釜山本嘉納釜山支店

贊化病院　内科　小兒科　入院隨意　普通病室　傳染病室　醫學博士古城憲治

諸官廳　各會社　鐵道省御指定襖
於共進會　博覽會　賞牌受領
新案特許　金網入襖
日本各地で熱心な好評
分解圖面
（三）鐵筋萬能の時代が生んだ金網入襖の五大特長
耐久力…在來襖ノ五倍以上デ踏ンデモ蹴ツテモ破レマセヌ
經濟的…在來襖ト同等以下デ經濟的ナル事ハ既ニ使用者ノ證明ガ御座イマス
體裁…紙ノ張リ替ヘニ依リ何時迄モ新シイモノト變リマセン
防火…
在來襖…
◎右の外在來襖に比し優れている點は現品を御覧下さい
各道一店分權製造所ハ相談ニ應ズ　見本小襖入用ノ方ハ八拾錢送金セヨ
金網入襖朝鮮製造發賣元　表具材料販賣　木工建具製作　襖屏風額調進　美術表装一式
大邱府大和町　山本弘商店

## 吾等家の貧乏
### インド流の經濟 (七)

…東洋は世界の附町であり、人民の貧民窟である——と思つてゐたところが然くべし、東洋の或國は世界の金産額の三分の一を年々吸收して居る。それはインドである。

**黄金死藏**

世界の金産額は一年にざつと千九百萬オンスである。邦貨にして八億圓に近いものである。ところがインドへ流れ込む黄金は次の如く多い。

一九二三…二年　四〇三六、四三八オンス
一九二三…四年　三三三〇、六七〇
一九二四…五年　九一六、〇六一
一九二五…六年　三四三、〇四三
一九二六…七年　二〇二、〇二五
一九二七…八年　一九七、九六〇
一九二八…九年　一〇九、七二三

右は金地金の純輸入高である。此の外にインド國内の金鑛から採れる金とイギリスの金貨とを加へると右の數字よりもずつと多くなる。過去七年間の平均によると一ケ年におよそ六百萬オンスの黄金がインド人の腹の中へ吸込まれるといふ事である。腹の中へ吸ひ込むといふのはおかしな話であるがインド人は金を死藏する。穴を掘つて埋めてしまふ。其の在りかは

**五十億圓の黄金**

インド人は粗衣粗食に甘んじ、消費を節約して黄金の蓄積を樂しむ。インドにはどれ程の黄金が死藏されてゐるか——それは誰にもわからない。或る人はアメリカと同じ位あるだらうといふ。然しざつと五十億圓といふのがや、正確に近い計算であるらしい。

インドに五十億圓の黄金があつてもインドは矢張り貧乏である。わが子にも知らせない。インドの豐富な農産物を海外に賣り、その代金を黄金で受取る。そしてそれを使はずに貯めて置くのである。

## 資金の需要不振
### 不況の深刻化に伴ひ
### ますます著しくなる

不況の深刻化と共に資金の需要は漸次減少の傾向を示し特に商業資金の需要不振が目立つて著しくなつて來た。かくてすでに夏物仕入れの手形決濟期に入つた昨今百貨店側がや、積極的の活動を示す外殆ど目星しい仕入れのあとは見られない有様で、本町通りの小賣商等は何れも手持品の消化に全力を注ぐのみで、新規仕入れには極度の手控をなしつ、あるのみならず銀行側が又採算難で無擔保の貸出等は極力回避してゐる、更に又工事資金の需要は土木建築界の不振で銀行によつては昨年に比し約三分の一程度に減じて仕舞つたところもあるほどで一般に貸出は減少する一方である即ち特殊銀行なる鮮銀及殖銀を除き京城組合銀行の四月十五日現在の預金貸出を見るに(單位千圓)

| | 前年 | 本年 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 貸出 | 四八、四〇〇 | 四八、一一四 | △　二八六 |
| 預金 | 五三、五三三 | 五四、〇四七 | 五一四 |

となつており貸出減の反面預金は漸増の勢を示し資金需要の減退はいよ〳〵著しくなつて來た。この傾向は今後ますます濃厚となる見込みである

## 京城組銀
## 預金貸出減
### 四月末現在

京城手形交換所調査四月末現在京城組合銀行の預金貸出状況左の如し(單位千圓)

**預金**

| | 四月末現在 | 四月十五日現在との比較 |
|---|---|---|
| 定期預金 | 一四、九三五 | △　一六三 |
| 當座預金 | 一〇、〇六〇 | 一、四六〇 |
| 特別當座 | 六、九五八 | △　一五四 |
| 通知預金 | 一三、三〇二 | △　一〇四 |
| 諸預金 | 三、八〇三 | 一、〇六〇 |
| 合計 | 四九、〇五九 | △　二五一 |

**貸出**

| | 四月末現在 | 四月十五日現在との比較 |
|---|---|---|
| 證書貸 | 八、四四三 | △　一六四 |
| 手形貸 | 二五、九二六 | △　三八八 |
| 當座貸越 | 一、三〇一 | △ |
| 割引手形 | 八、二〇一 | 七八 |
| 荷爲替手形 | 四二二 | 二四 |
| 合計 | 四八、二五一 | △　四三〇 |

**外に**

| | | |
|---|---|---|
| 有價證券 | 一五、四一四 | 二五八 |
| 預ケ金 | 五、八〇九 | △　二、〇九九 |
| 金銀有高 | 一、六〇四 | 四一 |

**手許有高**

| | | |
|---|---|---|
| 積銀公共借付 | | 一八、八四二 |
| 東拓金融部借付 | | 二、〇四三 |

## 英蘭銀の
## 利下事情
### 金流入も一因

【ロンドン發電】英蘭銀行は本日まで公定歩合を五厘引下げ三分としたので一般に惡きを與へたがこれは交換所加盟銀行が再び手形の買入に出たのが直接的の原因をなしたものである。先週の…

## 愛蘭銀行利下

【ダブリン一日發電】當地銀行公定歩合は英蘭銀行の利下に伴ひ五厘下げ四分に改訂された

## 紐育銀利下
### 公定三分

【ニューヨーク一日發電】ニューヨーク聯邦準備銀行は一日より公定割引歩合を三分半から三分に引下げた

## 佛國銀も利下

【パリー一日發電】フランス國立銀行は本日公定割引歩合を五厘引下げ三分五厘と改訂した

## 京城組銀の
## 大會提案決定

五月末釜山に於て開催さるゝ全鮮銀行大會に對する京城銀行組合の提案は一日の京城組合銀行の本店長の會でいよ〳〵決定したがその提案は一般銀行に對する京城組合銀行の要望に基づき鮮内銀行券の代理發行に關して發券の實際を謀るの件を提出することに決した

## 東洋製糸は
## 近く挽込斷行
### 積極方針をとる

東洋製糸會社は三井がはじめて製糸事業に進出したものだけにその前途は各方面から頗る期待されてゐるが鐘紡、沙里院の兩工場とも既に提案を開始し本月四月沙里院工場において盛大なる開業式を擧行することになつてゐる、しかして同會社では近く挽込を斷行して資本金百萬圓の全額拂込をすると同時に本年中に現在の沙里院、釜山の兩工場とも現在の二百釜を三百釜に擴張することとなり、更に本府の百萬石計畫の進行により產繭の增加するにつれて、事業擴張を擧げる一方増資を行ふ模様である

## 李王職の
## 漁區貸付更新
### 香椎氏が猛運動

李王家所有の漁區七十余ケ所の漁業權は香椎源太郎氏に貸付中の二十ケ區は本月末を以つて十箇年の期限が満了するので香椎氏は目下入城、李王家及總督府當局に對して契約の繼續を申し出で、極力運動につとめてゐる、右香椎氏に貸付中の二十一區は李王職所有の漁區中最も有利なものばかりである關係上これが契約希望者は内地の漁業家をはじめとして有力なる漁業家七、八名が名乘り出して目下貸付方の希望を申し出てゐるのみならず地元民にも共同して願ひ出てゐるので、かくて今回の契約更新は各方面から頗るその成行きにつき注目さるゝに至つたが、香椎氏が從來右二十一漁區を年額一萬圓で借受けてゐたのに比べると今回は貸付料の引上げは免れないのみならず香椎氏の從來の經營方針によれば漁業の改善は絶對に認めないとする說もあるから當局には相當考慮してゐるので何人の手に落ちるか豫斷を許さぬ形勢にある

## 成立した
## 麥酒協定
### 一本三十五錢

京城麥酒販賣組合總會に京城食料品店組合の共同販賣協定案によつて火蓋を切られた麥酒の販賣競爭は暮ポロ、キリン、サクラ、サッポロ)製造店側と兩組合との間に種々接衝が重ねられたに拘らず、最近同盟は破棄周旋も加味され、競爭排除すべからざる事態に立ち至つてゐた、これに鑑み過般來戸島新次郎、藤田米三郎、松井慈一郎、松浦米生、福本伝造の諸氏は店（殖銀十二、鮮銀一）の檢査を行ふことになつてゐる兩者の間に極力販賣戰の惡化なるを說き調停するところがあつた、その結果五月一日遂に兩者間に妥協成立し、本年度のビール販賣協定が出來上つたので、一日午後六時半より花月本店に當事者五十余名立會の下に手打を無事終了した右協定値は左の如く五月一日より實施されることになつた

一、現金賣　一本三十五錢、一打四圓二十錢
一、掛賣　一本三十六錢、一打四圓三十錢

一、今後この協定値以外で販賣するものに對しては市價を撹亂するものと認めて相當の制裁を加へること

なほ右協定が成立したのを動機として府内ビール販賣業者即ち酒類の販賣組合、食料品店組合の會員全部を網羅する京城ビール販賣組合を組織し、協調の實をあげることに決定し、組合長に森田米吉氏副組合長に村島長三、川瀬竹四郎の兩氏が推薦せられた

## 北鮮地方の
## 魚油締粕移出
### 逐年盛況

北鮮から内地に移出する魚油並に締粕は逐年増加してゐるが昨年中（一月十二月末）の移出高は

魚油二百一萬圓（九百三萬圓）
締粕六十六萬圓（七百九十三萬圓）

で前年に比較して魚油六十萬圓締粕十萬圓（百八十萬圓）を何れも増加してゐる、かくて昨年中に魚油並に締粕が殆んど出盡したところに、魚油の滯貨十萬圓が今冬一月中に移出されたので、目下魚油、締粕とも滯貨はないと

## 日銀代理店檢査

日銀代理店檢査は二日を以て終了するが、一行は二班に分れ一班は大連より更に青島天津の代理店檢査を行ふことになつてをり一班は更に釜山に引返し地方の代理

## 横濱の
## 生糸在荷
### 十三萬余梱

【横濱電話】横濱聯合生絲組合調査四月末現在における横濱生絲の在荷は正味六萬三千四百八十九梱、引込中の物八千三百八十九梱、合計六萬九千八百七十八梱で前年同期に比較して三萬五千六百七十二梱の増加を示し、なほ共同保管の六萬八千六百十一梱、補償二萬五千六百四梱を合せると横濱在荷は十三萬四千九十梱となり空前の大在荷である

## 石灰協定破る
### 群山方面で

鮮内の石灰窯業販賣については昨秋各製造業者各地方によつて部分的販賣協定が成立し、共販の觀鮮支部がこれを統制してゐるため、價格安定の如く混亂を來すこととなく、至極安定せる市況の中に推移してゐた。然るに本年は疲安が稀有の暴落を來したゝめ、勢ひ高の石灰窯業の領域は著しく蕪荒に侵入され、とかく石灰窯業の賣行は前向くない形勢を示してゐた、從つて石灰窯業の販賣協定もとかく、部業者によつて崩れそうな機運が濃厚で殊に湖南線方面においてこの機運が濃厚であつたが、一兩日前遂に群山地方の協定が破られ、はしなくも安定せる市場に一大波紋を投げかけるに至つた、かくの如き破目に至つたのは各業者の賣行不良による窯場より脱せんとしたことに基因するのは勿論であるが、就中目窯が最近目社製品が他社を壓して好賣行を示したことに意を強ふして共販の束縛を脱せんとしたことに胚胎してゐるのも見逃せない、かくて同地方の石灰窯業は又復混亂状態に陷つたが、かくの如き破綻は引いて全鮮的に擴大される恐れがあり、その前途は頗る憂慮せられてゐる、殊に石灰窯業は今後一ケ月位の需要期間でもあり今かうした混亂に陷ることは他肥料の採用を容易ならしめるものとして、屆窯せられてゐる、なほ今回の販賣協定破壞は販賣業者間におけるそれであり、製造會社の態度は目下のところ傍觀的にない模様である

## 海外經濟電報

倫敦銀塊　一九片二分ノ一
米棉　五錢安
印棉　二十錢高
スチール株　一七九弗四分ノ三
アナコンダ株　五九弗八分ノ三
日米爲替　四九弗八六仙一六分ノ三
英米爲替　四弗八六仙一六分ノ三
紐育銀塊　四二仙四分ノ一

## 鮮銀帳尻（一日）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 發行高 | 九三、五一六 | △ | 一、二三一〇 |
| 正貨準備 | 四四、一一五 | | |
| 保證準備 | 四九、四〇一 | △ | 一、二三〇 |

## 日銀帳尻（一日）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 發行高 | 一、三五二、八四六 | 減 | 三一、三〇六 |
| 正貨準備 | 八六六、一四一 | 減 | 三五二 |
| 限外發行 | 三二六、〇九〇 | 減 | 二〇、二七〇 |
| 貸出高 | 四四五、四九四 | 增 | 三八、八〇〇 |

東京コール（二日）

| | |
|---|---|
| 翌日拂 | 一錢五毛乃至一錢一厘 |
| 無條件 | 一錢五毛乃至一錢一厘 |
| 普通 | 一錢五毛乃至一錢二厘 |

鮮銀對外爲替相場（二日）

| | |
|---|---|
| 對英 | 二片〇志十六分五 |
| 對米 | 四十九弗八分三 |
| 對支 | 百〇四兩一分一 |

## 取引停止

和田雜貨、湧生通二三、大塚勝吉▲南大門通四丁目、鮮滿ゴム新報社、都世千良一

## 穗落

▲李王職漁區貸付の期限が今月で滿了するので釜山の水產王香椎翁が入城して目下李王職と本府水產課あたりにお百度をふんでゐる、同氏關係の廿一漁區は全鮮的に一粒選りの優秀揃ひだけに林兵衞が狙つてゐるのも無理はない▲香椎翁はこれを十年前と一ケ年二萬圓で借受けてゐるかとの當時においてすら内地の某大手筋が五萬圓出すからと非とも貸して呉れと申し出たもの▲三萬圓も安く借りた香椎氏は利益を搾取することにのみ力こぶを入れ漁村問題などにはてんで見向もしなかつたといふので官邊は頗る氣受けが悪い▲香椎君に再びやらせることゝなれば漁業の改善などはほんど望みがたいからだめだといふやうな議論も可なり昂まつてゐる▲一方香椎君は李王職から西小門町附近の土地二千萬坪ほどを買つたとの噂がある今へ果してほんとうなら李王職の御機嫌を直すために買つたに相違ないとの観察へとにかく今度の二十一區の契約は誰に落ちるかちよつと見物だ▲通運と丸運との競爭は官僚戰が例の延爭委員の上京で下火になつた昨今官戰がいよ〳〵猛烈▲本月一日の驛貨局入札で丸運が又々京城と大邱支局關係の驛扱を競落した▲こう競爭がひどくなつて來ると荷主はいよ〳〵漁夫の利を占めて來ることになる

## 株式
### 諸株一齊に
### 呼吸戻し
#### 警戒依然嚴重

**前場**　一日後場閑散保合の後を受け今朝は東西兩市場の先物一段高を入れて東新八十九圓四十錢と張硬に寄付きアト阪地は九十一圓台に次上げしも仕手筋の賣買等あつた、この外大林、德壽賣等あつた、この外に立山商内があつた、即ち昨日より引は九十圓二十錢で立山賣京取十五圓八十錢大新四十九圓八十錢で小口商内があつた、即ち昨日より引は九十圓二十錢で立山賣

**後場**　前場の上値に止り京取同東大新一圓二十錢東新一圓六十錢高であつた

**後場**　前場小反撥せし機先に後場も東西両市場の騰りを入れて東新九十圓四十錢と手堅く寄付きしも依然警戒深く結局閑散の如く大引した

## 買妙味なく
## 日先は戻り賣

連日來暴落して遂に八十七圓臺の新安値を出現した東新も昨一日來より稍反り足に向ひ今朝阪地は九十一圓十錢と買に四圓方返し買方をして愁眉を開かしめたが、併し現在の經濟界はその買狀が示して株式の現在の不況乃至その買狀を期待するまでの大きな轉換が行はれてゐるものとは考へられず從つてこの不景氣は如何なる處置を講じても尚大なる轉換の出來るものでなく又急激なる變化は遂に大事を起さしめるとなるからこの通は除々なる財界の展開に待つより外あるまい、從つて現在の財界の大勢から見れば株界も更にこゝ暫く足踏みを續けて調整に至るべきもので、この見方が正しいとする限りの阻止を講ぜられればなるまい、この點から見ても昨年の戻りは當然で過日の安値から四、五圓方の引返しはあつて然る可きである、何分買方は終始慘敗して最後の詰であるが、何分買方は終始慘敗して最後の詰の力乏しき折柄なので立直りの力に乏しき

## 値惚れは危險

何なる財界の對策を講ずるかと言ふ問題であらうと觀測されてゐるへ一方往意すべきは政府が今後如何なる財界の對策を講ずるかと言ふ問題であらうと觀測されてゐる　從つて買も遂に落城するの止むなき狀態に陷つたが今朝は呼吸戻りを演じて買方と賣方との力の方法によれば、根本的に因果主の掛を見るに至らんか所謂戻げ抜けをして賣方の入れ替り中にしてゐるがこれは要するに一時的の現象で矢張り一般人氣としては以後はの持株維持に汲々として到底強味を示し得ないとして更に買進むだけの勇氣は

▲併し一般人氣は環境懸から沈滞方引返した

▲かくの如くなのでこのはなを當置するだけの余裕なく前途は依然悲觀としてゐる

▲これに反し一般が悲觀する賣當れ近しと見るものがある

▲要するに主要商品界の前途や一般政治的關係から見ても前途楽觀することは一寸を要する

## つよきよわき

**株式**　新値へと降落してゐた東新相場も昨今來やゝ戻り足に向ひ今朝は過日の安値から四圓方引返した

**期米**　七月限が生れると同時に相場の地合は全體見直しては來たものの新割り正米が殘い所を見ると未だ大勢の如く米は豐作見直しを以て東京市況のやうである

▲そこへ九州米の如きは豐作見迄の大勢は出來したことに多くの期待をかけてゐるといふにおいてはこゝでくこの邊相場の直る事を期待しでも前途米を過ぎせられることに至らぬとも買方が下手をすると又多分の賣買方が下手をすると又多分の

▲何れにしても安値から一圓四十錢方も直り賣り建玉り一圓四十錢富くしてをり又月はじめにビンつく相場は却て月末安となりやすいから此邊は買方も一杯利を入れ押したる所を再び買直す方が賢明な策かも知れない

## 期米
### 揉合ひの後
### 盛返す

**前場**　當限は阪地の手堅きに對し一圓方高く寄付き中限の如きは地場の賣物も見らず買方の勢ひ強く遂に反發、前日の大引より更に引締り中限の如きは一圓十四錢も高値を示し、前場は保合の中に大引した

**後場**　前場小反撥せし機先に後場も先物二十六圓四十四錢と前止より四錢高に初まりたるもアト見送り商状にて當限は四十錢と弛み結局この邊の相場は持合を續け閑散の裡に大引した

## 買人氣去る迄
## 尺進寸退歩調

月初めにビンつく相場は中ダルミがくは月末安形作る事が多いのみならず買方には乗られないかが若し過なくとも今日迄のやうに買けさへすれば金になると云ふた時代は最早過ぎ去つたやうである尤も不景氣の深刻な世間の容氣が滅入つて居る際であるから此邊花々しき商戰は無論望み難き今日の相場が思い切つて押され勝の値以上に惡化して居る丈け何にか少しでも手掛りが出來ると自然戻り度は見るであらう可能性は十分あるの反面にこれといふ材料があるわけでなく前月商新や東

## 代引更に激增
### 東新日歩引上

今朝の代引は京取株五百六十枚と百枚を大新も百六十枚と三十枚を増加した、なほ東新は依然株過剩を續け今朝は四百八十枚と百二十枚を增し日歩も三十七錢と二錢方引上げられた

## 商内依然寂し

今朝は阪地の一段高で東新中心に反撥したが仕手は未だ警戒深く只東新に對し立山、正崎買い等の外は○して目立たものとてはなく市場は依然閑散であつた、然し

## 桑野健治商店

仁川府濱町一丁目
仁川米豆取引所取引員
電話長三九番六三九番

今朝の期米商は京取一〇大新一〇東新四〇〇の合計四六〇枚でうち三〇枚以上の手口左の如し

東新　賣方正山一七〇正崎八〇〔…〕三〇▲買方立山二〇〇大林一〇〇大林五〇松山五〇新田五〇正崎三〇富田二〇

## 本玉

二日前場まで至る百枚以上の建玉は左の如し

京取　買方宮脇四〇〇立山二三〇德壽一九〇山一〇〇▲賣方白井四〇〇新田三九〇南三七〇洪殷二五〇松山一八〇
大新　買方德壽一四〇〇▲賣方洪殷二九〇
東新　賣方田中道一、八九〇立山

## 中限の合意解合

中限は人氣が高過ぎて買方は嵌つたため目に付くのみで買方一圓以上の安値を示し貸方は依然高く買物は少ないの見受けつつ右の始末に就では約一圓四十錢方の立直りで、從つて貸方は早くも大部分切れ退ひたの買方の手持に立たる地場買方と丸ウ其他から買方の割りは二十五圓七十錢より八十錢の間で合意解合ひが行はれた模様である

## 籾俄然奔騰
### 精米所は苦惱

府内各籾業者は採算不引合のため休業若しくは操短をなしつゝあつたが事件原料籾難き折柄打續く降雨に産地よりの出廻りなきため相場は崩騰して本朝は籾上物七錢一、二圓、籾物六錢七、八圓唱へとなり目先大勢次第では同相當の昂騰は免れぬ模様である、これがため各精米所は歩止りの惡い上に原料の昂騰に逢ひ採算は益々不引合に陷り文字通りの苦境に沈淪するに至つたが目下の市中相場と採算點の比較は左の如し（各一石當り）

| | 市中相場 | 採算點 |
|---|---|---|
| 玄米 | 二三、〇〇 | 二三、五〇 |
| 白米 | 二七、〇〇 | 二八、四〇 |

## 四月中の
## 仁川移出米

四月中仁川港より移出せし米の數量と前年同期との比較及び一月以降の累計を對照すれば左の如くである（單位石）

| | 本年四月 | 前年同期 |
|---|---|---|
| 玄米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 精米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 糯米 | 〔…〕 | 〔…〕 |

一月以降累計（單位石）

| | 本年 | 前年 |
|---|---|---|
| 玄米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 精米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 糯米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 大豆 | 〔…〕 | 〔…〕 |

## 正米
### 堂島前場情報（大阪電報）

東京三橋、山種は日地を京都方に賣つたが、之に對し新規に乗替へ買つてゐた、之に對してトロールと岡山筋は上値、須々正より二千四百石買ひ調攻も水野より漸々買つてゐた

京城　（キ）等二十九圓十錢、六十錢撒初玄米上三等二十七圓十錢、四等二十一圓二十錢鮮白米上二十四圓七十錢鮮糯同六十錢、一等中六錢九厘

大豆　誹山十四圓二十五錢誹川十四圓十五錢錦原十三圓九十錢

下六錢七厘

仁川　丸キ角チ丸チ右拔三等百十斤物二十五圓二十錢並物二十四圓九十錢四等二十四圓五十錢不拔三等二十四圓五十錢四等二十四圓一錢丸ヌ四等二十四圓八十錢撒州物二十三圓十錢角へ四等二十三圓二十錢丸ヲ四等二十二圓五十錢籾六錢六厘一等白米丸伯二十六圓四十錢から五十錢籾米組合一時二十六圓七十錢の唱へなるも定期高の割り内地の買物薄に買氣は依然閑散である

釜山　今朝買物薄かりしも地場買筋の月初め買ひ旺盛に各地の騰りを加へて氣配一、二十錢方堅められ人氣を引締め慶北殻良廿五錢丁度、神力廿四圓丁度殻良廿四圓五十錢慶南殻良當にて二千百七十一、以の取引があつた

木浦　天候不良續き乍ら木浦は産地よりの出廻り一千五百以と相當あるも買物皆無で全部精米筋に納入され市中も殆ど來殘を持ち無ぞである、相場も期延米の強調を受けて二十錢方上近ひ角セ右拔三等二十四圓八十錢、四等二十四圓丁度少乍ら買氣旺盛に本朝は上物七圓十七錢、相物六圓五十錢で相當手合せを見た

群山　昨休會越しと各地前市以來の硬調に圧迫き筋買氣旺盛廻米薄に買物少なく氣配遂に五十錢方奔騰を演じ移出筋の月初め手當もあり市場賑ひ丸セ三等二十五圓二十五錢四等二十四圓六十五錢見當にて相當の取引が行はれた

大邱　各地高作ら昨日相當買付いた掲旬とて依然高値商成氣分濃厚にて小口糯米筋の少々買ひに氣配も伸びず結局殻良二十四圓七十錢神力二十四圓二十錢見當を唱へた

## 仁川穀物出入（一日）

| | 廻着 | 移出 |
|---|---|---|
| 同（鮮） | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 同（内） | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 玄米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 白米 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 大豆 | 〔…〕 | 〔…〕 |
| 籾 | 〔…〕 | 〔…〕 |

## 群山週米報（一日）

| | | |
|---|---|---|
| 船便 | 玄米 | 七六九 |
| 〃 | 籾 | 一八〇 |
| 汽車便 | 玄米 | 一 |
| 〃 | 籾 | 一 |
| 牛車便 | 玄米 | 二六九 |
| 合計 | 玄米 | 〔…〕 |

## 木浦延べ（二日）

| | 前寄 | 前止 | 後寄 | 後止 |
|---|---|---|---|---|
| 五市 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 五米 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 六中 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 六米 | 二五〇 | 一 | 二五〇 | 二五〇 |

## 株式（二日）

京取短期（寄付・大引・高値・安値）、京取と日歩、大株短期、大株長期、東京現株、京仁同大阪東鐵安倍町商店日歩 等の相場表〔數字判讀困難〕

## 期米（二日）
### ◉仁川

| | 前場 寄付 | 前場 中限 | 前場 先限 | 後場 |
|---|---|---|---|---|
| 〔各限月の相場、判讀困難〕 | | | | |

◇東京前場　◇大阪　◇兵庫　◇下關　◇名古屋 等各地期米相場〔數字判讀困難〕

引アト十八錢

## 市況（二日）

大阪期米喰合、鮮内延べ（釜山・群山・大邱 前寄・前止・後寄・後止）、大阪三品、大阪綿花、大阪砂糖現物、京城手形交換高（二日）枚數・金額 等〔數字判讀困難〕

## 將棋新手合（三）

〔圖は前號指了の局面〕

於東京日本橋區蠣殼町一ノ四　瀧川木將棋所

角落　八段　阪田三吉
▲坂口　△二段　國田道雄

（第五圖）
▲同　歩　△同　飛　△二四歩　▲二八飛
△七四歩　▲同　飛　△一四歩　▲八八玉
△三三六歩　▲一九香　△九四歩　△七七桂
▲一四歩　▲一六歩　△八一飛（チ）▲三八飛（リ）（以下次號）

漸く木七段評（チ）上手方別に仕掛る手も無いので敵の仕掛けを待つ意味で八一飛と引くのである
（リ）下手方好適形なれば、四五歩と協飛するが常法であるが此の局は敵の金が五四へ出る關係上面白くないのであるから、三八飛と据つたのは良き手段である

## 風流奴茶屋　(70)
### 稻岡奴之助
### 荒川芳三郎　畫

**おそろしい峠**

『わしかな？』といつた旅僧は、そこへ女の入つて來たのを見向きもせず、
『わしはずッと遠方の者ぢや、旅から旅を行脚してあく雲水僧ぢやが、今度は實は北陸の律から浪花の町を見物し、あれから當紀伊國へ來て、高野のお山へ參詣したが、これから大和路へでるところぢや大和には名高い神社佛閣があるといふで、一々參詣して廻らうと思ふのぢや』といつた。
『まあ左樣でござりますか』と老婆はうなづいたが、
『それにしてもこれからこの峠をお越しになるのでござりますか』
『それが何うしたかな？』
『御出家さまは御存じでござりますまいが、この峠は怖ろしいところでござりますよ』
『ほう』
『夜になると狼が出て人を喰ひますす』
といつて老婆は溜息をついた。
『今年の二月頃のことでござりました、一人の旅人が夕暮方からこの峠を越しなさらうとお出ひなされましたばかりで、日が暮れて了ふたばかりか、何時の間にやら道に迷ふて、街道から外れて山深く入つたとやら、そこへ狼が出まして、その旅人を喰殺してしまふたのを、久しく經つてから炭焼の男がそこを通つて見出したといふ事でござります』
『むゝ』
『その時はその旅人は骨ばかりになつてゐたさうでござりますが、多分は狼に喰はれてしまふて骨だけ殘つたのであらうと申す事で、炭焼きの男も肝を消したさうでござりますが、御出家さま、何とぞお止めなされませ』
『しかし御出家様それはお止めなされたが宜しうござりますぞへ』
『なぜな？』
『御ろうじやりませ、もう日が暮れるのに程もござりませぬ。何へおかゝりなされましたら必と日が暮れて了ひます』
老婆は一寸目顏を見上げて、と訊ねた。
『然うぢや』
と老婆は眼を丸めた。
『然うぢや』と雲水僧が大きく頷いた。
『あの御出家さま、貴方が峠をお越しなされますなら、何うぞ家と一緒にお連れなされて下さりませ、急ぎの旅でござります、お願ひでござります』
と、土間にゐた美しい女が、旅僧の前に揉手をして小腰を屈めた。
老婆は呆れて思はず一足後退つた。
花和尚は深い深い沈みから醒めたよ
り、その男は運の好い人ではござりませんか、その骨ばかりになつた旅人の傍に、皮の財布が落ちてゐたさうで、その財布の中には百五十兩とか大枚のお金が入つてゐたのを、其まゝ拾ふて戻つたと申すことでござります』
『はゝゝそれはうまいことをしたの』
と、旅僧は笑つた。
『狼の方ではその旅人を食べてから、うまかつた味が忘れられぬものと見えまして、それからといふものは街道筋へも時々あらはれまして、人さへ見ると直ぐ顫を呼んで喰殺すといふことで、それから後にも旅人が二人この峠で行衛知れずになつたといふことでござりまして、もう〳〵此の峠へ一人として七ツ下りからは此の峠へ上る者はござりませぬ。恐いことは申しませぬ、御出家さまもこれから峠を越すことはお止めなされまして、元へ戻つて後の驛でお泊りなされませ、そして明日峠をお越しなされませ』
と、老婆は身慄ひした。
『いや親切は辱ない。しかし愚僧は佛に仕へる出家の身ぢや、狼であらうが虎であらうが、少しもおそれるところはない、はゝゝ、安心せい、愚僧は決して惡獸の餌食にはならぬでのう。はゝゝ』
と旅僧は事もなげに云つて、いよいよ花和尚はい禪深げなる所を
擧した。
『それでは何うでも峠をお越しなされますか』


內科　小兒科　原病院
新町山手・一番地　電話本局一〇七　普通病室・傳染病室完備

新菓　養老もなか　橋屋

鮮產優良品　東洋ハッセームジ　京城本町二　東洋屋

甘たわキシニ　西久製綿所

京城日報
朝刊 本紙朝夕共十二頁
發行所 京城府大和町一丁目 京城日報社

# 朝鮮に對する感想 (三)

**貴族院議員 松本勝太郎**

現下の產業增殖や鐵道敷設など何れも朝鮮開發上必須の事項であると同時に、更に又與へられたる宿題を開發するとは最も興味あることと思ひます。鑛山その他產業の各方面にはまだ〳〵これから開發さるべきものが澤山あります。資本家がこの方面に資金を投下する事となれば一は朝鮮開發のために、一は當面の失業問題の救濟ともなり、その結果が國富增進となるのでありますから、朝鮮に對しては政府も今一層の便宜を與へ、それこそ積極的に相當の經費を投じて遲れたる朝鮮の開發に資すべきものだと思ひます。これには總督府も民間も上下心を一にして一段の努力をすることが肝要であります。

**貴族院議員 伯爵 二荒芳徳**

感想は余り多くして朝鮮をもつて御答へ申し上げ兼ねます。唯一言朝鮮は慕しい國土、又敬愛すべき多くのものを持つてゐると存じます。

**衆議院議員 中村嘉壽**

朝鮮の統治については先づ以て上乘の結果と存じます。英國のアイルランド統治よりは遙にうまく行つてをりますが、威力を以てよりは仁愛を以て治め、產業を興して新附の民をして『併合が眞に彼等の幸福を生んだ』といふ觀念をもたせたいものです。現齋藤總督の如きは實に名總督ですから、永くその職にあつて氣永く統治の實を擧げしめたいものと心の底から願ふて居るものです。

**大連 伊藤久太郎**

鐵道旅行と汽車往復をした位で曾て朝鮮に居住したことのない小生には何等御滿足に資すべき感想とてありませぬが、幸に昨秋開催せられた始政廿周年記念博覽會を參觀し、序に天下の名勝金剛山に登り、一地方とはいへ朝鮮の宿にも一夜の夢を結び親しく朝鮮味を覗きたる小生は、該地方民の至つて淳朴にして懇切、よく王化に浴し山間僻地に到る迄隈なく開墾され居る狀況を見てどこに不良の徒輩の住む餘地があるかを疑ひ、且施政の適切であることを感じました。しかして昨秋の博覽會が如何に今後の地方開發に資したかを思ふと共に、この際一層治績を擧げ、進んでは現朝鮮の精神なり、才能なりの滿蒙を啓發して、關東州と相まつて大陸經濟政策に貢獻せられなば邦家のため同慶にたへない。御社は朝鮮始政に先んづること四年、本年は恰も關東州始政廿五周年を迎へらるゝ赴きにて、將來發展のために御企畫を施といふべく今後一層社會の木鐸として民心の指導誘掖に意を用ひ文化の啓發に邁進せられんことを祈る次第であります。

**東京 最上政三**

私が朝鮮を觀察したのは今から十數年前のことであつて、現在の事情を承知しませんからお答は出來かねます。たゞ私の知る範圍では未だ植民地といふ風が內地人の頭に殘つてゐるやうです。朝鮮の開發を云々するには先づこの點から考へねばなりません、それには鐵道の如きも何とか擴張する必要があらうと思はれます。

**東洋紡績株式會社社長 阿部房次郎**

一、現在の朝鮮は商農業を以て基本產業とせざるべからず、故に之れを興隆せしむるを以て當面の喫緊事なりと信ず。即ち

(イ) 米作を主とするが故に水利の開發を以て急務とす。然るに現在に於ては之れを水利組合に委し、而も少額の補助（三月迄は三割）を與ふるに過ぎず、此の如き姑息なる手段は決して其の開發を全うする所以にあらず、宜しく國家の企劃實行に於て大規模の水利開發を企劃するを要すべし。

(ロ) 農民の窮乏救濟現在の如くんば農業の振興亦望むべからず、即ち副業を獎勵し生活を容易ならしむると共に、適切なる金融の途を講じ高利借金に惱む彼等を救濟するを要すべし。

二、各面に於ける堂々たる小學校々舍は朝鮮の奇觀なり、宜しく人民の負擔を考へ限度に相應する建築ならしむべし。

三、京城大學の存置に就ては甚だ疑なき能はず、少くとも現在の法文學部は之れを廢止し、理醫工學部等の自然科學々部を以て之れに更ゆるを要すべし。

四、金剛山は天下の絶勝也、之れに相當の施設を爲して東洋の公園とし、外客を誘致するは朝鮮の有力なる財源の一たるべし。

**福岡 氏家清**

朝鮮の開發、發達の促進は我國策のために、將た人類發展のためにも誠に欣賀するところなれども、たゞ朝鮮人の福祉なるものが未だ內地人に親み薄く、いはゆる王化の民にあらざる嫌ひある者のあることは遺憾とする所に候。我國將來のために、又彼等のためにも慈悲ある政策を施し、彼等をして眞に善良なる帝國臣民に淳化せしむることこそ望む所に候。

**衆議院議員 高見之通**

軍縮會議の結果から見ても日米相互、一旦有事の日を想像して如何に努力しつゝあるかに考へ及ぼす時は、滿洲を中心とする國際的關係の日一日險惡になり行くことは勿論なり。この時に於て最も大切のことは在鮮一切の人々及び在滿朝鮮人のすべてが東洋平和の大局より見て心の底からの共同一致の動作をとるにありと思ふ。それに就ては精神的、官民的の統一が必要なり。それに關するあらゆる施設をなすに吝ならざることが何よりと存じ候。

**前代議士 猪野毛利榮**

一、眞面目に働く者には衣食住の心配をさせぬやうな政を爲すること

二、危險思想者には嚴罰主義を採ること

三、法文科の如き空論の學より實科の學に重きを置くこと。

**不二興業社主 藤井寛太郎**

朝鮮に對する感想は余りに多く到底簡單に述ぶることは不可能であるが、私か渡鮮した明治三十七年頃の朝鮮は多年惡政の結果今日よりは想像も出來ぬ程の悲慘困窮を極めてをつた、朝鮮が生命財產の安固は勿論、赤裸の山に木が繁茂し、產業、教育、交通、衛生等がよくもこの二十年間に斯くも美事に改善せられたるに今更驚かざるを得ないのである。特に私の最も活動した全羅北道の如き朝鮮第一の穀倉が朝鮮第一の美田と化し內地人の居住も多いが、內地人の居住が多い土地程土地は改良せられ、生產物は增加して朝鮮人の人口增加は如何なる村も三倍乃至五倍となつてゐる。併合の恩澤は實に余りに的確明白である。朝鮮併合の止むを得ざる實情は今更喋々の必要無く、また朝鮮人としての幸福は此の方法の外に無いのであるから、此の大勢に順應して共に東洋の盟主たる日本人たるを欣び忠良なる朝鮮人に對しては眞に一視同仁、出來得る限りの親切を盡くすと共に、苟くも反日的に日本の存立を害する如き者に對しては斷然なる方針を以て臨むの外無いものと思ふのである。

**東京 土岐章**

小生未だ朝鮮を訪れるの機會なく從つてこれを論ずる資料も御座なく候間暫時左の御答をして責務へたく願上候。我大士と朝鮮半島との關係は政治的にも歷史的にも密接のことは今更申すまでも御座なく候、目下の處內地は勿論、朝鮮に於ても產業界の不振は同樣と存じ候、此の際甚だ迂遠のやうなれども殖林、畜產の如き原始產業の植付に一層の御盡力有之事は最も適當と存じ候。

**滿洲殖產株式會社々長 和田敬三**

祝始政二十五周年、私は朝鮮に對しては多くを知らぬが、併合以來着々と帝國の國策を實現して治安の維持、文化の振興、交通產業の開發に盡したのは朝鮮民族の上に全く王道を布いたものである、從つて今後共に王化益々洽ねく且つ開發の進展せんことを祈りて止まぬ。

**旅順龍心寺主任 井上富山**

朝鮮に對する感想を傳へよとの御求めですが、拙者未だ該地に足跡を印せしことなく實狀を語る資料も有りませんが、然し古來我國と歷史的に密接なる關係を有する朝鮮が二十年前全く我領土に併合せられてより、幾多の社會的施設と文化の增進によつて日益美しき發達を來たせしことは國の內外を問はず有識者の賞嘆する所と存じます。ことに於て拙者の希望は、一般朝鮮人をもう少し精神的に開發誘導し、日本國民としての實生活に融合同化するやう佛教各寺院僧侶の一層の奮起と努力を切望する次第であります。それには先づ世界中最も熱心な外國宣敎師輩に劣らぬ力を有する朝鮮人の男女中より志ある者を拔擢して佛教研究と信仰生活に誘導して、より多くその傳道事業に携はらしむるが一大急務と考へます。昨年一新聞紙に見し一記事中、兒玉政務總監が主唱者となり五十萬圓の資金を投じて京城に佛教の一大寺院を建立し、日鮮の名僧をして正副住職たらしむる計畫ありと報じられて居りましたが、これ等も好箇の方法と存じます。なんとかして彼等に純一ある國民生活の根本精神を吹込み、皇國等國國土昇平の聖實を表現するやうに望んで止みません。

**文士 赤松月船**

私は朝鮮といふ土地を一度も見たことがないので、その點については何とも感想の述べやうがありませんが、東京に來てゐる朝鮮人の人々を見るにつけ「あの人達は生れた故鄕で働くわけには行かないのか、あの人達の土地でうれしい暮しをするわけには行かないのか」といふことを常に思ひます。朝鮮がどんなに發展しても朝鮮の人々がそのために幸福になるのでなかつたら指導的位地に立つてゐるわれわれ日本人の恥ではないか。

**東京 井坂孝**

朝鮮には教育を普及して人民の正當なる判斷力を養成し、これと同時に產業を指導開發して其の經濟力を充實し、然る後に彼等をして自己の將來に對し適當の考慮をなさしめることが尤も肝要なりと存じ候。

**朝鮮總督府遞信局長 前田昇**

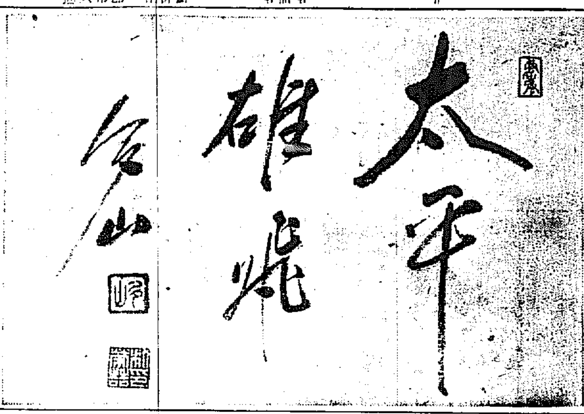
日韓併合に先だつ數月、初つて半島の土を踏んで以來茲に二十有一年、その當時を回想すれば事々物々眞に隔世の感あることは今更申すまでもない。彼の現安のため毎日、渡船出しては現金を殺いて百方勸誘貯金を勸めた結果、一日貯金をしながらも不安のため毎日、渡引出しては現金の顏を見て安心をしたといふやうな當時の民情や、鐵道に乘り自動車に乘り更へる一足飛びに京城を見るやうな馬の背からといふ進展や、その他教育、產業、交通、經濟、衛生等、數へ來ればあらゆる事物の進步發達は實に驚くべきスピードを以て眞に結構づくめでカンテラの灯から電燈に及んだ結果、物質的には確かに認めらるゝのである。併してこの明るさは都市に專らにして農村に比較的に薄いのは蓋し急激なる文化の進展に附隨する當勢とはいひながら、漸次農村の不振を來すやうな形勢を見るのは遺憾に思ふ。

# 勤續社員表彰式

## 二日本社來青閣において

廿五周年の本社祝典に際し、二日午前十一時本社來青閣で勤續社員表彰式を擧行した。この日本社各地支局長、特派員、本社員參集し松岡社長表彰について式辭を述べ本社發展廿五年史に活躍貢獻せる光榮の社員廿二氏に表彰狀及記念品を授與した。表彰された社員左の如し

▲勤續廿年三ケ月 小川三之介
▲勤續十九年 飯島剛
▲勤續十八年六ケ月 金永完
▲勤續十七年二ケ月 小方勝吉
▲勤續十五年十ケ月 大東春太郎
▲勤續十五年 金鎬渉
▲勤續十一年 金夏珪
▲勤續十年以上 長岡光雲、上野淺吉、江藤謹藏、細田節一、橋口西彦、金潤欽、吳寶文、元順同、野田マサ、金英俊、黃永順、朴圓善、俞好男、宋春植、金碩龍、李鍾守、洪彥杓、金仁求、李隆範、韓永喜、吉原邦光、尹命圭、金世求、李昇洙＝寫眞（上）表彰式（下）表彰された最長勤續の人々、後列右より金鎬渉、小方勝吉、大東春太郎の諸氏、前列右より金永完、小川三之介、飯島剛、金永完諸氏



朴榮喆氏祝筆



**京城商業會議所書記長 大村友之丞**

四、產業の合理化
五、朝鮮開發の意味より參政權の附與
六、失業者の救濟

始政以來の成績を部分的に見れば失敗もあり過誤も少なくないが、大體觀として顯然たる進步發達の跡を認める。唯日本人の通弊として事功を急ぐため寺內總督の武斷獨立、內地人排斥を育め歷代當局の施政上に必ず何程かの無理があり、この性急病のために死角事志として遂ふ實例、那邊普遍的に指摘が出來る朝鮮の統治は百年の大策、三年や五年の在勤中に俗人から認められやうとて下らぬ小刀細工やり、その場當りの御都合主義をやつす愚劣な根性から出發した施設はきつと大局を過まり畢竟公的な心境と自信の缺乏に基く內緣の自然である。而して近來最も不愉快に感ずるのは諸官廳の事務擔當者が徒に熱度を增し、一體何の意なき一郭千一投足の勞で出來る事柄が總督に通はぬことゝ、民間に補助を望むの官尊民卑の要求いたづらに充溢し、自己責任の乏しいことである。朝鮮の青年が積極的に希望を提示し不平不滿を訴ふる聲の年毎に加はるのは實力增進向上の道程として私は慶賀に堪へぬ。濫りに弾壓せずして齊一堤防に到るやう善導したいものだと思ふ。

めて以て併合の大趣旨に副ひ奉り新同胞と共に眞生活の安定と福利の增進とを企圖せねばならぬ。その方法手段は幾多あるべけれど、これが根本的解決には先づ各自の水田開墾の開拓が一番の急務といはざるべからず、天下何事をなすにも魂の入るといふことが大切にて今日の實相を考察して一層痛感せらるゝのである。されば最も望ましきは人道の精神を生活の指導原理としてゐる人々の輩出である。かゝる人物は一人にてもその周圍に好影響をおよぼすこと頗るいはんや多數なるに於てをや、この精神、仕事は甚だまだるい樣なれども、難事を處理するにはかへつて捷徑となり、途中後戻りもなく美しき結果を來すことは天下に幾多の實例存在し、善的疑ふの余地なし。幸に天下大衆の意思が斯器としてこゝに集注することゝなれば誠に結構のことと思ふ。

條件により土工兵に與へることにしたら志願者は殺らでもあるだらう。國境道路は昭和十年度完成の豫定の由であるが、この方法で更によく進捗せしめたいものである余のこの意見に對し山梨氏は『それもよいかも知れぬ』といつた。

第二……殖林事業である。朝鮮禿山を靑くするには、殖林と同時にどし〳〵炭田を開き人民に燃料を安價に供給する途を講じなければならぬといふことは余が昔から抱いてゐる考へで、韓國政府時代、農商工部大臣宋秉畯氏にもこれを說いた。法によつて朝鮮人に木を伐るなと命じてもとても到底守られるものでなく、恰も飢餓の際に米倉を積み上げて置いてこれに手を觸れるなといふのに等しい。されば總督府において無煙炭、褐炭の探採事業を直營しこれを廉價に供給すべきであらう。

第三……內鮮間の交通改善である。今後の朝鮮開發は大いに北鮮に力を注がねばならぬが、それには交通をよくし物質の內地移入の便を圖るべきである。現在清津と敦賀間に月二回の定期航路があるけれどこれを毎日用航にすべきである。現在の如く北鮮の貨物を北陸または九州へ迄るに馬關を經るといふ如き手間が取れかつ費用のかゝる不便を避けるとが出來る。將來吉會鐵道敷設の實現に先だちこの問題を解決することを要する余の意見に對し池上政務總監はそれは調査してゐると答へたが、その後どうしてゐるか。余は一昨年北陸に赴いたとき朝鮮商人——それは咸興道廳で知つた人であつたが、更に角この航路を雙方から熟待してゐる結果の爲めである——に週毎日用航することによつて北鮮の產業發展を期し得ることは言を要しない。なほ內地より移鮮も便利となり、關釜連絡線もいま少し時間を短縮し得ると信ずる。

**京城府協議員 肥塚正太**

朝鮮の現代は各方面に小經營多の喫緊問題が眼前に横たはり、殊に自己主義の欲求と權利主張とに缺陷の關ありて、輕浮燥暴交々と喚起さるゝのである。これらの諸問題は國民總動員的に極力精進して悉く解決し、若くは進展せしめねばならぬ。

**朝鮮船舶會社社長 白仁武**

十四五年前寺內總督に朝鮮民の精心を振興するを以て緊要事とすることを進言したることあり、總督府の施設日に揚るにつれて精心の漸次濃厚なるを信ずといへども、今尙識者はその未だ徹底せざるをおそる。教育もさることながら學校教育は眞の教育に非ずと信ず。

# 祝詞

**京城日日新聞社 社長 有馬純吉**

帝國の植民地翰壇に覇を稱する京城日報社が、今回創立二十五周年を迎へ、本月一日を以て光輝ある記念號を刊行し、同時に十二段制を斷行して紙面の刷新擴張を遂げ名實共にその面目を一新したるは眞に慶賀の至りに堪へざる所である。抑も同紙が歷代總督政治の施措に順應して常に公論の方針となり、輿論の機樞となつて朝鮮統治の上に貢獻したる功業の偉大なるはまことに沒すべからざるものがある。想ふに朝鮮統治の前途は、その施設になほ幾多の改善刷新を要するものがある。この意味において、同紙の負使命は寧ろ今後にありといふべきである。同社が今日の如き隆運を招來せるは歷代社長の經營宜しきを得たる結果なるは勿論なるも、現社長松岡君はその本來の新聞人として獻身的にその經營と終始し、社業の擴張に稍稍政界するは、歷代社長と聊か選を異にするものあるを思ふ時、その人を得たりといふべきである。聊か所感を述べて祝辭に代へ、併せて社員諸氏の健康を祈る次第である。

**渡邊勝三郎**

京城日報が幾多の艱險を經て朝鮮における最も有力なる邦字新聞としてこゝに創刊第二十五周年を迎へ益々その聲價を發揚せられつゝあるは誠に慶祝に堪へず、想ふに朝鮮の前途は複雜多難を加ふべく貴社同人がよく世相を洞見明察し朝鮮言論界の雄として新使命を達成せられんことを祈る。

**帝國新報社長 山野好恭**

貴社創立二十五周年を祝賀しあわせて將來の御發展を祈り上候。貴紙は新附の地において最も權威ある公正敍述の新聞紙にしてこの點小生の衷心欽羨するところに御座候。

**平壤每日新聞社長 大橋恒藏**

貴紙二十五周年を祝し將來益々御發展御隆盛を祈る

**郡山 大和與次郎**

昨年作りました併合二十年所感七律一篇御目にかけ申し候
太古逆々不可論 史傳遡叙四千年
伊勢鸚鵡非誣語 分脈通源徧有緣
桑梓連邦都政教 日鮮共同絲綿絹
同仁一視三重世 堯々治道遠嶋傳

**帝國大學教授 學習院教授 紀平正美**

朝鮮の事情は予の一向に知らざるところ、知らずして論ずるとは最も慎むべきことなれば何事もいはざるが可なるべし。然も一般的抽象的に予の抱ける意見は古き國國的思想を捨て、耐忍以てよく朝鮮人をして我らを諒解せしめ、共存共榮の利に向はしめ且つ愛らしめざるべからず。

**仁川力武物產株式會社々長 力武嘉次郎**

お問合せの件貴下の朝鮮に必要なる施設について愚見申述候
一、工業政策の樹立並に自由港の設置
二、對支貿易の振興
三、港灣施設の完成

# 朝鮮視察の感想【下】

## 大阪每日新聞社長 本山彥一

最後に余はなほ二三の管見を述べて世人の批判を訓ひたいと思ふ

第一……國境兵備の問題である。朝鮮の治安を保つため警察力を充實するとも必要であるがそれには警察官のみでない、しかも警察がかゝるからといつて治安を十分に保つ方法を講じなかつたならば、產業は起らぬ爲し乖してであるが、余は原內閣の當時において朝鮮開發のため鐵道敷設の必要を直接原氏に說いたこともあり、去年山梨總督や池上總監にも國境兵備について意見を述べた。いふまでもなく國境兵備は滿洲內における朝鮮の叛徒に備ふるものであるが、彼等の出沒自在なるいつどこを襲すやも知れぬ、還た昆布であるから余は國境に一種の屯田兵ともいふべき土工兵を置き、平時土地を開墾せしめまた國境一帶における道路をこの土工兵によつて急設し、無線電話により爭亂があれば何處へでも土工兵が自動車で向ふとが出來るやうにしたら、將備と產業開發とに多くの費用を要せず一擧二得にならうと思ふ。開墾した土地は一定の

以上極めて狹淺な見を述べたが京城日報社から朝鮮に關する感想を徵せられたのを機會に、平素の抱懷の一端を述べてその責を塞ぐのである。

◇

日本海々戰二十五週年記念
日米未來戰號
科學画報 春季特輯

雨か風か太平洋上の爭覇戰！倫敦會議の成立は果して何時までこれを防止し得るや

日米未來戰大座談會
水野廣德大佐をして一まるで軍令部か參謀本部の一策戰會議のやうだと言はしめた事程左樣に眞劍な烈しい座談會!! 手に汗握る血湧き肉躍る刻下の一大熱讀必讀の一大讀物!!
座談會出席者 陸軍中將 谷田繁太郎 海軍少將 高橋節雄 海軍少將 福田一郎 海軍少將 遠藤格 海軍大佐 水野廣德 海軍大佐 安富正造 海軍大佐 雨宮厚作 海軍少佐 石丸藤太 朝日新聞外報部長 町田梓樓

日本海々戰の回顧 海軍大佐 水野廣德

驚異すべき最新の海軍兵器
世界海軍の趨勢 海軍中將 小林躋造
潛水艦と其威力 海軍大佐 和波豐一
航空機と空母艦 海軍少佐 加藤悟雄
最新主力艦の威力 造船大尉 赤崎繁
海戰と煙幕利用 平田周二
魚形水雷の進步 海軍大佐 田宮房作
最新の驅逐艦 造船大尉 牧野茂
空中射擊設備の進步 海軍中佐 小林勢雄
最新一萬噸巡洋艦 工學士 年森正三郎
代表的列國軍艦一覽

最近天文學の進步が齎せし新發見 海王星外の新惑星 天文台技師 神田茂 天文台技師 小川清彥
人類搖籃の地はいづこ 曾根廣
直立猿人發掘地を訪ふ 早坂一郎
桂川沿岸先住民族の遺跡 仁科義男
重力の否定は果して出來るか 工學士 柏木一郎
護謨の鋪裝道路 井口鹿八郎
伯林の星辰館を見る 西澤勇志智
驚くべき飛禽の速力 岡田實
珍らしい金屬鏡 加瀨勉
昔の日月星辰の圖 杉江重誠
血壓と血壓計の話 淺議治
精虫と其大きさ 寮佐吉
實現近き空中大ホテル 工學士 鶴見厚介
特別講座 應用心理的講話 文學博士 渡邊徹 應用電氣學講話 理學博士 石原純
大澤式新健康法 ドクトル 大澤昌壽
科學畫報社

法人登記公告 全州地方法院任實出張所
法人登記公告 全州地方法院金川出張所
法人登記公告 全州地方法院長水出張所
法人登記公告 全州地方法院裡里出張所
法人登記公告 全州地方法院楊口出張所
法人登記公告 京城地方法院麟蹄出張所
法人登記公告 全州地方法院裡里出張所
法人登記公告 京城地方法院加平出張所
商業登記公告 全州地方法院群山支廳
全州地方法院

# 安達內相の脫線から時ならぬ騷動を惹起
## 豫算審議遲々として進まず
## 總會遂に二日に持越さる

【東京電報】休憩後の衆議院豫算總會は二日午後一時四十分再開、太田氏質問を續行

**太田正孝氏** 煙草を値下げする意思はないか

**井上藏相** 引下げの餘地ありと認める

右に關聯し

**東郷實氏**（政）藏相は專賣局益金の増加を專賣局經費の節約に依ると云ふが、煙草と鹽の賠償價格の引下げを除くと經費は三十八萬餘圓しかないことになるが如何

**藏相** 明細な數字を擧げて賠償價格引下げのみに依つて節約してゐるのでない旨を答ふ

**東郷氏** 賠償價格減少のため專賣耕作者は四百六十二萬圓の損失をしてゐる

**平野專賣局長官** 決して損失を與へてゐない、前年度操業と比較して損失を斷定するは不當である

**東郷氏** 專賣煙草賣上げ價格のみ引下げ葉煙草小賣價格を下げぬは農民の生活に同情ない遣り方である

**若宮貞夫氏**（政）切手收入は昭和三、四年度とも九千萬圓を出でぬのに五年度に九千四百二十餘萬圓を見込んだ理由如何を追及する

**大橋經理局長** 前年度實績に照して見込んだもので不當ではない

**太田氏** 豫算概計表に六年度經常費へが二千五百萬圓も増加してゐる理由如何、減債、増の値下をやればそれだけで明年度計畫は破綻するは明でないか

**井上藏相** 概計表と明年度豫算編成の實際とは別問題である

**太田氏** 首相は陸軍々制改革、行政整理を事實行ひ得るか

**首相** 軍制改革は目下慎重に調査進行中であり、行政整理は調査の上實行し得る限りに於て實現したい

**太田氏** 商業合理化は勞、工商に亙るが調査機關のみ內閣直屬とし、實行機關たる各省局は何故商工省に專屬せしめたか

**首相** 產業合理化は各省と共に行ふが商工省所管の範圍が最も廣汎だから一局を設置したのである

俵商相立たんとすれば、與黨から『總理だ〱』と叫ぶ

**首相** 產業合理化、消費節約につき拙調査の後代つて山崎達之輔氏の質問に入り

**山崎氏** 宇垣陸相の出席なきは遺憾である、自分の質問は政務次官でもよい、又陸相より書面を以て回答されてもよい、內閣官制第九條により陸軍大臣事務管理を置くことが出來るか

**濱口陸軍次官** 書面を以てお答へする

この時土肥竹男氏（民）手を上げ、發言を求め、野黨との間に一寸言合つた後

**工藤氏** 宇垣陸相は病氣である、委員會から病中のものに質問し得るや

**山崎氏** 政府は既に責任を以て書面に依る回答を明示してゐる

とこれを制し、更に軍縮會議關係問題を蒸し返し

**首相** 憲法上の解釋については何もお答へしません、條約に調印した以上は責任を以て國防に缺陷なからしむる

**山崎氏** 訓練案に對し軍令部の意見を拒否するにはしたが、決定は政府にてしたと解してよいか

**首相** 充分尊重して決定した

**山崎氏** 首相は海軍大臣事務管理として軍政の外軍機軍令に干與したとのお答へが先日あつたが果してさうか

**首相** 事務管理中海軍大臣の職務全部に干與することには實際會議の際に前例がある、併し現在兵權問題として軍機軍令に干與する必要は起つてゐない

### 軍部大臣武官制 廢止の意思ありや

**山崎氏** 只今の二つの御答辯により、結論として陸海軍大臣を武官とする現制度を間接的に支持する出來はない、首相は陸海軍大臣武官制を廢止する意思なきや

**首相** 海相事務管理を置いたことと、陸海軍大臣武官制廢止とは制問題で答辯の必要はない

**山崎氏** 議員の權限として、制度改革の意思ありや準備ありやを問ふのである

**首相** 此の問題は多年の懸案であるが未だ結論に達してゐない

**山崎氏** 首相は帷幄上奏權を制限し或は撤廢する意思なきや

**首相** 目下研究中である

山崎氏鉾を轉じ現內閣は成立當初陸海軍々制改革及行政整理の實行を言明したが、今なほ何等官制の改革に觸れてゐない、今後の方針を承りたい

**首相** 政府はかゝる言明をしたことはない、出來るだけ經費の節約緊縮をはかるといつたのみである、將來としては行政運用の刷新、官廳事務の合理化を實現するつもりである

**山崎氏** 俵商相に對し政府は昨年九月貴衆兩院を通過せる貿易局新設に對し、兩院の協贊權を無視して實行豫算にて削減しながら五年度にて觸附より昨年度まで附せられて本年度より設置するは矛盾も甚しい、その理由如何

**俵商相** 實行豫算には、金解禁のため已むを得ず削つたが國際貸借改善の上から五年度から設置を必要としたのである

**山崎氏** 實行豫算編成に當り貴院の豫算協贊權を無視せりことは將來豫算審議に當り果して實行さるべきものなりや否や予は審議に際し疑ひを持つものである、藏相は追加豫算は全部實行するか

**井上藏相** 必ず實行する

**山崎氏** 首相は曾て義務教育費全額國庫負擔を實現すると言明されたが、かゝる制度の根本改革を決するに何故文政審議會に諮らなかつたか

**首相** 全額支辨となる時に考へればよい

**山崎氏** 增額一千萬圓の分配並に地方教育監督はどこでするか

**首相** 分配交付は文部省、學務監督は內務大臣、知事がこれを行ふ

◇…衆議院豫算總會 第一日の總會は議場における混亂の後を受けて各派交涉會その他で開會が遲れ森田委員長以下民政側委員全部着席したるも、政友側委員一名も出でず、遂に休憩を宣する判斷

## 高松宮兩殿下 香港に御安着

【香港二日發電】高松宮同妃兩殿下お召船鹿島丸は二日午前七時半頃香港々灣の東方より船影を現しやがて港內一號浮標に繫留さるゝや、吉田香港總領事代理、日本人會長等各團代表、新聞記者十數名お召船に伺候、拜謁を賜はつた、午前十時兩殿下には隨員一行と共に日本郵船會社特派のランチにて御上陸遊ばされ、高松宮殿下には同埠頭にお迎への總督代理と御同乘にて總督官邸にお立寄りになつたが、同妃殿下にはそのまゝヴイクトリア峰の山腹にある日本總領事館に入らせられた

## 「濱口大藏大臣」で 鷲野氏の名論ダレる

代つて鷲野米太郎氏（國同）先づ統帥權問題につき

**鷲野氏** 首相は何故この問題につき明白な答辯を與へぬか

と詰り『濱口大藏大臣』と口をすべらし滿場失笑す、次いで俵商相と『產業合理局を權威ある內閣直屬と何故せぬか』その他につき質疑應答あり、この頃委員の退場多く傍聽席員も閑散である。鷲野氏更に勞働爭議對策を質したが商相協調主義で行くと答へ、內相藏相は他の委員會に出席中のため質問を保留し代つて名川侃市氏（政）共產黨事件を提げ法相に肉薄し昭和二年二月起訴の共產黨決定書を天長節前日に發表した不敬の窺を何と思ふと質したるに對し

**渡邊法相** 決定次第早く國民に知らせようとの肚から、つい天長節前日となつたのは遺憾である

名川氏なほ追擊するが法相『罪を感ぜず』と突き放すので、轉じて越藤事件を持ち出し

**名川氏** 檢事は若槻君を取調べたか

**法相** 若槻君は告訴も告發もされてゐない、唯世間の取沙汰の風評を耳へ檢事局が判斷せる事實を私に報告したのである

名川氏更に檢事局の調査方法その報告のあつた理由を問ふも法相精くあしらつて深く答へず問題が問題だけに彌次が頻りに飛ぶ、名川氏更に久須美東馬氏と若槻氏との關係に觸れ、若槻氏に十萬圓政府の事實ありしにあらずやと法相並に彌次の裏を摸かうとするも

**法相** 既に發表の如く法律上の責任を生ずる如き事實はない

と身をかはすので、彌次の應酬盛に行はれる

**名川氏** 然らばその嫌疑のないことを明かにせよ

と新聞記事を讀み上げ若槻氏が久須美氏に十萬圓を請求した事實を指摘するが

**法首** 新聞記事がどうあらうと私の拘はるところでない

と突き刎ね、名川氏更に若槻氏を下調べした檢事は誰だと質すも、法相そんな事に答辯し得ぬと突き放す

**名川氏** 昨秋天皇陛下水戶御親閱の際、法相は供奉せず東北に旅行した理由如何

**法相** 私は勅許を得て仙臺方面に參つたのである

### 容易に尻尾を 掴ませぬ政府當局

延乘りせぬ質問が續くので議場失笑、今度は首相に詰め寄るも

**首相** 各大臣の歸京の汽車時間など知りません

とあしらふので、效果あがらず、名川氏三轉して小橋君の起訴許可は既にあつたのに、總選擧後迄延ばしたのは何故か

**法相** 司法權限退の如きことは斷じてない

名川氏臨時議會に於ける延期を指摘した事實ありと強語したが法相これを否定し、政友會は『法相として若槻の不謹慎振り』を詰め、牧野良三氏（政友）大聲で『法相謝罪せよ』と叫びたて、名川氏更に伊勢事鐵事件に言及し首相、藏相に『收賄事實なしとせばそのことを明かにせよ』と迫る

**法相** 喧嘩を賣るやうな質問には答へぬ

と刎ね、首相に向つて『總が立に取調べられなかつたか』と迫るも首相は過日本會議で答へた通りであると答ふ。此の時議事進行につき

**東武氏** 陸相への質問は誰が答辯するや、宇垣陸相の缺席は違法でないか、事務管理を置く意思なきや

と問ふも首相は貴族院におけると同趣旨の答辯を繰し、內田信也氏より同樣の質問あつたが

**首相** 陸軍編成に關する質問は陸相に對し書面にてされたい

と逃げ、名川氏の質問は一時打切り、午後六時一先づ休憩となる

## 七時五十分 再開 けふも續行に決す

午後七時五十分、休憩前に引續き再開、先づ森田委員長より、傍聽席の秩序を保持されたいと告げ、五日午後總會の日程を確定し、四日、五日午前を分科會とし五日午後總會を開催、討議に保決を行ふ旨を計り異議なく承認、次いで島田俊雄氏（政友）休憩前の東君の動議に關聯し

**島田氏** 宇垣陸相の容態は如何、議事審議上支障を來す故內閣官制に從ひ措任或ひは事務管理を置く意思はないか

**首相** 休憩前東君にお答へした如くで經過は極めて良好で、四日頃退院出來ると思ふからそれまでは出來るだけ自分並に政府委員から答辯する、是非とも直接陸相の答辯を必要とするときは書面を以てお答へする、從つて今日措任又は事務管理を置く必要を認めぬ

**島田氏** 議會での質問には口頭にて答辯するが、國務大臣の重要な任務でこれが立憲政治の精神である

とて田中內閣時代鈴木內相が故意のため貴族院に出席出來なかつた際、現若槻內相は貴族院議員として機宜の處置をとるべしと歎喝したことを顯議によつて引用すれども首相答へず、よつて島田氏は相當の處置を採る旨述べ、次いで

**鷲野氏**（國同）現下の不景氣を打開し人氣を轉換する何か積極的方策を有するや

**藏相** 緊縮政策を徹底させて財界を根本から建直す以外に將來に處する途はない

**鷲野氏** 進んで政府は六年度より非募債主義を抛棄する意思なきや、又大々的失業對策を講ずる氣なきや、失業救濟をなすと共に購買力を増大し景氣を建直すに考へなきや

と藏相に迫るも、藏相所論をまげず、鷲野氏更に失業救濟に就いて安達內相と押問答した後、臨時議會招集問題で藏相に肉薄するや、民政の熱烈『議院の政見だまれ』といつた事から鷲野氏『黙』一變の政見一とやり返したので民政側承知せず、鷲野氏の身邊に飛び出すものあり政友側も飛出し、怒號、罵り合ひが始まり、守衛が驅けつけお定りの騒ぎとなつたが鷲野氏最後に國民同志會に對する議員の質問を求めたが、內相が放縦し『鷲野君こそ世間では金權候補者と稱してゐる』といつたことから政友會の傍聽議員『不謹慎だ取消せ』と騒ぎたてたので、內相早速取消したけれども彌次騒ぎのため徹底せず、民政席後方で『取消せ』『取消した』から捫合ひとなり、又もや怒號、罵聲のため委員席まで大混亂に陷り、約十分間の後ち騒ぎ納まる

**森田委員長** 安達內相は發言の一部を取消した

と述ぶるや高橋熊次郎氏（政友）又復傍聽席にて政民兩議員や院外團の毆り合ひが始まり、再度の大混亂に陷る

**高橋氏** 發言のどこの部分を取消したか、議場に徹底してゐない、よろしく言ひ改めて陳謝されたい

と內相に肉薄すれば

**內相** はつきり取消します

と云ふや『何故陳謝せぬ』で議場又々騒然、形勢ますく險惡である、この時鷲野氏委員長席に進み明日に發言を保留する旨を述べたところ森田委員長は議事非と見て五分、二日にわたる紛擾に議事進まず、時に午後九時四十五分、二日にわたる紛擾に議事進まず、散會後大臣室では濱口首相以下小泉、俵、安達各相、鈴木、森田委員長と共に何事か密議してゐた

◇—本社廿五周年記念名士招待宴—◇
（向つて右より二人目兒玉總督、松本鮮銀總裁、有賀殖銀頭取、南軍司令官、渡邊東拓總裁、朝鮮道知事、山本遞信局長、大村道議長、左端松岡本社社長）

# 本社記念晩餐會
## 總督の臨席を得て 昨夜朝鮮ホテルに開催

京城日報社および每日申報社は創立廿五周年を迎へた自祝の意を以て齋藤總督の臨席を仰ぎ、朝野の名士を招待して二日午後七時より朝鮮ホテルにおいて記念晩餐會を開催した。多忙の際に拘らず總督をはじめ南軍司令官、上原師團長、志賀城大總長、中村軍參謀長、本府（在鮮）各局部長、關屋內閣子爵その他朝鮮貴族、朝野の名士、在城同業幹部等無慮百名の出席を得七時十五分開宴、デザート・コースに入り、松岡本社長より

總督、軍司令官その他貴賓紳士かくの如く多數の御來席を得たことを感謝いたします、殊に國家のかく多數の御來席を得たことは喜びに堪へません。京城日報及び每日申報は本年を以て創立廿五周年に當り、京城日報は去る一日附を以て紙面十二段制を實行致しました、將來益々御援助をお願ひいたします

と挨拶を述べ、これに對し總督來賓一同を代表して

僭越ながら出席者一同を代表して御挨拶を申述べます、只今松岡社長の御挨拶の如く京城日報及び每日申報は本年を以て廿五周年を迎へられ、かく御盛大なる宴を張られたことを一同を代表して厚く御禮を申述べます。兩新聞が創刊以來廿五年間において、國家社會のために大なる努力を拂はれたことは深く感謝に堪へぬところであります。その不斷の努力の結果、社運益々發展し先づ京城日報が十二段制よりに十二段制に進展せられたことは誠に喜ばしい次第である、私個人としては字が細かくなつて今日までの眼鏡を取代へねばならぬほどであるが、併しこれは世の進步發達を示すところで眼鏡云々などとはいふてをられぬ、益々進步發達を望んでやみませぬ將來益々社運の隆昌を祈るとともに、社長以下社員の健康を望みます

旨の懇篤なる答辭あり、宴後別室に於て松本總督府研究所員一同の謠曲の余興に移り、總督、軍司令官なども最後までゆるく觀覽和氣あい〱裡に散會したのは九時も十五分過ぎであつた

## 京日、每申 支局長會議 重要議案審議

京城日報社に每日申報の支局長會議は二日每申は午前九時から、京日は午後二時から本社樓上來賓室で開催された、本社側からは松岡社長、鷲繩主幹、鮫島支配人、朴每申副社長その他各部長等出席し各支局長の熱心な討議があり午後四時四十分閉會した、出席支局長左の如し

**京城日報** 生駒久之助、武藤島次郎（仁川）高須賀虎夫（釜山）小西晴治（大邱）吉原新光（大田）緒方守雄（群山）松坂松太郎（木浦）源三（全州）松坂松太郎（安東縣）佐藤益治（元山）平田盛之（咸興）山田正益（新義州）加藤平太（平壤）上村高司（海州）後藤啓三（水原）前川金藏（平澤）中田紳雄（開城）片岡積太郎（淸州）岡博之（大安）中井駒太郎（鎭南浦）西川長藏（江景）山口林造（木浦）千原新男（光州）五十嵐貞雄（馬山）杉本（晋州）守永晴夫（南川）竹島正代太（沙里院）上原宇八（鐵原）鐵田福城（淺山）三谷郁（公州）

**每日申報** 李相昱（忠北）朴吉浩（忠南）朴正植（全北）安定基（全南）崔榮東（慶北）李鍾雨（慶南）林惟山（黃海）田德龍（平南）金昇福（平北）林茂裕（江原）崔淳鼎（咸南）李重福（咸北）崔國鉉（仁川）金健元（開城）金振普（南浦）沈相國（江陵）俞炳性（鎭南浦）

## 憲法十二條の解釋
### 花井氏＝『政府の單獨責任論』 軍部は『双方の協議事項』主張
### 政府對策に奔走中

【東京電報】憲法第十二條が純然たる政府の責任事項であるといふ點については政府と花井卓藏氏の持論は一致してゐるが、花井氏の本問題に對する質問通告の眞意は第十二條が純然たる政府の責任事項である旨をこの際理論的に確立しようといふにあり、然るに軍部當局は本條をもつて統帥と軍政との混成事項であつて本條に關する問題は軍部と政府の協議において決すべきであるとの際諒的解釋を固持し、花井氏の解釋に反對する意圖を決してをりその結果として軍令部においても政府と同樣之が對策に政府と連絡につき奔走してゐる

## 倫敦海軍條約 米上院に廻附さる

【ワシントン一日發電】ロンドン海軍條約は一日朝フーヴァー大統領から上院に廻附された

## 連日前哨戰を繰返し 兩軍大會戰近づく
### ◇—蔣氏徐州に出馬して督戰せん
## 南京政府極度に緊張

【上海二日發電】蔣介石氏の中原出馬から南北關係はいよ〱急を告ぐるに至つたので蔣介石氏は明三日南京發徐州に出馬し、自ら督戰する事となつた、南北兩軍ともすでに戰備を整へ、四十萬の大軍の配置を終り、前線では連日前哨戰が行はれつゝあり、五月中に大會戰が豫期され、南京政府は極度の緊張を示してゐる

## 貴院豫算總會 正副委員長

【東京電報】貴族院豫算總會は二日午前九時四十分より豫算委員室に開會、正副委員長を左の如く互選し直ちに散會した

委員長 伯爵 林博太郎（研）
副委員長 男爵 中島久萬吉（公正）

## 閣議決定事項

【東京電報】閣議決定事項左の如し

一、警保委員會廢止の件

一、人事
製鐵所理事 吉田信郎
任商工省貿易局長（一等）商工省書記官 渡邊 巖介
任製鐵所理事（二等）

## 協同會から 園田男推擧 安場男の補缺に

【東京電報】貴族院男爵議員の選擧推薦する協同會では故安場男の補缺に園田武彥男（鹿兒島縣須族）を推擧するに決定した

## 宇垣陸相 五日に退院

【東京電報】陸軍々醫學校附屬病院に入院中の宇垣陸相は病氣益々快方に向ひ來る五日退院と決定した

……會……

◇財分科會 二日午後一時より本會議を開き、日程に入り、各種決算委員會の他を審議委員附託となした後、前回に引續き國務大臣に對する質疑を續行する

……人……

▲上原誠紀氏 三日午後八時より南山本願寺において『吾にかへる世界』と題し（天）上杉慎吉氏『斬と知と信』公開講演

◇松村松盛氏（本府殖產局長）東洋製糸沙里院工場開業式に臨むため二日午前九時九分京城驛發

◇野田董和氏（平鐵工木技師）一日入城大眞樓へ

◇淸水文之氏（朝鮮鐵東亞會社平壤出張所長）同上

## 海相の歸朝遲延を 計畫的と見る 貴族院一部の觀測

【東京電報】統帥權を中心としての政府對軍令部關係は、野黨が政府攻擊の唯一の材料となつてゐるがな此財部海相が歸朝の途次にあつて議會出席不能なため今のところ、この問題はこれ以上進展するに至つてはゐないが、海相歸京後は問題は急轉するものとみられてゐる、然るに最近貴族院の一部では海相は先月二十三日にロンドンを出發してゐるから議會に間に合はせよふとすれば間に合ふに拘らずベルリンに五日も滯留して東京着の時日を議會閉會後に引延ばさんとするは、議會政治上用意すぐ からざるものである而して先月卅日モスコーを發してゐるから眞直ぐにそれより歸國すれば東京には十一日到着し議會に間に合ふことになるが、更に京城に立寄り數日を費やし議會閉會後に歸京するやうに計畫的に歸京を遲らせてゐるのは怪しからぬと大いに憤慨してゐる向もある

## 義務教育費 特別委員會 二日午後再開

【東京電報】衆議院における義務教育費國庫負擔增額案委員會は二日午後一時二十分再開

▲服部教一君（民）義務教育費國庫負擔を二千萬圓増額の理由如何

▲田中文相 財政上の都合である

▲田中文相（本の寺田市正氏）（政）田中文相に初等教育振興の抱負、學級數の增減と教育の効果等につき押問答を試みたる後

▲岡田忠彥氏（政）今回の義務教育費國庫負擔增額は地方財政の救濟ではないか

と全額國庫負擔の方法等につき內相に喰つてかゝれば、安達內相挑戰的に突き放し、與黨委員を喜ばず、岡田氏警察政策と朝鮮自治の關係を述べるなどの脫線振りを演じるので、荒川五郎氏（民）岡田君の質問打切を叫ぶ

▲大口喜六氏（政）一千萬圓を減稅に充てるならばこの割合を如何にするか、增額の恒久財源は如何にするか

▲井上藏相 概算書を見れば今後十年間の財源が記載されてゐると答へ、更に大口喜六、武田德三郎（政）の兩氏と井上藏相、青木主計局長との間に教育費財源問題につき專門的論議の後山崎達之輔氏から昭和六年度以降の歲出入概算表の提出を要求し午後六時休憩となる、午後八時再開、武內委員長より二日を以て質問を終り五日本會議に上程したし

と諮り異議なく承認し、山崎氏大藏省に參考書類の提出を求めたのち

▲山崎氏（政）政府は教員俸給全額國庫負擔を政府の政策と發表したがこれは地方自治體權と教員俸給全額支辨と何れが增大であるか

▲田中文相 敎年前五十萬圓增額の時も諮問しなかつた、全額支辨の際諮問すればよい

▲山崎氏 この大問題を何故文政審議會に諮らぬか

▲田中文相 今回は一千萬圓支出だから全額案については今日より何とも云へぬ

▲山崎氏 一千萬圓を町村の改善に充てねばならぬか

▲田中文相 今回は減稅にのみ使用する方針である

山崎氏尙も使途問題につき文相を追及し質問を終る、次いで勝正憲氏（政）各大臣の質問に對する答辯の不誠意を難詰し議事進行のため質問を終り午後十一時二十分散會、五日午前討論採決し同日午後本會議に上程の筈である

## 三日の兩院

【東京電報】

**貴族院** は午前十時より本會議を開き、前日に引續き前田利定氏の一般施政に關する質問を續行し、次で藤村義朗男の財政經濟問題、志水小一郞氏の京城府外交、司法其他諸問題、池田長康男の豫算審議に關し質問を續ける外豫算委員會の正副主査互選、決算分科會等あり

**衆議院** は午前十時より豫

## 太平漫語

財部海相はモスコーで『海軍條約は軍令部も海軍全體も政府も全部反對だつたが、政府が國際關係上最善と信じて締結したものだ』と語つてゐる▲とこそが總ゆる權限と信じて政府が締結した條約を軍令部は飽くまで反對であると軍令部對政府の確執を見ないためにか財部海相が國防の觀念に悖らないといへば、軍令部の要諦としては統帥權と行政權との調和が國政の要諦『統帥權を擁護する▲財部海相が「統帥權」といつても、實際その調和が出來てゐないから困るのである▲この軍令部對政府の確執を第三者がこれと騒ぎ立てゝ、勝手な理窟をつけて勝負を與へようとしても、軍令部がどこまでも國防に任ずるわけにはゆかないといへば、理窟では勝負がなくなる▲かりに軍令部長が自ら統帥權を攻擊して辭職する、これを引き止める力がなければ統帥權の法理も何もあつたものではない▲またかりに海軍大臣が海軍部內の統制が攪れたために責任を感じて辭職するとすれば、理窟を離れて忽ち內閣にひゞが入つて來る▲だから、この問題に對する各種の理窟や議論は各々好むところの解釋を下しているだけで、限られた結果を動かす力はない▲そこで夫々立てた理窟に拘つて、或は結果を急がすもの或は不祥なる結果を未然に防止しようと熱心することになる▲海軍省が、古賀大佐を通釋くんだりまで出迎かせて財部海相に耳うちさすのも、政府が失吹浅濱で朝野まで說明して政府の諒解を得へさすのも、これみな理窟を離れた現地の戰術である▲從つて海相の歸朝によつて展示されるのは、統帥權問題の理論上の論議ではなく、軍部對政府聯絡の調停であらう——

## ◇經 濟◇
### 京城郵便局と組銀 手形交換高

四月中における京城郵便局と京城手形交換所組合銀行との手形交換高は京城局側持出口數七百四十一口金額四百四十萬六百六十八圓で又銀行側持出口數四千二十一口金額五百七十五萬四千九百二十圓、これを前年同期と比較すれば京城局側持出口數九十二口金額十八萬三千八百九十三圓又銀行側持出口數六十口金額十四萬四千四百八圓を共に減少してゐる

### 朝鮮運送の職制 總會は十二日

朝鮮運送會社では目下營業明細準備中で中間膨は更に横合同計畫を徹底するため運合側から中間膨築者に對して株式會社或は組合を組織するやうに慫慂中であるが、運合側は先づ組合を作つて株式組織に改めさせる方針である、尙朝鮮運送會社では來る十二日午後三時から鐵道局會議室に於て株式の拂込終了報告總會を開催し、十三日排込行前の手續きを取り、いよ〱下旬に開業の運びに至る模樣である、これがため目下職務の規定並に職制の作成中であるが、職制は大體總務、營業、監督の三課を設ける豫定である、しかして總務部長としては本間取締り、營業課長としては永井取締り、監督課長としては星野氏の呼び聲が高い

◇株 式◇

大株短期引跡
大新 四十九圓五（不變）
鐘新 七十七圓一（十錢安）
日產 二十二圓九（不變）
東新 九十一圓二（十錢高）

東株短期後場引
　引 値高 安値
東株 [illegible]

◇期 米◇

各地期米後場
下關 二十七圓四〇▲釜山 二十七圓一〇
五二 二十七圓二〇▲名古屋 二十七圓六〇
▲大阪 六四▲龜本 二十五圓九六
[illegible]

◇綿絲布稍高し 綿糸布は一日三品安で一齊に軟調を示したが、二日は米棉五錢安、三品小安を入れたに拘らず、鮮內は各筋品共保合つてゐた、ただ三二エー、鍋し、三二エー、肯六十五圓見當、鶏印五十九圓見當へであつた

◇雜穀軟弱 本年は需要不振を極め、荷動き殆んどない相場は需要不振と內地安に壓せられて依然安く、目下明へとしては仁川神米二十二錢南七十五錢五厘、浪板二十錢六厘六十三錢七尺七十五錢、八尺八十五錢見當

◇製粉も弱い 內地は外皮の暴道と新麥相場に一齊に低落し、共販も鮮他安三圓四十五錢に引下げてゐるほどであるが、京城內もこれに追隨して相場物ざず京城ダイヤ三圓六十錢見當、二聯三圓六十五錢見當

◇精穀依然高し 精粉は廿日の組合前も市場の品薄は稍緩和されたが、過般來の空腹を滿すに見らず、京城市中明へとしても卅四圓六、七十錢見當を唱へてゐる

◇硫安閑散 硫安は夏肥需要には未だほど遠く、今に値段は兆して來るが、今に一頃る荷動き閑散である模樣である、但し肥料需要期に入ると共に購入が懸念され再び起しかれまじき形勢である、目下各品公表値としては英硫安三圓五十一錢（內地三圓六十錢見當（但し裝備代應金が最も得稍程の値）であるので結局外國安程度の變化、クロドニ圓五十一錢

## 社説
# 統帥權問題の餘波
## 純なる法理論に依れ

ロンドン條約調印を動機として發生せる例の海軍統帥權問題は端なくも政局重大化の危機を孕んで、事によれば、安定せる政局に一大波瀾を卷き起しさうな形勢を馴致しつゝある。この不愉快な現象が感情的氣分によつて誘發せられ、濱口内閣に致命傷を與ふるまでに飛躍するや否やは今の所、何れとも豫斷し兼ねるが、われ等は事既に茲に至つて、斯様な問題を朝野問題の間で、四角張つて議論を飛ばし延いて政局の不安を招來するが如きは、あまり感心し難き事だと思ふ。今日では、統帥權問題といふ純然たる憲法上の字句の解釋に移り、政府と軍部との權限上の範圍を爭點とするに至つたが、事の起りは、ロンドン條約が帝國の國防を危殆に陷れるものなるや否やの一點に存在する。若しロンドン條約が帝國の存立を脅かすものであるならば軍令部の反對も之を認むるけれども、安全率の多少減ぜられたる事實はわれ等の讓歩によつて帝國々防の安全が默視せざるは勿論である。日本側なくとも、國民が悟然として之を減少は必ずしも國防の危殆を來すものではない。ロンドン協約によつて日本人の感じたる『不滿足』は同じく米國人によつて感ぜられて居るのである。勿論米國人が三國協定に不滿を鳴らすのは不合理である。之に反して日本人の抱く『不滿足』には正しき理由が存在する。われ等は日本全權によつて提出されたる最初の主張が、何の修正もなく成立せざりしを深く遺憾とするものであるが、折角、双方の歩み寄りによつて發見したる妥協點を一蹴して會議決裂に導くことの如何に不利益なるかを考ふる場合、寧ろこの『不滿足』を忍んで民力を休養するの賢なるを思はざるを得ない。千九百三十六年以後、日本は全然自由の立場に立つことを條約文にも記入されて居る、それまでの間に國際が危機に陷るとありとは今日の狀態にては想像されぬ事である。從つてわれ等は大局から見て決して三國協定に失望するものではない。

◇

こゝにおいて問題は、濱口内閣が軍令部の意見を無視せざるまでも、之を尊重しなかつたといふ一點に集まつて來る。つまり、内閣と軍令部との間における權限問題に轉化したのである。統帥權問題が統帥權なるや否やは憲法上においても解釋を同うせず、憲法制定以來の疑問として今日に及んだものであつて、或は、此機會において明確なる解釋を下して置くとも、決して不必要ならざるは勿論であるが、之がために政治的不安を釀成し、萬一、黨爭に利用せられて政局の決裂を來すが如き事あらば、それこそ、取り返しの付かぬ事である。われ等は、之を純然たる法理論として冷靜なる解決を下すべきだと思ふ。面目論や、感情論を混淆して此問題を惡化せしむるは甚だしく不得策である。此問題を利用して貴族院や樞密院を動かし以て政府に致命傷を與へんとする策略の音に浮かされて踊り出すに至つては迂にまづい。

◇

ロンドン會議の成果に付いては大局を達觀して後、批判を下すべきだ。統帥權問題に關する憲法上の解決に至りては、純理の上に立ち冷靜に判斷すべきのみ、それで十分である。それ以上に出づれば紛擾を惹ふ。軍の編制が、國務であるや否や、國務大臣の輔弼に依るべきものであるや否や、此一點に明確なる解釋を下せば問題は自ら解決する。編成と統帥との差別を明にするは決して困難の事ではない。此差別を無視したる關係ありとすれば直にこれを訂正すべきのみ、紛議に將來れば問題は案外に簡單である。われ等は斯る問題のために、政局の不安を惹起する如きは、甚だ馬鹿々々しき事だと思ふ。

# 私は朝鮮を愛す
## 朝鮮文明を理解せよ
名古屋新聞主筆　小林橘川

私は朝鮮を愛する、限りなく朝鮮を愛する。事情にして許すならば、そして機會が私を待つてゐるならば、今でも私は朝鮮の土地に骨を埋めつくすまで、その山河に親みたいとすら念願する。この十餘年來、私のいろいろの空想の中で、いくたび永住の地として、いと切に、京城の街を選むだのかも知れない。それほど私は朝鮮に、強い愛着を感ずる。鄕土のひろびろと展開する風物にも、あこがれの心をもつが、それよりも私は愛らしい、初々しいみどりの半島に、より多くの心をひかれる。

◇

京城には私の心をつよくひきつける二つの博物館がある。李王家博物館と、總督府博物館とがそれである。私は時を隔てゝ前後二回、朝鮮を訪れたにすぎないけれども、二回とも私は毎日のやうに二つの博物館に通つた。そこには私の心をつよく打つところの何ものかがあつた。朝鮮民族の有つてゐる文化と藝術との高さと、深さと、偉大さとが、そこには動いてゐるからである。私が朝鮮を愛し、尊敬するやうになつたのは、それからである。

◇

そこには、どんなものが、どんな風に陳列されてゐたか、それを見物して廻つた刹那の私のおどろきと、よろこびとが、どんなに新鮮であつたか、今、これを回想するには、手許に何のメモランダムを殘してゐないのを殘念に思ふ。しかし、私はそこの陳列棚の冷たいガラスに、額を押しつけて、青磁の、天目の、三島手の、精緻な、さまざまな優れた陶器の繪模様にいつまでも心をひかれたのを今でも覺えてゐる。私のノートには、その繪模様のいろいろが、丹念に寫しとめられたりしたとを憶えてゐる。五百年以前の出土品には、驚くべく斬新な、奇拔な繪畫が描かれてゐた。皿一杯に赤繪でエビの刎ねてゐるのや、蓮花の近代的に圖案化されたのや、柳に燕のおつとりと描かれたのや、それらの繪畫が陶器の色と形とに應じて、それぞれに特長を見せてゐるのが、私にはうれしかつた。悠々たる藝術の世界が、はてしなく、そこには展開されてゐた。

◇

古銅器や、版木や、佛像や、佛教藝術に關するものでも、朝鮮は、尊敬すべき深さを見せてゐた。何といつてもつよく、私を囚へたのは、李王家博物館の階上にある三國時代の如意輪觀音像であつた。この佛像一つを見るだけでも、わざわざ京城を訪づれる甲斐はあつたと私には思はれた。この佛像は朝鮮を語るほどのすべての人々の間に、ひろく知れ渡つた代表的な佛像であるから、私こゝで、くだくだしくこれを禮讃する必要もあるまい。しかし朝鮮文化の高さと美しさはそこにある。半島のもつ文化の奥ふかさと、悠久さとに打たれないものに、どうして朝鮮を愛する心もちが生れて來よう。さうした意味で、私はしみじみと、あらゆる日本人が、朝鮮民族の文化を味はふやうに心がけてもらひたいものだと思ふ。

◇

さしむき、私は手ごろな朝鮮美術史と、音樂史とが編纂されなければならぬと考へる。いつか、李王家の篠田治策博士に、朝鮮の藝術に關する文獻が纏まつてゐますかと聞いたが、『何にもない』といふことだつた。李王家に傳承されてゐるアノ雅樂と、アノ舞踊とを、そのまゝ保存することも、李王家の大きな、尊い義務の一つだと思ふ。今のうちに、これをキネマや、レコードや、トーキーなどに殘して置いて貰ひたいものだと思ふ。朝鮮を愛し、尊敬する心は、さうした藝術の理解から出發する。

◇

今日の朝鮮には、新らしい統計や、資料が限りなく準備されてゐて、觀察者を驚かせてゐるが、古い朝鮮に關する方面の資料は、一向に手がついてゐないやうである。思想、藝術、文學に關する方面の資料や文獻が、まとまつてゐないやうだ。私はそれを朝鮮に向つて心からお願ひしたい。

# 交通經濟から見た半島
三　松尾小三郎

（五）

殊に蘭西面の經濟を開發するにその線道は滿浦線の延長線を通つて、滿浦鎭三姓に出づることも出來、又琿春ニコリスクを經て烏蘇線に連絡することも出來、啻とだにあらば、獨り吉會線のみならず、滿蒙に縱橫する三大幹線を集中することが出來るのである。その上に鴨綠水時期に入れば、氷道の自然を追ふて馬車走り橇飛び、以て經濟機關に秋の收穫を移送して居る。これを技術的に有効に利用するも容易である。又海上は海上に近くも五百浬を出でずして、日本海の周圍沿岸に直接往來することが出來、都市村落の別なく、思ひ思ひの程度にその地方面の交通が出來るのである。

この海陸に亘る便利な交通機關が蘭西面に集中して、古來民族自然の移動に利用されて居る丈け、海陸の關税も亦こゝに自然交通を爲して居るに拘らず、この明白なる大勢を無視しては、國難の苦を甞むるも自業自得といはねばなるまい。

蘭西面約一萬町歩の地域は、半島の惱みを解決する場所であると共に、島國の最後の構造でもあり、又實に滿蒙大陸の文化の連絡である。現在にても新滿鐵線はこゝを流下してゐるのであるから、小舟來往の道を開けば、東鮮沿岸の民衆はそれだけにても生活資料の網給を得らるゝのである。若しそれが島國の給船來往に對して運搬の利となる程度に進めば、あの智や資や振務を運用して、堅實的に生活きんとする進景ましき傾向を緩和することが出來、少くも亂ね狹いる心配だけは免れ得るのである。同時に又流下する大陸資源を吸收なく捌き去ることが、滿蒙大陸を現實に開發すの唯一の道であるのである。

六

滿蒙大陸の物資を此所に集散する最初の施設は甚だ容易である、陸に水路を與へ、海に各地の通船を來往せしめて、海陸兩資源の交換を此の折角の形勝の地に實現することである。即ち水路を豆滿江に通じて物資の流出を便利にし、そして雄基口の殘空の代りに、逆に内鮮の沿岸より通船をそこに集注せしむることは、それ丈け各港村の附近沿岸を豆滿江に連絡する所以となるのである。

各地の運輸を蘭西面に集むることは、沿岸各地に交互資源の配給を經濟ならしむる譯で、運搬設備の合理化を期する順序となる。そしてこの意識を徹底せしむる爲めに、蘭西面の二つの重要な事業を必要とする、豆滿江水路貫通の運河事業と、西水羅市場港の地經合組織とであつて、運河は豆滿江の水運組織を現代化するを目的とし、漸次での自然流下の合理的大勢を保留して、大陸資源を[illegible]聯絡の地置西面に誘致するものである。西水羅市場港は沿岸各地の雑貨と[illegible]位の[illegible]であり、又[illegible]定めて、鄕土の土產物を持ち寄り[illegible]

を求むるものである。當時本國時代の營屋施は米穀中心の農業本位であつた、各港から資源[illegible]これによりてその郷土の金融から[illegible]の取引決濟を完成することを得た。しかして半島や島國に限られた陸岸貿易には[illegible]との必要なるは[illegible]い所である。[illegible]式に[illegible]みも島國の苦しみも一齊に解除さるべきである。

# 全鮮に亙る警視の大異動
## 五月二日附發表

全鮮にわたる警察署長の異動は左記の如く發表されたが内地より警視二名移入、警部よりの進轉十二名、勇退の警視は森六治、松尾甚藏警察署長はじめ十六名にのぼつてゐる

任本府道警視（六等）平安北道在勤を命ず（青森）休職地方警視　木村與物吉
任本府道警視（七等）（青森）休職地方警視　高橋金明
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（京畿）本府道警部　今瀨金太郎
任本府道警視（七等）補江界警察署長（忠南）同　武藤利三郎
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（全南）本府道警部　和田三郎
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（平南）同　阿部才三郎
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（警務）本府屬兼本府道警部　吉崎達美
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（忠北）本府道警部　田中嘉一
任本府道警視（七等）補新義州警察署長（慶南）同　川中綠
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（咸南）同　岸川於菟松
（咸北）本府道警部兼本府警部　任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長　武田虎一
任本府道警視（七等）補清津警察署長（平北）本府道警部　前田貴
任本府道警視（七等）補[illegible]警察署長（警務）本府屬　佐藤久吉
任本府道警視（七等）咸鏡北道在勤を命ず（忠北）本府道警部　坂本官藏
任本府道警視（七等）忠清南道在勤を命ず　本府警部補　安田宗次
任本府道警視（七等）黃海道在勤を命ず（西大門）本府道警視　原八郎
補京城鍾路警察署長（忠南）同　古川貞吉
補京城西大門警察署長（忠北）同　鈴木八十司
補昌德宮警察署長（慶北）同　東川茂
補仁川警察署長（慶北）同　吉村秀藏
京畿道在勤を命ず（慶南）同　沖德五郎
補全州警察署長（咸北）同　小澤義廣
全羅南道在勤を命ず（黃海）同　八木信雄
慶尚北道在勤を命ず（平南）同　渡邊惣右エ門
補大邱警察署長（平南）同　萩原八十盛
慶尚南道在勤を命ず（新義州）本府道警視　古市金彌
補釜山警察署長（會寧）同　赤澤寬
平安南道在勤を命ず（江界）同　山下正藏
補平壤警察署長（平北）同　橋口政義
補咸興警察署長（咸南）同

依願免本官（各道）
（咸南）同　森六治
（慶尚北）同　松尾三太郎
（仁川）同　[illegible]
（全北）同　金[illegible]次郎
（全南）同　齋藤長治
（大邱）同　中島健三
（大邱）同　加藤好晴
（慶南）同　藤原八十八
（釜山）同　[illegible]
（平壤）同　佐藤百治
（咸南）同　池[illegible]
（鎭南）同　三宅[illegible]
（清津）同　[illegible]
（慶源）同　迫野[illegible]
（黃海）同　全永[illegible]

## 新嘉坡根據地築造工事進行

【ロンドン卅日發電】英海相アレキサンダー氏は三十日下院にて質問に答へ、シンガポール海軍根據地築造工事は主要部分についてのみ引續き進行中である、但し外廓に關する部分だけは之を取止めたと答へた

## 遞送郵便規則改正

朝鮮總督府令第二百十二號を以て五月一日より内地における遞送郵便取扱地域に關する規定中『內地』の下に『及關東州管内』を、『神戶市内各郵便局（須磨局を除く）』の下に『及大連市内各郵便局』を加へられることになつた

## 林氏通譯生兼屬となる

總督府通譯官兼道警視の林利治氏は四月卅日付本府通譯生兼屬に任ぜられ保安課勤務を命ぜられた

# 朝鮮漫筆
―（131）―
百遍舍千休

### 大洪水

京城の樣な窪地に大水が出たら大變である。今から二百年程前に、七月に大霖雨が毎日降つて、平地の水深丈余とあるから、隨分非度かつた事が想像せられやう。又今から丁度百年前に、六月から七月へ掛けて毎日長雨がふつて、水深一尺を越ゆ京城で倒れたり流れた家屋が、三千二百軒におよび溺死者が六十人余り壓死者が三百人とある。

京城の樣なところにも、大洪水が出た事がある事は心得て置かねばならず、大正十四年の大洪水の時にも、殊も甚だしくふつた際には高臺の家々でも五六寸の水浸を認めた程であるから、水のハケ場は平生から考へて置くがよからう。

### 鍼針と灸點

鍼醫は盲人ではない。しかして灸點も調べて居る。言ふ迄もなく悪く男であるが、昔は妓生が鍼や灸點を行つた。妓生中でも頭のよい文字の讀める藝妓を選拔試驗してこれに鍼や灸穴を教へて、市中からの招きに應じて出張施術を行つた。市中とは元々此等鍼灸の出來る妓生は、藥房妓生であつて、内醫院に籍を置いてゐるからである。斯くも昔は盛んであつた妓生の鍼灸も、今日では全く見られなくなつた。

鍼醫の持つてゐる鍼は、多くは銀鍼であるが、馬の街の骨鍼で作つたのが、邪氣や鬱氣が拔けてをつて、上物だとせられて居る。

西鮮では幼兒が病拔けをする爲めに、籠り子に大きな灸を据ゑる風俗がある外、今日では朝鮮民族は灸點とは殆ど絶縁狀態となつた。

### 石淸

石淸とは天然產の清淨無垢の蜂蜜の事である。深山の谷間の岩の穴に自然の蜜蜂が山の糊を蒐めて溜めた蜜は、人工養殖（汚れがある）で絞り集めた蜂蜜等とは比較にならぬものとしてある。蜂蜜に神秘大然を保留する事も意表の外であり、山人蔘、熊の膽の袋内にも、これ又極端に天然の神秘を崇尚する。此等の多くは何れも持補陽補陰の神效を取得せんが爲めのものである事も熟知せられて居るが、一般に天然と自然とに對して底力ある憧憬と神秘渇仰とを持つて居る。

天狗山の蝮蛇が他所の蛇より精力が余計に着くし、人間が蕪土で栽培した山の芋よりは、天然自然に山間に育つた山の芋の方が效力が強いと信じ切つて居るのと大同小異であらう。俗を嗤らす事を朝鮮では蜂蜜を喰はすといふ。蜂蜜を舐めた啞の樣に、形容の出來ない程嬉しい事は、每日はなくとも、詮めて節日にでも、節でも蜂蜜でも舐め得たならば人間も滿足せればなるまい。さて朝鮮では蜂蜜ばかりでなく、蜜も隱微の精力を増す妙藥だといつて、朝々食前に一匙宛なめて居る人が澤山にある。

砂糖が無かつた時代には、甘い物としては、蜂蜜と飴としか無く飴も麴も調味料に使用しなかつたから、朝鮮は昔から蜜・蜂蜜張りであつた。酒餅を饗應すると稱へて、一番の御馳走は酒と餅とであり、その餅には蜜をつけて食べる樣に、膳上には必ず蜂蜜が置かれてある。

かくも朝鮮人は蜜を愛用した爲に神世の時分から養蜂を試みて來たし、山間を跋渉して、いはゆる石淸の發見も試みたのである。そして石淸の各產地は江原道一帶、取り別けて金剛ヶ嶽のそれが珍重がられた。

覲蔵知識にも一寸した手土產に、蜜壺が喜ばれ、郡守樣への袖の下にも蜜は重寶がられた一つであつた。


# 科學知識
五月號◇面白い記事と珍らしい寫眞たくさん

◇新惑星　神田茂
◇海中の畑　妹尾秀實
◇竹と筍　竹内叔雄
◇製塩の話　田中技師
◇氷の皮　野中行人
◇伊東の地震　國富技師
◇建築講話　板垣鷹穗
◇青葉の化學　厚木博士
◇春を迎へた動物の喜び
◇ヒマラヤ雪嶺の大探檢
◇對歐直通無線通信　天野局長
◇手製の舵で巨船の歸港
◇米國の大飛行船　中島中佐
◇科學の粹オイローパ
◇大震災記念堂　伊東博士
◇進化論の祖ダーウィンの父

定價五十錢　三ヶ月一圓四十錢　振替東京六六〇二　東京丸の内一ノ六
科學知識普及會

殖產積金　貯蓄預金　殖產貸付　及諸貸付
朝鮮貯蓄銀行
京城府南大門通二丁目

高級蓄音器
ROYAL HONIC
ローヤールホニック

# 景品附大賣出し！
（一反毎に美麗なる風呂敷を景品として進呈いたします……御買求めの節販賣店より御受取下さい……）

世界一　駱駝印　金判　優良品　銀判　連縮

御愛用各位に對し感謝の意を表すべく尙販賣擴張の意味にて奉仕的景品附き賣出しをいたします。此際益々改良を加へた優良なる本縮を御買求め下さる樣御願申上ます

製造元　堺市大和川　大阪織物株式會社

學ぶには良校を撰べ
本校【活動寫眞教育】週授
●施設は滿洲第一
●卒業生成績界第一
●就職斡旋紹介
●資格取得
●責任教育

新フォード、新エセックス其他　練習車約十臺
●學則要送料二錢
●寄宿舍完備
大連北大山通り十四番地
日華自動車學校
電話一六〇二一番

京城本町四丁目百五十五番地（電話本局二二七四番）
内科胃腸科　脳神經病　北島醫院

ほまれみそ
萬　龍
野田醬油株式會社
朝鮮支店

# 平壤の春祭り

## 慶尚北道

# 藥令市の紛糾再燃か
## 有力者數名留置 大邱署で取調ぶ

大邱藥令市は紛糾に紛糾を重ねた揚句現在の南城町から明治町に移轉する事に決し明治町では移轉に要する費用として既に七百余圓を同町内および市場関係商人からあつめてゐるが數日前來右移轉問題について大邱署の活動となり明治町内の某有力者數名は目下同署に留置され取調べを受けてをり解決しかけた同市場の移轉問題も再び紛糾を豫想されるに至つた問題の起りは同市場が大邱の發展に伴ひ移轉を必要とするに至り市場町と明治町とが競合して移轉運動を起すに至り南城町の現市場民はこれに極力反對したがいよいよ移轉と決するや今度は移轉地について明治町と市場町とが内訌を生じ双方から寄附金を募つたが期成會幹部は自町に移轉と決したのは吾々の努力だとばかりいゝ氣になつて集めた寄附金を費消し且指定町に溜置されたと同町では期成會を作つて一日も早く移轉すべく各方面に運動したが遂に同市場は明治町に移轉と決定し同町では期成會を作……金も相當に上つてゐるといふのである(大邱)

新町、道場町、八雲町、八重垣町、錦町二丁目
▲十一日 東雲町、三笠町
▲十二日 七星町、幸町、錦町一丁目、田町、村上町、元町一丁目
▲十三日 東城町一、二丁目、大鳳町、南町、東本町、南北町、南北旭町、榮町、東門町
▲當日雨天の際は其の地域に限り最終日の翌日に行ふ

## 西面水利 認可さる
### 來る六日起工式を擧ぐ

慶州郡西面水利の建設は大正十二年以來の懸案となつてゐたが一部地主の反對で行惱みの形であつた所が兩度の旱害に懲りくした反對地主も、水利組合建設の利益である事を悟り創立總會を經て本府に認可申請中のところ、認可指令に接したので六日午前十一時から慶州郡西面演習場において林知事臨席のもとに盛大に起工式を擧げる事となつたが、同問題はこれでやうやく八年振りに圓滿解決を告げた同水利は蒙利地區千十町步工費六十八萬圓を要する本道における水利組合としての最大のものである(大邱)

## 今年は水攻め?
### 降り續く雨に河川氾濫

打ち續く霖雨で慶北道内各河川は何れも增水したが減水する間もなく二十八日夜の霖雨で又復增水し二十九日午前九時慶州郡内を流れる洛東江は三十尺に達し濁流の流失するもの、工事の總出、田畑の浸水多く同郡管區内だけでも浸水二十町歩におよび損害莫大の見込みである(大邱)

## 東村水利創立總會

大邱府外東村に水利組合を設置すべくかねて計畫中であつたがいよいよ總額二十萬圓の工費で創立委員會を選く城郡關係面で開きその結果總經費二十六萬圓で本府の認可を仰ぐことゝなり豫算作成に着手した同豫算區域は四百五十町步に亘る豫定で創立委員は東村面委員代人、徐丙柱、金在燉、加島規矩、藤波幸作、龍田一正、南相領氏等の外十七氏である(大邱)

## 大邱の春季淸潔

大邱府の春季淸潔法は左記により八日から行ふことになつた
▲八日 大鳳町、鳳山町、德山町南山町、南城町、京町二丁目、西千代田町、明治町二丁目、東城町四丁目
▲九日 本町一丁目、上町、元町二丁目、大和町、上西町、錦町東千代田町、京町一丁目、西内町、北内町、下西町
▲十日 本町二丁目、明治町一丁目、旭町、市場町、市場北通(大邱)

## 學生事件控訴公判
### 第一審通り求刑

光州高等普通學校生徒の騷擾事件の控訴公判は一日午前十時から大邱覆審法院において金光南外二十三名出廷藤村裁判長係り早田檢事立會の上開廷金光南より事實審理に入り終つて早田檢事から騷擾罪の……

### 慶北雜俎

◇慶北本年の棉作獎勵は四月下旬に道内一齊に行ふ筈であつたが降雨で延期されてゐたが天候も大體定まつたので乾燥地から順次播種することにし道廳棉作係員で二日から各地の播種を視察督勵すべく出發した

◇去月二十三日來南鮮一帶を襲ふた豪雨に慶北道内を貫流する洛東江は二十八日は三十尺の增水を示しこれが爲め……蔬菜作の被害三百十五町步に達し三萬一千七百余圓の損害を蒙つた

◇去る廿七日朝突然大邱署に飛込んだ三十才前後の女があつた、同女は日族院議員神田……

◇大邱婦人會は……

◇大邱八十聯隊……工費は約六千圓である

◇大邱青年訓練所は……時から本町小學校々庭で入所式を擧行

## 柴垣七郎氏

前朝鮮日報社長柴垣七郎氏は一日午前六時突然腦溢血で死亡した氏は商議評議員を二期間つとめ議會派議員をして相當信用を博し同時に大邱の功勞者であるが晩年例の土木談合事件に關連し一切の公職を辭し謹慎してゐた享年五十六葬儀は二日午後六時大和町東本願寺で執行(大邱)

## 平安南道

## 飛行隊記念祭
### 來る四日盛大に擧行

平壤飛行第六聯隊では四日官民多數を招待して開隊記念祭を執行するはずであるが、今年は開隊恰も十周年に相當するので例年の如く壯麗なる空中分列式および祭の饗宴會を催す外開隊以來の殉職者十數名の慰靈祭も行ふことになつた

## 交遊俱樂部生る

平壤府南山町勝野貴市氏外他の發起で今回平壤府西町平壤自動車營業所の東隣二階に平壤交遊俱樂部が生れた同俱樂部は……

## 平壤神社春季祭典

平壤神社春季大祭は三十日の前夜祭に引きつゞき一日午後一時から御例祭が執行され同二時から例年の巡路を御神輿が櫻町神社へ渡御した、此日大商店は休業し各町は紅白の幔幕を張りめぐらし寒紙を貼り各町に山車、移御輿等の催し物で夜を徹して大賑はひであつた尚御神輿は二日櫻町神社御發輦各町を巡幸の上本社へ還幸された(平壤)

## 南浦金融總會紛糾

鎭南浦金融組合定時總代會は三十日午前十一時から公會堂で開催、内田理事議長席につき議事に入り第一號議案定款一部改正の件(可決)第二號議案昭和四年度決算報告……件は高橋氏より說明……の内容について說明を求めたのに端を發し紛糾し大混亂と化したので議長休會を宣し……一時開會したが再度休會……

## 平壤市民大運動會

平壤二十余個團體主催の平壤市民大運動會は一日午前十時三十分から公設グラウンドにおいて開催された各會社、商店員三百余名出場し大試合を極めた蘭千米決勝は張學晋君(平鐵)優勝し優勝旗及府尹賞の金時計を授與された競技の成績左の如し(平壤)

▲百米決勝 一着 朴仁植(協成)二着 朴容根(協成)三着 金寶龍(商銀)
▲二百米決勝 一着 金萬式(協成)二着 呂在錢(協成)三着 金允根(協成)
▲四百米決勝 一着 鄭龍洙(協成)二着 權勝進(協成)三着 金官鎬(協成)
▲一千米決勝 一着 張學晋(平鐵)二着 鄭龍洙(協成)三着 鄭萬進(協成)
▲平壤一周マラソン 一着 韓昌成(平鐵)二着 張昌錫(協成)三着 李學秀(郵便)四着 李錫良(商銀)五着 張燦洙(西日)

## 學生事件判決言渡

平壤高等普通學校生徒の學生騷擾事件判決言渡しは一日午前十一時平壤地方法院で開廷され藤村裁判長から左の通り判決言渡しがあつた(平壤)
禁錮三ヶ月二年間執行猶豫……

## 咸鏡北道

# 沿海州の鰊漁業不振
## 經濟界の不振と勞農の壓迫から

沿海州の鰊漁期も最盛期に入り例年ならばすでに北鮮地方關係の出漁者は本年はソビエト側がこれ等の出漁者、買付業者等に對し種々有利な條件を示して來てゐるに拘らず殆んど出漁者なく沿海州漁業の前途に一抹の暗影を投じてゐるがこれが原因として數へられるのは先づ一般財界の不況による資金難、近來における沿海州の不況等であるが殊に最近の勞農官憲の外人に對する壓迫的態度で、朝鮮人に對する殺の點は沿海州漁業に直接たづさはる朝鮮人にも少からず不安を與へ……との出來ぬ事實と見られ沿海漁業も今や受難期に逢着してゐる(清津)

## 鰐の漁獲期來る

城津近海においてぼつぼつ鰐の漁獲を見るに至り最近毎日四五尾乃至十尾の水揚げあり、盛漁期も追々近づき冬枯れになやみし漁業界も漸く蘇めいてきた相場は……

## 雄基郷軍總會

雄基在鄕軍人分會にては三十日午前九時三十分驛前に集合すべき旨の……員召集令状を全員に發し……十一名參加……

## 京城通信

# われ等の覺悟
## 京城 一記者

本日は每日申報および京城日報の支局長會議である。午前九時まで每日申報から開始せられた。議事は滑らかに且迅速に進んだ。しかもいづれも元氣であつた。いはんがためにいふといふのでなくて、いはんと欲するところはすべてこれを盡すといふおもむきがあつた短時間ではあつたが會議終了後何となしに胸がすうとしたる感があつた。

×

手前味噌を申すではなけれどわが每日申報及び京城日報は年々その占むべき地位を占め漸々その進むべき地步を進め來つた。しかして今を以て金剛石時代なりと誇稱する能はざるも黃金時代ぐらゐには評価し得るであらう。斷じて黃金時代ではないのである。何がしかしかくあらしめたか、もとより江湖大方の……に依るのではあるがそれにしてもわれ等の死に物狂ひなる不斷の努力も少しは買つてもらひたし。それはすさまじきものですよ、われ等の不撓の努力。

×

何にしても支局長會議は元氣だ。さすがに社會の尖端を行くてふ自覺と他覺とに包圍さるゝ新人だけに元氣だ。われ等の覺悟はこの元氣で邁進せんとするにあるのだ。新聞のために朝鮮のために臺灣のためにも、東洋延いて世界平和のために(五月二日)

長項里停車場敷地視察

群山府河川事務所、府協議員、新聞記者一行は去る二十七日群山の對岸に進出する京南鐵道終點長項里の停車場敷地、棧橋および市街地を視察した同視察……一行(群山)

## 京畿道

## 仁川學校組合會議

仁川學校組合會議は五日午後一時から府會議室において開催、昨年度歳入歳出豫算追加更正の件其他を附議することになつたが追加豫算は小學校設計……

## 開城の花祭

開城の花祭は本年は各宗協會で盛大に催されてゐる開城の花祭りは本年は各宗協會では三日の第二土曜には午後八時から……

## 點呼

仁川府および富川郡における本年度第二十師團の簡閱點呼は六月十六日午前八時から仁川寺町小學校において擧行……

## 西水羅に電燈供給
### 雄基電氣の出願許可

雄基電氣株式會社から咸鏡北道慶興郡西水羅方面に供給區域を擴大出願中であつたが四月二十八日附を以て許可せられた……

## 全羅北道

# 裡里の後任面長
### 自然の人を輸入 道廳に一任

河本裡里面長辭任の後任面長選考に關する公職者の意見は……

## 全州から

◇辭任がないとか、他所から輸入されるとかで……

◇こんな事なら早くやつて了へば……

## 異動發表

全羅北道では四月廿日附をもつて久しく空席であつた地方課長及これに伴ふ官房主事等の異動發表をなした(全州)

命地方課長兼知事官房勤務 官房主事 長富勲作
命知事官房主事 道理事官 池上倭三郎
命會計課長 道屬 橋本一男
命地方課農務課長 學務課長 瀬戸道一
命南原郡在勤 產業技手 千葉毅
命產業技手兼產業技手 二宮時丸
命産業技手兼産業試驗所勤務 產業技手 安藤柯

## 偽刑事に騙さる

平北義州郡……

## 支那少女を誘拐

平壤府……

## 合財袋

◇……大同郡柴足面……

## 慶尚南道

# 生血を吸ふ惡ブローカー
## 內地密航を種にして 近く大々的檢擧する

昨今釜山へ集まる渡航者は四百名内外にて昨年同期と比較するに不景氣と旱害の影響を受けて增加の數字を示してゐるが殊に密航者は釜山を中心として……

## 小荷物運賃問題
### 會議所で斉料蒐集

內地鐵道にてメートル法實施の結果釜山大阪間の託送小荷物の運賃が從來よりも高率をもつて徴收され、營業者の打撃すくなからぬものとなり……

## 密陽鮎の濫獲防止
### 漁業組合を創立し繁殖を圖る

密陽の鮎は南鮮名物の一つとして有名なものであるが近年濫獲の結果俄に産額が減つて折角の名物も……

## 兒童大會
### 四日から三日間 釜山で開催

釜山府が主催にて四日より三日間打通しに開く兒童大會の準備にて……

## 公益質屋實狀調査

釜山の公益質屋は六月一日より開業する爲め目下着々準備中である……

## 平安北道

## 道内の宗教布教狀況

平北道學務課の最近調査に依る布教所は左の如し(新義州)
▲基督教布教所及教會二百十六……

## 全羅南道

### 全南雜俎

◇昨年十一月新穀から本年四月末迄の木浦港移出米は……

## 洪知事巡視

洪忠北道知事は本月四日より八日まで……

## 黃海道

## 辭令

……

## 三菱軍安東遠征

……

## 沙里院の祭典

……

## 地方人事

……

## 忠清北道

# 清州の公設市場
## 三ヶ處の豫定地から選ぶ

清州公設市場の設置は……

## 五峰と漢城水利
### 年内に竣工

平北……

## 鹽の指定商
### 出願者多し

……

## 人妻を賣らんとす

……

## 忠州農學校開校式
### 來る五日擧行

……

## 郡守會議
### 十二日から

忠北道郡守會議は本月十二日より……

## 國勢調査打合會

……

## 排水路復舊陳情

……

## 沙里院から

……

## 汗浦から

……

# 第二篇 教育美談 有田音松

## 恥を知れ 政黨代議士 武士道と大義名分

有其九十九

伊田孫道画

秀吉が信長の命を承けて、備中高松城を圍むや、城主清水宗治は死に臨み舟中で、秀吉から贈られた酒肴で一門と盃を交ひ、武士の典型として立派な最期を遂げて、芳名を千載に遺したのである。

秀吉が此の高松城を攻略すると同時に、一大悲報が齎された。それは信長の本能寺に於ける横死であつた。秀吉は前門の毛利、後門の明智で進退窮に谷まつたのである。逆賊たる光秀を討伐せざれば大義名分が立たず、前には毛利、吉川、小早川の強敵あり。それを打捨てゝ光秀の軍に向はんか、毛利は秀吉退陣したりとて大挙追撃せんことを恐れ、遂に毛利と和睦したのである。毛利軍は信長の横死を疾くに知つて居たが、秀吉が大義名分のために光秀を討伐するのに、和睦を破棄するに忍びず、義を守つて秀吉に復讐の目的を遂げしめたのである。若し毛利軍が義を捨てゝ秀吉を追撃せんか、秀吉は光秀を攻むる能はず、その勢力を失墜し、遂に秀吉は悲惨な境遇に陥つたであらう。然るに秀吉は勝ち、毛利一門は克く義を守つて秀吉に復讐の目的を遂げしめたのである。

附言　高松城主清水宗治一門の最期といひ、秀吉が大義名分を重んじた點、毛利、吉川、小早川が義を重んじた點、今日現行の日本武士道である。翻るに現代の政界はどうだ、無節操な醜状を演じ、不浄金をバラ撒いて選挙界を腐敗せしめ国民思想を悪化せしめつゝあるのである。又大臣は徹して金を出して予分の代議士を多く持つて居る者が大臣になるのである。所謂金権大臣である。今日の政党は金の政党である。利権の政党である。何れの政党も内閣を組織するも政権争奪を主眼とする以上、[illegible]終局は国家の禍であ る。今日の日本は[illegible]に直面してゐるのである。政権争奪や党利に汲々たる時ではない。大義名分を重んじ国家の進展に盡さ せよ、政府も代議士も。

## 主従一致 天下を取つた家康 大久保彦左衛門戦傷を示して将軍を苦諫す

有其百

伊田孫道画

天下に威を張つた信長も、叛将の部下たる光秀の爲に仆されたのである。又、賤民から身を起して天下を取つた豊臣秀吉も、秀吉歿後統一を缺き間もなく滅亡したのである。然るに、徳川が十五代も連綿したといふことは、一大原因があるのである。信長の部下は、秀吉の部下も同じく[illegible]つた輩ではあるが、信長は二代にして滅び、豊臣も亦二代にして滅んだのである。

然るに家康は、祖先以来九代、殿様の恩に厚い部下に守られて、其の間部下も大部分が親子代々の譜代の臣である。譜代の臣、即ち三河武士は其の譜代の臣に依つて徳川氏を守り立てたのである。家康には臣下の股肱が多く、就中大久保彦左衛門の如きは家康と生死の苦を共にし、二代、三代に仕へて戦国の苦難を経て遂に忠義を尽したのである。

徳川は東に今川、西に織田といふ強豪な大名に挟まれ、絶えず苦境の地位に居り、主従共に辛酸を嘗めて居た。家康の父、廣忠は十三歳の時織田の為に囲まれ、十五歳の時今川氏に頼り、十七歳の年、辛うじて岡崎に入ることを得た。又家康も六歳にして人質となり、今川氏に送らるゝ途中織田氏に捕へられ、十歳より駿河に移り、十九歳にして漸く岡崎に帰ることを得たのである。その艱難辛苦時代に、あらゆる艱苦に打勝ち、遂に将軍の職を獲得し、徳川三百年の基業を固めたのである。

附言　織田も豊臣も二代で亡んだのは皆主従の情が薄く、徳川の十五代も連綿したのは主従の情誼が厚かつた結果と見ねばならぬ。我が日本も支那やロシヤの二大国と戦つて之に打勝つたのは、三千年来皇室中心忠義の大家族制度で結束し来つた事である。蓋し一本は主従の至情である。

# 肺尖カタル!! 肺病？ 七ケ月間病魔と闘ふ 有田藥の服藥で 二貫五百匁の増加

[illegible]健康であり、私自身も[illegible]役時代二里半の山路を下駄がけで五年間も通學し病の苦痛を經驗せずに世の中へ飛出した程ですから、わけて世の中でやかましい肺病などといふものは自分と何の交渉もないと思つて居りました。といふより頭からそんな事を考へて見た事がないと言つた方が適切でせう。それが寄る年波の悲しさと言ふにはまだ早いのに何の因果でせう、呪はしい病魔はたうとう私の肉体にまで忍び寄つて居たのです。一月初め強度の不眠症に悩まされたのがもとで、段々と體重は減まり鬼角からだの調子が狂つて參りました。所がだるくなり食慾が減じたりするのに氣が付いた時は已におそかつたのです。遂に來る處まで來てしまつて居たのです。世の人はみな花見だ何だと浮かれ出す頃私は肺尖カタルといふ怖れて彌めての恐ろしい宣告を受けて獨り陰鬱悲痛の内に天命を待つのみでした。これではならぬと氣を取りなほして手當り次第に療養法を漁りましたし、祖一杯に文献を列べて見ても肺病に悩む日は何なり消えません。有田先生の治療劑についても勿論知らない筈もありませんでしたが、御多聞に洩れず私もあらゆるものに見切りをつけた時、やつと服用して見る氣になつたのです。幸ひ助川町仲町朝鮮商会の所でしたので、マア試みに訪れて見ました。所が、圖らざりき主任様はこの疾患に就いて至れり盡せりの説明をして下さいます。[illegible]

一層を詳しく語り合ひ、先生といふ療養劑を頂きまして有田先生製の治療劑及肺病藥を一週間分頂き始めて服用し、二三日服用の後には大した變化の現はれを認めて、第一の苦痛である胸の壓迫は殆んど消失し、盗汗は止まり夜は熟睡し得られた時、咳が非常に軽くなりました。こんな事ならもつと早くから服用して居たらと口惜しく思ひました。見違へる程の變化を見て自分ながら驚きました。二週間目の現狀に一番不思議な感じがしました。今では更に二週分の服藥で目方も一貫五百目以上殖えて至極健康になりました。念の爲先生に御禮傍々六名の醫師にも診てもらひましたが何處でもキレイに治つた事をつけて呉れます。思ふに私の周囲に集つた多くの同病者に比較して多少の医師の診断なる手数をさせた者も[illegible]すから、私は世の中には食はず嫌ひといふものがあります。近時またひどい傷病の新藥なるもの記憶するものがあります。新藥に限らず、色々な治療法を試みてゐる病者に取つては實に氣の毒な事であります。迷ひ易き我が同病者に唯へません。私が病魔と闘ふ事に七ケ月、その間の體験は二百日余に亘る有田先生の治療劑を服用すべく勸めるだけの自信を得めたのでございます。一家揃つて有田先生に感謝を捧げ、只管同病に悩む御方の服藥全快を祈る所以であります。

茨城 茨城縣多賀郡河原子町 全快者 根本嘉多止

根本嘉多止様

# 肺尖加答兒が 有田音松様鑑製藥で 譯なく全快

私は昨秋頃を藥として居ります。肖夏に風邪を引くとは聊か信ですが風邪から風邪に罹り、夏の暑さで發作がなかなか出來ず、その後體がこじれて來て歩くにもふらつく始末なので醫師の診斷を受けました處、肺尖が悪い様に申され、主人は申す迄もなく、兩親も非常に心配せられ醫師の投藥を約一ケ月續服致しましたが快方に向はず困難の内に娘と共に落して居りました。折柄主人が新聞の廣告により有田音松鑑製藥を求め、同病の人々の全快せるを知り京城本町通りにある有田ドラッグ出張所を訪ね、殺病以來の容態を申上げたる所に主任は懇ろの外至極親切に病理を說明下され、有田音松鑑製藥の治療劑と有田血液素を買求め早速に服藥いたせしに一週間位より熱も下り、最高三十九度内外の高熱が三十七度内外まで下り、痰も出やすくなり引續き服藥に同復し終に連服四週間にして全快いたしました。其後再發することもなく益々健康でゐられるのは有田藥のお蔭と感謝いたして居ります

京都 京城府黄金町 全快者 龜山よ孫子

龜山よね子様

# 全快者の續出 新聞發表の全快者は五十人に一人位

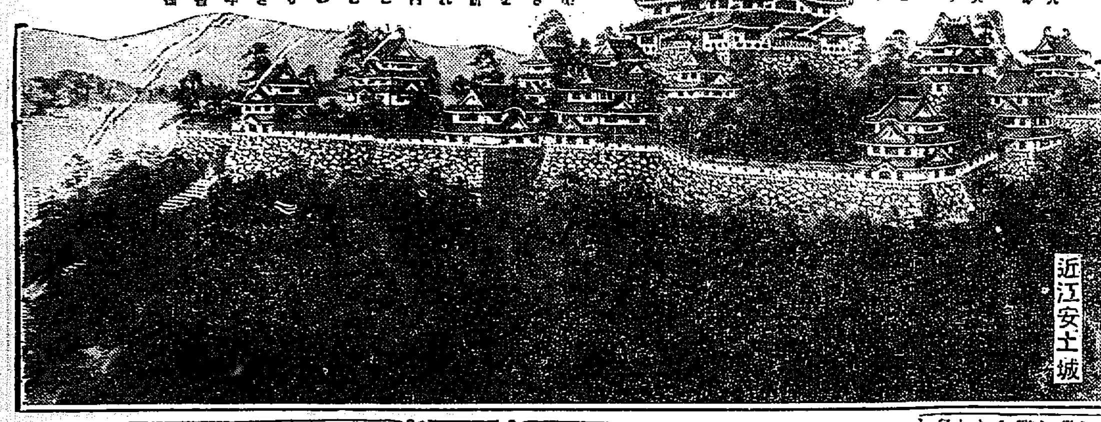
新聞紙上に發表する全快者は五十人に一人位の割合で、其他の人は自己の恥しんだ經驗から全快の報告を得たので、其他の同病に悩む人々を一人でも多く全快の幸福に導かんとて、自發的に發表と感謝の投書を申込まれたものである。新聞に發表以外にも夥しい全快者がある譯で、一般病者が商會の藥を服用して全快したからとて御本人の承諾が無い限り決して無斷で新聞紙上に發表するものでないから、安心して服藥せられ一日も早く全快せられたいものである。

それに商會では藥を賣ふ、賣にぬにかゝはらず各地の出張所で肺病ろくまく患者の養生法を懇切にお教へしてゐるから其御相談について相談せられるがよい。

# 織田信長公全盛期の安土城

天正四年織田信長築城。五層七層（高さ七丈餘）の天主閣を建て、木邪築城に新紀元を劃せり。是れ天主閣の始なり。内部は金銀朱碧を施し壯麗極まりなかりしといふ。又、天主の傍は四ケ國様となり他に其の類例を見ざりしと、天正十一年本能寺の變後、明智光秀のため兵燹に罹り燒失せり。

天主閣は信長が那蘇教の天主を祭りしを以て此の稱ありといふも、又一說には、須彌三十三天の主にして其の絶頂に居る帝釋天を祭りたるものなりともいふ。一般に天守の文字を慣用せるが天守は天主の借字なり



近江安土城

# ろくまく炎に悩み 主人のなさけと 有田藥で全快

一ケ月程前から時々發作が出て何となく身體だるく顔色も悪く次第に衰弱する様子に、風邪だと思つて居りましたが急に右の乳の邊りに激しい痛みを感じ出したので、早速醫師に診て貰ひましたら左ロクマク炎と診斷され治療專心致しました。店員の身故この由を御主人に話しました處、御主人は大變御同情下さいまして、ロクマク炎なら心配することはない、有田ドラッグの藥は非常によく効くとの事を聞いて居るから、有田の藥で治すのが一番よいからと早速富山市總曲輪の有田ドラッグ出張所へ行つて下され、主任の方と相談の結果有田音松鑑製藥を御主人様から是非にと云つて三週間分買求めて下さいました。又、出張所の主任様も私に適當な養生法を話してやるとて直ちにお出下され、この病氣を治すには發作が第一であると合理的な養生法や、これまで怪由見舞の方の治つた實證を詳しくお話をして下さいましたので大いに力を得ました。所くて一日も早く全治して御主人様や主任様の御厚情に報いねばならぬと衝甲に服して専心服藥養生致しました。四五日服藥つと痛みも前に比して半減し、盗汗も段々なくなり氣分もなんとなく良くなつて來ましたので、引續き服藥三週間にして三十一日後には全快いたしました。

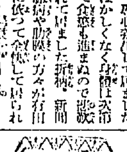
富山 富山縣富山市總曲輪丁目 全快者 水間廣松

水間廣松様

# 感謝!! 難病全快

風邪で發作して居りました處、何時の間にか呼吸が苦しくなつたり發熱したり時々胸に鈍い痛みを感ずる様になりましたので、早速醫院の診斷を受けました處肋膜炎との事に私の驚きは元より家族のものも大變驚いて専心養生して居りましたが、はかばかしくなく身體は次第に衰弱して食慾も進まぬので段々の夢にくれて居ました折柄、新聞で多くの肺病や肋膜の方々が有田藥の服用に依つて全快して居られる事を知り、早速伊賀町上野町本町通りの有田ドラッグ出張所に行き、主任様は親切に病理や養生法など今までの經過を詳細に申述べました處、有田音松様の治療劑と有田血液素を買求め服用致しましたので、熱心に教へられた養生法を守り服用して居りますと、次第に胸痛は輕減し熱も下り食慾も増進して、八週間の服藥にて全快其後醫師の診斷を受けました處全快して居ると申され、私の喜びは何にもたとへ様もありませんでした。茲に私の全快談を發表して同病の方にお知らせ致します。

三重 三重縣阿山郡上野町字徳居町 全快者 杉本あきの



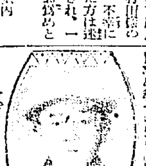
杉本あきの様

# 午後になると熱が出る 濕性ロクマク炎

私は長男を宿邸の都合上他に勤めさせて居りました處、ふと風邪に罹り食は思はしく進ます、午後になると毎日の様に熱が上りますので早速近所の醫師に診斷を受けましたら濕性ロクマクと申されましたので、非常に心配して種々人より聞いてよいといふ事をして居りましたけれども日々に顔色が悪く身體が衰弱して參りますので心配して居りました處、御藥を勧められる人が有田ドラッグの藥は大變良く効くから一度飲んでみたら如何と申されましたので、早速大垣市郭町有田ドラッグ出張所に参りまして今迄の事を話しましたら主任様は大變親切に病理や養生法を教へて下さいましたので、試みに有田[illegible]

て胸痛も全く去り盗汗もなく熱も平熱となり顔色もよくなりまして、其後尚も服藥一ケ月餘り服藥した結果全く病を忘れた様になりました。念の爲醫師の診斷を受けましたら全快と診斷されましたので、只今は店へ戻り働いて居ります。一般にロクマク炎は輕くて三ケ月以上八ケ月かゝる由であります、私は僅か五十日位で全治したのは早い内に有田藥を服用したお蔭で、御主人様と有田様の御恩を感謝して居ります。不幸にしてロクマク炎に罹られた方は迷ふことなく有田藥を服用され、一日も早く全快されるのがお得かと思ひます。

岐阜 岐阜縣安八郡名森村字○ヶ町 保護者 祝田卯三郎 全快者 祝田利三郎



祝田利三郎様

# 百瓦服めば 四百瓦の血が出來る 有田血液素

一名オーソール　定價四圓

身體の弱い者、病弱者が普通滋養物として第一に攝取するものは牛乳肉、魚類、雞卵、ソップ等である。

是等の品は無論滋養物には違ひないが何れも胃腸の消化作用によらざれば滋養とはならないのである。故に胃腸者や虚弱者の胃腸は消化作用が弱くなつて居るから是等の滋養品を攝取すれば反つて胃腸を害する結果となるのである。

故に大病後、産前産後、何れにも、入院患者、特に[illegible]の發育期中の者等に、[illegible]攝取せしめ、若くは食後消化藥を服用せしむるのである。併しこれとても[illegible]である。また完全とはいひ難いので常用するは有田血液素を服用するである。

有田血液素は滋養劑として有効なる主素は補血劑として有田血液素を如何に多量に含んでゐるかに就ては内務省衛生試驗所分析表に依りて知らるべし。

尚ニセ物を賣るものがありますから有田音松鑑製の文字に御注意下さい。

となるのである。

有田血液素を服めば左の如き著るしき効力を顯はすのである。

（一）貧血者の人は直に顔色に紅色を顯はす事
（二）體重を増加する事
（三）血液を増加するを以て體力を増す事
（四）冷性の人は身體に温味を増す事
その他病後の一般虚弱者、老衰者、不眠症、心臓病等の快復に

分析證明書

依頼者 大阪市西區新町通二丁目五十二番地 有田音松

一オーソール（ヘモグロビン　定量）

右の試驗品を調べたるに一部は滋養分なり主成分はヘモグロビン（酸化ヘモグロビン）八五・一%

大正二年四月二十九日

内務省大阪衛生試驗所 所長衛生試驗所技師 平山松治 ／ 主任衛生試驗所技師 森茂樹

# 天下の大問題となつた良藥

有田ドラッグ商會主 有田音松

肺病は死病なりとして、醫學界で持て餘して居つた、其の肺病が商會の良藥で、續々全快者が出來るので、商會ではそれを天下の新聞に發表したのである。サア醫界は勿論社會一般の注視の的となり、其の結果東京の大新聞の問題となつたり全國の一萬からの賣藥師が、人寄せの材料に應酬するに至り、賣藥でも捨て置くことの出來ない立場となり、新聞に發表した全快者を全國の賣藥に題配して醫藥となる（一年半の日子を費し）調査をせられた結果、偽りでなく事實の全快者であつたので、公開正々となつた譯である。商會では誰に仰ることもなく、新な全治なる全快者と藥の有効なることが立證せられた次第である。

「之れをしも信ぜざれば天下に信を置くものなし」

迷ふ事なく商會の良藥に縋つて一日も早く全快せられんことを祈る。

# 肺病ろくまく全快者續出

## 肺病ろくまく請合藥

別製治肺劑　八日分 十五圓　十六日分 二十八圓
特製治肺劑　八日分 十一圓　十六日分 十九圓
有田コール　八日分 十圓　十六日分 十八圓

本劑の服用に依り胸を強め、食慾を進め熱を去り盗汗を防ぎ、腸を締めて安眠せしめ、日に見えて快復に向はしむ。

疏に肺疾肺劑は今回新に研究所の高貴藥を配劑し一日も全快を早める精密心したる良藥にして、その効能大なり。

何れも藥品との併用差支なし、故に解熱と共に本劑を服用する時は全快速やかなり

## 警告 紛はしきニセ藥を賣る者あり

御買取の際左の如く商標に御注意

本舗 大阪内本町二
發賣元 大阪心齋橋南詰 東京日本橋通三
「有田ドラッグ」
「有田音松鑑製」

この文字あるものを必ず御買取あれ

有田ドラッグ商會主 有田音松

## 東洋一のチエーンストアー

關西發賣元 大阪心齋橋南詰
關東發賣元 東京日本橋通三

左記所在地の專賣所にて必ずお買取あれ

### ◎朝鮮

| | |
|---|---|
| 釜山 弁天町 | 新義州 常盤町 |
| 京城 本局前 | 元山 本町三 |
| 京城 黄金町 | 咸興 本町二 |
| 城 練兵町 | 羅南 生駒町 |
| 仁川 宮町二 | |
| 大田 榮町一 | |
| 群山 東榮町 | |
| 浦項 本町 | |
| 全州 高砂町 | |
| 木浦 榮町 | |
| 麗水 港 | |
| 大邱 弓町 | |
| 金泉 錦町 | |
| 馬山 京町三 | |
| 光州 本町 | |
| 兼二浦 本町 | |
| 鎮南浦 碑石里 | |
| 平壤 局前 | |

### ◎滿州

| |
|---|
| 大連 但馬町角 |
| 旅順 敦賀町 |
| 鞍山 赤城町 |
| 遼陽 東洋街 |
| 安東縣 市場通 |
| 奉天 紅梅町 |
| 撫順 東六條 |
| 鐵嶺 敷島町 |
| 開原 新市街 |
| 四平街 |
| 營口 永世街 |
| 哈爾賓 傅家甸 |

滿鮮發賣元 京城郵便本局前
台灣發賣元 台北本町二丁目

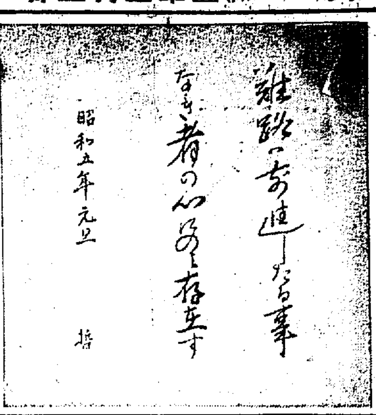
有田ドラッグ西部專賣所所在地

# 警告 京城府内に紛らはしきニセ藥を賣る店あり御買取の際は必ず左記所在地の有田ドラッグ專賣所にて御買取あれ

有田音松製劑專賣所

京　郵便本局前
京　黄金町
城　練兵町

雜誌は散逸したる事なき者の心にのみ存在す
昭和五年元旦 安井哲子女史筆




# 内野健兒第二詩集『カチ』讀後評(下)

京城 田中初夫

詩が肯定されたるものとしてその存在を主張する時、僕は貴方の最近の詩から次の詩をとり出して解釋を加へて見たい。

貨物列車

1、2、3、4、5、6、7、
8、9……何號まで續いてゐる
のだらう
今日もどす黒い貨車の列がガタ
コト通つていく
白いパツンドをしたモダンガア
ルでもなければ
甘い響を秘めたマダムでもない
あでやかな旅行の竇がチラホラ
する窓の一つさへも
開かれてゐない貨車はたゞ默々
としてレールを滑つていくのだ
たまく開かれてゐる窓からは
茫然とした牛どもの顏がのぞい
てゐるうるんだその瞳はいひ様
のない無智のかなしさにしばた
いてゐる
またころくころの豚がうご
めいてゐる
踏切に佇んでじつと眺めてゐる
身に牛の顏が友達の顏に見え、
豚の群が同胞の姿となり
沈鬱な貨物の堆積が人類の惱に
浮んでくる
資手から資手の手に動かされて
動いて行く貨物の腹はどす黒い
のだ
1、2、3、4、5、6、7、
8、9……

これは問題第一の詩だ。そして僕はこれを貴方のこの詩集中で一番いゝ詩だと思つてゐる。こゝから解釋されるものは、この詩は貴方がもつともよく表はされてゐるものだと言ふことだ。その技巧、リアリズムのもつ長所をもち、日本の諧謔が、聞突がよく出てゐる。この牛や豚のゐる貨物列車こそ、今日の社會において牛や豚と同様な生活をしてゐる僕等の姿そのものではないか。モダンガール、マダム、あでやかな旅行、それから隔離されたどん底の世界。貨物列車はどす黒い腹が似合はしいではないか。この詩、貴方の詩作を『最近』にも出してゐる。これは貴方の性來の詩魂だらう。

この狀態から脱して、センチメンタルな感情を棄てやうといふ努力は、即ち『貨物列車』に示された消極性の現れは『空の涯』『冬の戸』等を通して『晒される』にまで現出する。然しこれにもなほ一脈の抒情味が流れてゐる。消極的な感情が根強くはつてゐる。そしてなほ十分に板についてゐない所が感ぜられる。

僕は最近やかましいプロ詩が抒情詩を否定するといふことに同意はしない。そしてなほ、この點は抒情詩否定の根據に抒情詩とセンチメンタル・ポエムとの混同を來たしてゐることを考へない譯にゆかない。僕は貴方の詩に抒情味があるからと批難してではない。たゞ貴方の動向において、貴方は自己の、情味を捨てようと努力してゐることが、新しい目的の時に迄跡を辿る時に僕に認める。そこでこの點において貴方の自己清算において、貴方の第三詩集の發足される日を期待したいと思ふ。如何なる方向に進まれ様とするか。この詩集の出版は正に貴方の方向轉換期をなしてゐるのだ。そしてその發展の契機は今見た通りだ。

内野君——

僕は大へん無遠慮に、そしてまるで文學史家かやる様な調子に書いてしまつた。貴方は多分苦笑することだらう。だがそれでいゝ。これは僕の貴方に對する友情の一つだと受取つてくれたまへ。そして一つには、京城ばかりではない、貴方の活動してゐる中央詩壇だつてさうなのだが下らない用捨批評、お座なり批評の横行してゐることに對する僕の抗議の一つでもある。貴方の去つた後の京城の現在はどうか。下らぬ詩の道を退歩を示してゐる。下らぬ詩と下らぬ詩壇が一人前の顏して、それこそリアリズムも、シュル・レアリズムも、サイコロギズムも、まして詩のクラス・ミーニングさへ碌々分らないでやつてゐる。然しこんなことはどうでもいゝ。

では貴方の一層の發闘を祈ります。さよなら。(一九三〇、四、二〇夜)

## 夜

西條八十

夜がふけた、
嬰兒たちが
やはらかい寐に大切に握つた玩具を靜かに
落し、
ふかい眠に落ちるときである。
夜がふけた
若い人たちが
臥床で戀人の名を呼び、
固く答へてくれたやうに感じながら
ふたたび寂しい眠に入るときである。

◇◇

ここにして地平は喬しけろばろと雲雀乗れたり日の落つる雲

北原 白秋

◇◇

## 最近の映畫二ツから

境 俊郎

最近の京城映畫界において、とりわけ日本映畫において大きなセンセイションを捲き起したところのものは先に御見舞物の『徒』があり、近くに勝谷成吉の『何が彼女をそうさせたか』があつた。この二つの映畫は等しく人々をして十分に涙を絞らせ、殊に『徒』においては、青年婦女子はその映畫から來た全身的な興奮を直ちに街頭へまで持ち來り『徒がありますか』といはしめたりし、『彼女』においては、内地では自殺者をも出したといふ噂が立つた程だし、兎に角近來にない興行的價値を十分に有してゐたといふことが肯かれる。では、何がかくも人々に大きな興奮を與へ、何がかくも涙を絞らしめたか。といふことを吟味に吟味してみる必要がある。この吟味の結果として、われくは同じ涙でありながら『徒』から來る涙は結局『新派』芝居から來る涙と等しく極めて皮相的な涙でしかあり得ないし、『彼女』から來た涙は多かれ少かれ瞬間に刻み込む現實的な涙であることを知ることが出來得よう。

それは何故であるか。

端的にいへば、映畫『徒』は封建時代の産であるからである。即ち封建制度の社會にあつては、社會の構成單位は『家』であり、一切の生活上の利便に浴するものが『家』に歸し、家以外に生活するの方法がなかつたといふ經濟事情にあつた。從つて結婚制も『家』を中心として確立されたのである。そして、この時代に、この『家』の緊束の障害となるものが惹き起される場合には、深刻な涙を誘ふ『悲劇』——『義理』と『人情』とが醸成されたのである。それゆゑに映畫『徒』は近代的な色彩とするにおいても、決してその義理、人情を忘れはしなかつた。むしろそれを中心とする必要があつた。

しかしてこの映畫に徹底から涙を流したところの現實の人間は、この義理、人情を包擁する結婚制によつてむすびつけられた人々であり、或はそうした意識形態を支配的なものとして心のどこかに有してゐる人々なのである。從つてその映畫から流れ來る義理人情は自分が過去においてかつて經驗したところの義理、人情と相一致し若しくは呼び起されたのである。いはゞ古傷にさはつたわけで、そこに必然的に涙を誘ふものがあつた。

併しながら、近代社會の『現實』な生活は決して『家』のみが重大なる條件ではなく、從つて又結婚制も在來の『家』を中心とすることを損棄し、『個人』を中心とするやうになり、このことは將來益々擴大される傾向にある。それ故に封建的結婚制の結婚形式は近代へ容れることが不可能である。唯それを近代生活へ入れるためには、それの根本をなしてゐる『家』を破壊し得ない——逆にいへばそれを維持し得べき經濟的事情によつてのみ可能となる。だから映畫『徒』はその結婚形式を肯定されんとする場合——『家』以外の血の混入することを防禦するためには即ちそれを救助するためには、どこからともなく、まるで天からでも落ちて來るやうに『金』が必要であつたのである。

この天からでも落ちて來るといふ形式は、すでに近代生活の現實性と甚だしく離反するものであつて、ここに映畫『徒』から來る涙が皮相的な涙へと向ふ必然性を有することになるのである。

然るに『何が彼女をそうさせたか』の中村すみ子は、この天から落ちて來るやうな金がないために叔父から曲馬團へ、更に養育院へと渡り歩かねばならなかつた。そこに涙の現實性があると共に近代社會の不合理性を示してゐるものである。そして唯一の味方と考へてゐた宗教が却つて何ものでもなかつた爲に遂に放火するのであるが、この揭面は、客觀的情勢から『宗教家』への反抗として現はれてゐる。

## 美術だより

◇日本名畫展 朝鮮美術主催東京上野美術館に於て十四日まで開催

◇西日本美術協會展 第一回を九月中旬廣島に開催、事務所同市油屋町橋本商科醫院

◇滿洲美術家協會 第二回展を五月下旬大連に開催

◇哈爾賓美術協會 第七回展五月二日より三日間公會堂にて

◇國際美術家協會展 第二回を六月八日より七月三日迄上野府美術館九月大阪十月福岡に於て開催出品受附六月一、二兩日東京府美術館工藝部、一人三點以內

## 餘燼

直木三十五、大佛次郎、吉川英治、三上於菟吉君らの『大衆文藝』はいよく六月から創刊されることになつた。直木君曰く『今度こそ僕はこの雜誌のために一身を捧げて戰ふつもりだ』と……。

## 京日詩壇

三月集 佐藤清選

### 春

京城 小于

後の丘の
栗の下には
もう若い草が芽をふいてゐるの
です
堅い地殼を破つて出たその芽は
見るまに
スイスイと伸びて行くのです
柔い春の光を身に浴びて
つゝましくやさしくいぢらしく
だんだん伸びて行くのです
なよくしたその影にも
神の惠恵と不思議な生命が宿つ
て
日にく伸びて行くのです

### 自動車の中の美しさにみとれて

岩城明太郎

自動車の箱の中には
娘子から二人、
二人ながら笑ひあひ。
やみにうまれてやみに消えた
明るい箱に娘子が二人、
出來るがぎりのおしやれをして
おしやれ娘子が笑つてゐたよ。
いまゝでのくらい心もなんとな
く晴れて
美しい人形を離れなぐらう。
坂の夜路をゆるやかにカーブす
る
自動車の箱の中に、
笑ひ人形が唯だ二人
あのやみに消えていつたよ。

### 黎明の聲

正岡陽菜子

黎明の空は乳色だ
ゆるやかな霧の流れだ
何處かで知らせる曉の一聲が
私の心の中までも響きわたる
黎明の空氣は清い
底冷のする冷たい流れだ
足の裏にもたしかに感ずる
この心地よい冷氣の中で
私は黎明の聲を
はつきりとはつきりと
側近くで聽いた

### 夜

高尾九州男

すべてが一日の眠りに入つてから
私はこつそりと
机に向ふ
そこには汚はしい人生の
騒音がない、靜かなのだ
晝の騒音は總べて夢なのだ
夜の騒音が時々起る
そして再び沈默に歸つた時
淋しさがひしくと身を包む
喜びが身の内からほてり出す
何を考へても自由だ
だが私の考へることはきまつて
ゐる
この人生への反逆だ
戀人への情熱だ
夜は私を冷たくして呉れる
夜は私を熱して呉れる

## 七・ボの日から

◇五月二日 昼からやうく陽光がさした、丸坊主になつてゐた街路のプラタナスの芽の伸びたのが目に立つ

◇昨日は何といふ日だ、交通の事故デーの觀があると編輯子のいふのも尤もだ。京城の電車は春になると、毎年一頭死ひつくり返るものと相場が定まつた。配當をする許りが能ちやない、會社の幹部も少し街頭にたつて、ギシくときしり頭をゆらくと搖つて驅る電車を觀ることだ

◇社では永年勤續の社員を表彰した、二十年以上は編輯に只一人、一寸十年以上勤續者もある。うなづけるものがある。支局長會議も開かれてゐる

# 日本文學の紹介とエス譯

京城 桑原星羽

俳句は日本にのみある唯一の文藝で、それが、僕に、短い形の詩であるといふばみりでなく、五七五といふ調が整ひ、『や、かな、けり、』といふやうな行儀までそろつて、季感といふものがうまく織り込んであるから、排列してある文字の上ばかりでなく、一旦之を口に上ぼせて吟詠して見る時にその諧調や、語調に、何ともいぬ香韻の快味を感ずるのでなければならぬと思はれます。

近時、日本文學の翻譯といふ事が、英譯した俳句を見ましたが、なるほど、その句に現はれた意味だけは、可なりに直譯してあります、しかし、それを口に乘せて讀んで見ますと、只短いお話になつてゐます、どんなに讀み様を工夫して見ても到底駄目です。

五七五の調に、或はそれに近く讀めないばかりか、『や』とか『かな』とかいふやうな詠嘆的な感じが一寸も浮かんで來ません、また、各國の長短がまちくで、その間尾にある韻なども韻味を逃れないやうです。

英譯にしても佛譯にしても、原句の香韻獨特の妙味を傳へるといふことは、中々無理な註文ではあるまいかと思はれますが、サテ、それをエスペラント譯にして見ますと不思議にそのいろくの難關が打開されるやうです。それで日本文學のこの種のものを世界に紹介せんとするには、どうしても、エス譯によるより外に手は無いでせう。以下數句を擧げて皆様の御參考に供しませう。たゞし譯者そのものゝ巧拙については、大方の叱正を願ひます。

譯者 今泉 湛

Tradukisto K. Imaizumi.

枯枝に烏とまりけり秋のくれ 芭蕉

Ĉe nuda branĉo
Ja korvo venis nun,—
Ho, fino de aŭtun'! (Baŝo)

これを直譯しますと、
『裸の枝に、ホラ烏が今來ましたハア秋も終りだナア』となります。

原句に『枯枝』といつても死んだ枝でないから『裸の枝』といつたのも妙です、ja と nun とで『けり』といふ意をよく傳へてゐます。口に上せて工夫して讀みますと、立派に五七五になります、上に始と終の間尾に韻を置いてゐますから面白く吟詠せられます。

ほとゝぎす大竹原を漏る月夜 (芭蕉)

Kriis ja kukol',
Tra granda bambur',
Ho, luna la klar'. (Baŝo)

これを直譯しますと、
『ホラほとゝぎすが啼く、大竹原を通してハテも月の明かさよ』となります。

これも面白く讀めますのみならず表現は前のより巧でなほ三回の各々の終りに韻が置いてあります。いさゝか韻尾に窮して、自譯のものを少々書いて見ます。

譯者 桑原 星羽

Tradukisto Seiŭ, Sogen.

春立つや朝の門掃く兒に暖るゝ 佐多女

Venis l' printemp',
Kiu balais matene pordon
ce l' fil',
Ho, kiam estas l' veter'. (Sata)

これを直譯すれば
『春が來ました、朝の門を掃く兒にハテも天氣の溫めることよ』となります

夕凪 兒を呼びに出て解く襷 (同)

Ceriz floroj ja vesperon!
Elirante por voki l' filon,
Jen malligis l' labor la con
(Sata)

これを直譯しますと、
『ホラ夕の櫻よ、兒を呼びに出てハテこそ襷を解きました』となります。

水草にゐもり隱れけり春の星 水巴

Kaŝiĝis ja salamandr',
En l' akv herbar',
Ho, brilas l' printstel'. (Suiba)

これを直譯しますと、
『ゐもりは隱れました、水草にホラ 何と春の星の輝くこと』となります。

妻身ごもる
生れ來る兒の顏描けず目刺燒く 水巴

Edzino gravo diĝis
Viaĝon ne pentrebla
de l' infaneto naskiĝonta,
Vol Bulas l' sardinon
soligita. (Suiba)

こんな風で、エスペラントは言葉が簡潔適切で、一刀兩斷の妙があり日語の瓢置が極めて自由ですからどんな表現でも適切に出來ますので俳句の世界進出には持つて來いだとしみぐ思ひますそれにつけても俳人のエスペランテストといふものも欲しいものです(終)

# ぜんそく

●注射の苦しみから一日も早く脱れられよ

# スペロイン時代

ガンコなセキ・感冒・百日咳

一服でニコく トンプクの偉効

●コノ度新たに發見した特効劑「スペロイン」は頓服するだけですぐに吸收せられて強烈な藥力は直接に喘息の發作を鎭靜せしめる實に注射も及ばぬ快速効は眞にトンプク藥スペロインの驚くべき新發見である。

●「スペロイン」の強烈な藥力は喘息に直接に作用しますからサシモノ苦しい喘息の發作が切實にラクラクとなり喘々と忘れた樣になる。

●「スペロイン」は氣管支カタルやガンコなセキにも的確に作用してタンが切れ、咽喉が爽かになり呼吸が樂になる。

●「スペロイン」は體內に爽快な感を與へて氣持ちが非常によくなり、心臟が樂々となり安眠出來る。

●「スペロイン」はモルヒネやヘロイン又はアドレナリンなどの様な毒劇劑ではないからイクラ連續的に服用しても人體に害なく心配無用である

●「スペロイン」は他にない新創見劑ですから藥効が一時的でなく引き續き服用して置くと喘息やガンコなセキの發作が少なくなり遂に起らぬ様に丈夫な體質となる。

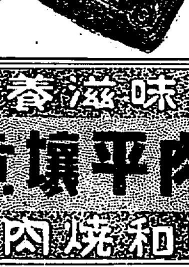
●「スペロイン」は百日咳、感冒、神經痛、扁頭痛には他にない的確な卓効がある。委しき說明書は藥に添附してあります。

藥價 六日分一圓、十五日分二圓、廿五日分三圓、四十五日分五圓、百日分十圓 送料前金は無料。代金引換は三十錢加ふ

スペロイン發賣元 東亞藥園 大阪市天王寺區東平野町三(電車上六) 電話南四〇一五番、振替大阪七五一四番

各地有名藥店にあり

注意 ニセ物が出來てゐますから必ず下圖及び「スペロイン」商標に御注意を乞ふ。



特約 京城南大門通一 新井藥局 一平壤大和町 森田藥店 同本町四丁目 大村藥店 大邱本町 町田藥店

美味滋養 牛肉平壤煮 昭和燒肉

眼科專門 京城若草町(櫻井町通り) 若草町電本一五五六 金井眼科醫院 ●入院設備 ●日曜祭日 診察午前中

資本金 壹億五千萬圓 株式會社 安田銀行 京城支店 京城府本町二丁目

東萊溫泉場 新館落成 溫泉御旅館 清楚閑靜 東萊館 ●內湯設備完備 電話長二八番

ライオン印 作業服 京城驛前 ユニオン商會

三ばい いじやう もつ

# ○ミツワ石鹼

映山紅咲く頃 やうやく汗ばみ 入浴季節來る ○ミツワ石鹼の使ひ心地良し

作用は 泡沫が細やかで 肌を荒さぬ緩和さ

溶解は 水にも湯にも 程よく溶け

溶け崩れ無く お仕舞まで 完全に使へる 徳用さ

不斷の品質向上の爲に從業技術的研究に從ふ主要技術家諸氏 理學博士 小平勘氏 藥學士 河村正雄氏 農學士 三宅次郎氏 工學士 野中正夫氏

本舖 東京 ○丸見屋商店

新緑……

# 人材抜擢、部内刷新 この異動振りを見よ 森岡局長の腕の冴え

警察界の刷新は森岡警務局長就任以來企圖せられ

## 豫て人材抜擢部内刷新

の大方針を以て全鮮にわたる警視の大異動が期されてゐたがいよく決定し二日これを公表した、異動範囲は全鮮にわたり四十四人の大多數の動きをみせ、十二名の古參警視の引退に伴ひ、抜擢せられたる十二名の新警視任官あり、初めての警視大異動として注目せられて居る、勇退組の主なるものは全國警察界に名を馳し高等警察において敏腕の手腕と明敏を謳はれ、全國署長の最高位たる高等官四等に昇りつめてゐた森鍾路署長をはじめ、東大門、大邱と歴任し古參署長の筆頭なる加藤好明氏、永年高等警察長として令名ありし松尾氏、陽川高警察部長隈原八十八氏、釜山署長内藤實一郎氏等あり、本町署司法主任より昇りの梛渡仁川署長も勇退その他各警視があり

## かゝる大掛りなうごき

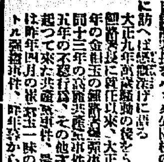
は全くはじめての事である、榮轉組はすべて新進を抜擢し、田中釜山水上署長、武田城北保安課長、警務局の佐藤警、今瀬本町署司法主任何れも任官して署長として各地の安寧に任ずることゝなり、青森警視補より木村、高橋、□氏の朝鮮入りは清新の氣を注入せるものと見られる、なほ高橋氏は三年前まで總督府保安課に在職し、在鮮十余年におよぶ朝鮮通である、原西大門署長の鍾路署長榮轉は當然と目せられ、思南より吉川氏來りて西大門を襲つた、鍾路署長の最後を飾る

## 福德圓満なる人格より

して特好とされ、東川發山の仁川署長も榮轉である、段北の吉村氏、京畿道保安課長となり、其他すべて適材適所の異動として好評である

# 走馬燈の如く 思ひ出はつゞく……

感慨無量の 森前鍾路署長



今回の異動において後進に道を譲り勇退した朝鮮警察界の元老森鍾路警察署長をパゴダ公園傍の官舎に訪へば感慨深げに語る

大正九年萬歳騒動の後をうけて鍾路署長に就任以來、大正十二年の金相玉の鍾路署爆彈事件、同十三年の高麗共産黨事件、十五年の不逞行爲、その他次々と起つて來た共産黨事件、最近では昨年四月の張貴一味のピストル强盗事件、昨年春からの學生事件などが今更ながらに走馬燈の如く腦裡に浮び上つて來る今この思出深い朝鮮警察界を去るに臨んで在任中何等爲すところの無かつたことを恥じ入るとともに、今後とても微力ながら力をいたしたいと考へる次第である(寫眞は森氏)

## 功勞顯著 森氏略歴

今回勇退した前鍾路署長森六治氏は明治二十九年郡山縣で巡査を拝命したのを振り出しに今日まで三十六年間警察界に身を委し功なり名とげて勇退となつたものであるが明治四十三年六月渡鮮後は引續き京城に在つて昨

# 大過なく勤め得た

仁川署長を退く 梛渡兼三郎氏

今回の全鮮に亘る警視級の大異動により仁川署長梛渡兼三郎氏は三十七年の永きサーベル生活より勇退し後任は釜山署長より吉川茂氏を迎へることになつた、梛渡氏は京城本町署司法主任、龍山署長を經て昭和三年七月仁川署長に赴任の機が高かつた 務總督部長に栄任、本町署、西大門署と歴任し、大正九年警視に累進同年末第九代鍾路署長として大小幾多の事件に顯著なる功勞を殘し、名署長し、仁川在勤僅かに一年十ヶ月に過ぎないが仁川府内の治安維持には全力をうちこんだ人で常に率に當つては公平、殊に部下を愛すること子を思ふが如く從つて部下の信望は大したものであつた、氏の退官はいはゆる功成り名遂げての勇退に外ならないが未だ四十八歳の男盛り、退官後は郷里秋田縣に落ちつくらしいが仁川府民の氏を惜むことは一通りでない、退官に際して記者に語る

斷後三十七年の永い歳月を私は上の落度は兎も角、公務に當つては大した失敗もなく勤め得たことは自分として洵に愉快を感ずる所で偏に先輩諸氏の御指導と官民各位の御援助の賜によるものので、新紙を通じて謝意を表していたゞきたい

# 眞實一點張りさ あくまで民衆本位――

嬉し氣の 原新鍾路署長

西大門署長から鍾路署長に榮轉の報をもたらして西大門署に原署長を訪へば、すでに官舎に引き上げて和服姿に打ちくつろぎ、榮轉を知らぬ顔……でもさすがに嬉しさは隠しおほせず、ぼつぼつと語り出す

鍾路署長になつたつて別に感想はないよ、抱負つて？色々有るがそれはぼつぼつ話すとして僕の主張は眞實一點張りさ、あくまで眞面目に、研究的に、民衆本位でありたいと思ひます。自分は朝鮮に來てからは思想界方面と交渉はなかつたが、總督府時代にはずつとその方面に關係して研究して見たいと考へて居るがいよいよ、新規蒔直しにみつちりと相變らず御指導を願ひたい(寫眞は原氏)

## 原氏略歴

西大門署長から全鮮の思想關係の機密を掌握する鍾路署長に榮轉した原八郎氏は、大正八年總督府警務局から龍仁署長に轉任次いで京畿道警務課勤務、本町署勤務主任、水原、開城各署長を經て、大正十五年六月卅日西大門署長となり警視に昇進、以來足掛け六箇年の間引續き同署々長として敏腕を揮つた、就任直後從來の二部制勤務を廢して三部制となし、當時非難のあつた司法、高等係の改善に力を盡して模範的の定評あるものとなしたことを認められたもので、性溫厚、研究的の好紳士、府內署長中の古參組で今回の榮轉は當然であらう

# 黄塵のベールに包まれた京城

## ホンに困つたいたづら者

大京城を包む北漢山、南漢山、北漢山、さては三角山、鷹山等二日おひる頃から山火事の煙につゝまれたか、灰白色のベールの中にあるやう……それにしても不愉快な天候、罪町界隈女中仲居さんが振角拭した黄塵のテーブルの上にいたづら者さへ出來る程。何處だらう……京城測候所の久保田さんは語つた

例年今頃はよくあることですがまた今年は何とひどいことでせう、一般には黄塵と云ひ我々の方では黄砂と名付けてゐる奴です。昨日滿洲北部に七百五十ミリの低氣壓があつたのが滿洲沿海州の方へ移動して一方に支那北方にあつた七百六十六ミリの高氣壓がだんく南下して只今(午後四時半)揚子江の流域にうろついてゐる。このために西風が吹いてあの大陸の、蒙古の黄砂をまきあげ滿洲を越えて朝鮮までこんなベールに包まれたやうになつた譯です。併し案ずる程のこともなく明日の晝頃までにはスツキリと晴れるでせう

# 榮進は 當然の事

鍾路署長に榮任の 今瀬金太郎氏

今回榮進組の秀なるもの中鍾路署の警務主任から龍山署長に轉じた今瀬金太郎氏は明治四十年岐阜縣から朝鮮巡査に採用し渡鮮、大正六年警部に任ぜられ本町署、全南警察部を經て京畿道警察部を歴任大正十一年七月の金相玉が三坂通りの高方に潜伏せるを突き止め刑事十數名を率ゐて現場に乘り込み逮捕せんとする際賊の打つ最新式モーゼル拳銃のため銃創を負ひ當に身を殺して事に當つた勇敢なる警官で今回の榮轉は寧ろ當然とされてゐる(寫眞は今瀬氏)

# あす！壮絶極まる日英大ラグビー戰

## 英艦乘組の精鋭を邀へ撃つ京城チーム

二日午後一時四十五分仁川港に入港せる英國巡洋艦コーンウオール號には大ブリテンのオールネービー・ラグビーチームにも劣らぬ強いラグビーチームがあることは、廣く知られてゐるので、朝鮮ラグビー協會では、同艦の入港を機とし同艦ラグビーチームを歡迎して、四日午後四時半から京城グラウンドで日英交歡大ラグビー戰を行ふことになつた、もとよりラグビーは英國が本場で、本場で鍛へ上げ洗練しきつた同艦チームの實力は今更說明するまでもないが、殊にそのオープンなゲーム、千種萬態の戰法を手にとる如くみせて、ラグビーの鋭い魅力を思ふさまに發揮するだけに、この國際的大ラグビー戰は本年スポーツ界の劃時代的な催事といはれてゐる

同チームのメムバーは恐く連日潮風にみがかれる士官ばかりでそのラグビースピリットを發揮する堂々たる陣容にも限りない興味がある、しかもこれに對抗するオール京城チームは過日立教に對抗した陣容を更に更新して京大ラグビーに鳴れてゐた鈴木君、立教と覇を争ひ明大を今年卒た桃田君等を加へて、前田(鐵)金(師)福村(京中)稲田(京中)鈴木(鐵)名古屋(鐵)李(師)遠藤(鐵)尹(京中)のそうくを備へハーフに矢野(鐵)飯田(鐵)の逸足を置きスリーコーターは、早田(鐵)上野(鐵)柳(師)李(師)日置(京中)辻田(師)の名手を配してフルバツクはスプリンター鄭(師)を据えて、その堂々たる陣容は遙かに面目を一新し、その強剛ぶりは全く刮目してみるものがあるだけに、四日のこの大會戰はまさに血みどろの熱戰となるだらう。入場料は、メーンスタンド五十錢、普通卅錢、學生廿錢の三種である

コーンウオール號ラ式チーム (左から(後列)ロワーカー。エツブソン。ロンドスミス。ロライン。アガーン。ノツト。(中列)主將マツクリーン。マロダン。アデス。ウクリンゲン艦長。モーテン。(前列)ラフクウアースイン。ネイルビデ。セイヤー。マツキー。ネルーコ。グリーン。イシン副長の諸氏

# 三十萬府民を花でうづめる計畫

## 五、六兩日の花祭り

### この花祭り

はひとり財界穩陰懸を除ふ京城花祭奉讃會の恒例第三回花祭りは五日(火)六日の兩日に亘り盛大に挙行されることになつた

記念讃會の行事のみならずその規模の雄大なる所から京城全市に一大センセーシヨンをまきおこし今や府內行事の一つとして數へあげられる程である、今回は前二回の事實にかんがみ、多少その組織を變更することになつた

### 即ち從來は

陰の四月八日、一日のみを祭日にしてゐたが今回はその前日たる陰の七日(五日)をこれに加へ同夜を前夜祭として此夜午後七時半から公會堂で讃頌を行ひ又鮮銀前、光化門通り、若草町の三ヶ所で大道傳道を行ふことになつた

### 更に全市の

卅萬府民を花で埋めようとの趣旨から京城佛教婦人會の婦人連が總出動し街頭で造花(一つ五錢)を賣ることになつた、更に六日は午前、午後の二回奉祝飛行を府內上空で行ひ機上から散華することになつた、かくて來る六日の府内は奏樂隨喜を說ふ聲で充たされるとであらう

# 鮮展を前にして (13)

## 仲のよい御出品

◇――俵雅亮君御夫妻

家族主義といはれるわが鮮展に俵雅亮君と夫人恵子さんの御兩名は第八回に夏草入選し、睦る睦な家庭生活そのまゝを會場に移し鮮展をめぐつた人々に奨つた愉快な話題を提供したものだ――加藤松林君に夏子夫人が第一部の異彩であるように彼俵君、彼女恵子夫人は鮮展第一部の誇りである、彼は總督府の官吏として職務のかたはら、彼女は家事を司る主婦として研究家中の余暇をみて――殊に日曜日彼氏に彼女は相携へて郊外に、カンバスと繪具を持參して出掛けるのである 彼は今回十五號の風景と李朝器の

二點を出品し、彼女は卅號と卅號の風景二點で、何れも春の牛島サロンを飾らうとする

一日、永樂町のお宅を訪ねると彼は留守、彼女はつゝましやかに語る

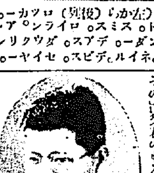
『趣味が一致してゐるのは、よそさまからみればよいやうに見ますがお互に缺點を指摘するものですから常に口論です……』

……がしかし今は口論の彼と彼女であつても出品、それから入選となればその口論もなつかしい語り草となり、その夜の食卓を賑はす

――これがおちである(寫眞は俵君御夫妻)

# 島崎氏醫博に

府内旭町一ノ四島崎病院長島崎龍一氏長男敏雄氏(寫眞)はかねてから大阪醫科大學に論文提出中のところ二日同教授會にて論文通過をみその旨文書のもとに電報があつた



敏雄氏は大正七年京城中學校を卒業し直ちに大阪醫大に入學、同十四年優秀なる成績で卒業、引續き同大學理學診療科に助手として今日に至つたものであるが提出したる論文は主論文として「L線の組織呼吸に及ぼす影響(附紫外線、可視線赤外線)(カセオザン、及びコレステリンの同影響)」「L線放射による血液の酸素消費量増加の本態に就て」他參考論文二篇である(寫眞は島崎敏雄氏)

# 英巡洋艦 仁川入港

## けふ乘組員來城

卅日神戸を出帆せる英國一等巡洋艦コーンウオール號(一萬トン)は二日午後一時四十五分仁川入港月尾島沖に投錨した。總督府の海軍御用掛寺旭中佐、小田通譯官松島仁川府尹、堂本税關長ほか數名は英國領事、ベンネット仁川名譽領事等と共に税關ランチで艦長ダウトビング大佐を訪問、歡迎のあいさつをした。同夜仁川の稲宴ろうに府尹は艦長以下五名を招待歡迎した。同艦は五日正午威海衛に向け仁川を出港するが三日は艦長以下主なる士官は來城、總督府に伺候し總督府を訪問、敬意を表する筈である

# 證人申請をアツサリ一蹴さる

## 朝鮮疑獄事件公判

忠南道廳移轉にからまる不正事件として尾間立顯、谷野滿藏の詐欺被告事件公判は午前に引續き午後二時十分再開、被告谷野滿藏の訊問に移る。身もとしらべより尾間、大村との關係、山梨前總督への獻金につき詳細なる訊問を行ひ午前の公判延における最初 **須々木部長より一萬圓借用したる事實についての尾間の陳述を大體承認し借用に際して道廳移轉問題の許可運動が介在してゐなかつたかとの問ひに** **谷野は合法的にも達成され得る可能性があり以心傳心的に判つてゐたと思ふと答へ** 午後四時谷野の訊問を終了、各辯護士から人の**證人申請をなしたが福田檢事は直下に『全部必要なし』とあつさり一蹴し**合議に入り四時三十分金川裁判長は決定すと宣し須々木篠次郎、和氣孫吉兩名を呼んで取調べるとに決定、第二回公判を十九日午前八時より開廷することにして閉廷した

## 谷野滿藏訊問

裁『移轉問題が成功すれば六萬圓の報酬が出るといふことは知つてゐたのか』

被『大村さんから聞いて知つてゐたが六萬圓といふやうに數字的には知つてゐなかつた、が相當出るとは思つてゐた』

裁『尾間はそれを知つてゐたか』

被『斷識的に話したことがあるので知つてゐたと思ふ』

裁『尾間のことを過大に吹聽し彼に會めば移轉問題は成功すると京城ホテルで大田の有志須々木村君兩人に話したか』

被『そんな意味のことは申しました』

裁『その際賣込した時移轉問題につき極力運動する旨を言つたであらう』

被『それほど強い意味ではありませんが大體そんなことでした』

裁『京城の料亭松葉で一萬圓を受取つたか』

被『小切手で受取り尾**間に五千圓を渡し殘り五千圓は私が入手し取引所問題で東京で費ひました』**

更に四萬圓の金策問題につき裁判長の訊問に對し

裁『四萬圓の金策が出來れば一萬圓は貰つてもいゝといふことであつたがさうか』

被『さうであります』

裁『さういふやうに金がいるなら山梨がいることにして大田の須々木からでも出してもらはう、道廳移轉問題もあることだからと豫審廷で述べてゐるがこれはどうか』

被『これは當時の私の心理狀態が少しかはつてもう少しいひ方が足りなかつたのです』

裁『言ひ方が足りないわけはないではないか、充分いつてゐるではないか、どうか』

被『私としてはもつといへばよかつたと思へてゐるわけで……』

裁『それでは豫審廷の陳述を認めるといふのか、嘘であつたといふのか』

被『嘘ではありませんがどうもその時の私は非常に亂れてゐました』

裁『それでは金策のことは被告から言ひ出したのか、それとも相被告の尾間からか、どちらだ』

被『……誰からといふこともなく……』

裁『尾間からか……腹を言はずに正直に遠慮なく申立てよ』

被『は……』

裁『それでは被告から先に言つたんだらう』

被『は……』

裁『先には誰からといふこともなくと答へこんど被告から先に言つたんだらうとたゞせば『は……』と答へてゐるがその邊はどうなのだ』

被『……』

裁『それではどちらからでもなく言はず二人から言つたわけだなあ、これでいゝわけだらう……』

被『さうであります』

裁**『四萬圓の内一萬五千圓は現金をもつて殘金二萬五千圓は大田土地株式會社所有の土地をもつて大村に金策をなさしめようとしたのかさういふことになつてゐたのか』**

被『はい』

裁『結局受取つた金はどうした』

被『それは私が東京を往復する旅費につかひました。一萬五千圓の時は二千圓の分配をうけその二千圓を東京へ取引所問題で折衝するため費ひました』

裁『その後受けとつた二萬二千圓からどの位の分配をうけたか』

被『四千圓です』

裁『最後の五千圓はどうした』

被『それは全部私が入手しました』

裁『何に使つたか』

被『取引所問題で使ひました』

金の費途につき簡單な訊問を行ひ

裁『受取つた金はその後どういふやうになつてゐるのか』

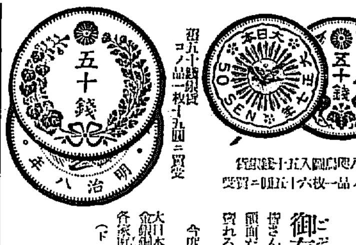
被『一萬五千圓は尾間氏の方から私は一萬圓を不動産で返濟しました』

裁『尾間は三千圓しか返濟しないといつてゐる』

と質し夕刊既報の如き須々木氏よりの手紙を示し『この手紙は被告より出したものではないだらう』と暗示的な陳述を與へ谷野はこれにつき『然らず』と答へ午後四時谷野の訊問を終了した

## 辯論に入る

松本正寛辯護士は大田道廳移轉問題に關し當時藤原警務局長の反對のため移轉運動の挫折するに至つたかどうかを被告尾間に訊ねてくれと裁判長に求め尾間は兩局長のため移轉運動が不利になつた旨を申しその他山梨との關係から當時の轉移狀況を問ひ木尾辯護士は一萬五千圓の金につき山梨の節律から借用した金とどういふ關係にあつたかをたゞして尾間は直接には關係なかつたと答へ他に二、三の疑問の點を問ひ後松本辯護士より大村百藏、小川辯護士より須々木、和氣孫吉兩名、赤尾辯護士より肥田理吉、新井榮吉、木尾辯護士より小寺忠行の證人喚問の申請をしたが前記の如く裁判長は須々木、和氣兩名を呼んで取調べ殘余は後で決定することゝして閉廷した

八圓賣入五十錢銀貨 コノ品一枚六十五圓ニ賣ル
昭五十錢銀貨 コノ品一枚十九圓ニ賣ル

コンナ金儲(かねもうけ)

御存知(ごぞんじ)ですか知らぬと御損(ごそん)です

皆さんは毎日何も知らずに、十錢二十錢、五十錢、その他の貨幣を無頓着に使つてをりますが、年號によつては一枚七十圓にもスグ賣れる一錢銅貨やその他數百圓もする高價なものが澤山あります。

今度文錢堂(ぶんせんどう)が出版しました

大日本古錢金銀銅貨幣銘鑑(めいかん)(圖入り)一冊金二十五錢(送料二錢)を各家庭に備へ用人の貨幣をコノ本によつて調べ大いに儲けて下さい

(ドンドン買入れてをります)

金銀貨幣 古金銀 古錢 類買入

安東縣四番通七丁目三番地 文錢堂 振替口座京城一八七五八番

日本唯一！ 文壇・美術・演劇・映畫・音樂・出版の報道

文藝時報

五週年記念大特輯あり

文藝時報社

標準テレゴグ 電機學校 電氣大講義

全十二冊一年修了 [illegible]

基礎講義 [illegible]

模範 自動車運轉手養成

[illegible]

營業課目

米穀雜貨貿易
兼委託賣買
精米業
外米倖米直輸入
私設倉庫
一般保險代理業

朝鮮鎭南浦 ㋐新井新藏商店

綿

布團綿 中入綿 蒲團 卸小賣

京城本町四丁目 岩見製綿所 電話本局一六〇一番

支店京城本町一丁目 電話本局六二三番

飲料水用 製菓用 香料 無害着色料 染料一般

(アイスクリーム專用レモン香料)

東華洋行 京城府花園町九七 長電話本局二九九一番

せきづい

[illegible]

メダル 帽章 製造

廣島市平田屋町 キシヨウ堂工場 電話九一四一番

時計 指環 [illegible]

大勝堂

不動産競賣公告

[illegible]

昭和五年四月二十八日 京城地方法院洪城支廳

京日案内

外科 内科 花柳病 レントゲン科 性病 淋病 島崎病院 京城旭町一丁目 電話本局二七

お引越荷は ヤマサ 丁寧 低廉 [illegible]

特別案内

恩給 [illegible]

恩給 [illegible]

恩給 [illegible]

外交 [illegible]

譲店 [illegible]

藥局 [illegible]

乳母 [illegible]

募集 [illegible]

四季 [illegible]

賣却 [illegible]

土地 [illegible]

南大門 [illegible]

京城府

差押不動産公賣公告 [illegible]

洗練せる 京城荷札

痔疾専門 國境醫院

# 戀愛黑點（61）

挿畫　嶺田弘

## 繪絹を破る（七）

謙子は暗い春の夜道を彫村の家へ急いで居た。彫村は結局賛成して吳れると思つた。恐らく彫村の方が又何とか辯明をするだらうと想像して居た。

自分ながら山路にあつてからの氣の變り樣に驚く程だつた。謙子は山路の魅力的な言葉や動作に全く屈伏してしまつた自分が嫌しかつた。あく迄受動的に終始すること、謙子の心にまどろむ女性をはつきりとめざめさせたのだ。

『御免下さい』

謙子は今迄になく改まつて、彫村の玄關からはいつた。

『どなた』

彫村の妻の千鶴子がスヰチッをひねつた。謙子は玄關になつてそこに立つて居た。

『まア、謙子さん。さアお上りなさい。いやに改まつてるので、どなたかと思つたわ』

千鶴子はからかいひながら、先程來た千代子の話を思ひ出して、今夜はしつかりといつてやらうと決心した。

千鶴子の室へ謙子は招じ込まれた。食後の果物を千鶴子は用意して居たらしく、林檎が長火鉢のそばの大皿にいれてあつた。

『まアお坐りなさいな。どこへ行つておいでになりましたの、もう會も近いので心配してをりましたよ』

『……』

謙子は千鶴子には別に話す事もないと思つたので默つて居た。

『御作の方はどう。お間に合ひになるの？』

すべてを知りながらも、女同志の意地で千鶴子はからきいた、謙子はからきかれても返事をする氣になれなかつた。

『先生は……』

謙子は物音のせぬ書齋に氣を配りながら訊いて見た。

『今何かしらべものを初めてゐる樣です……三日もお留守だつたのですつてね。どちらへ』

『……』

謙子はまだ答へなかつた。いつもならばどんどん書齋へ入つて行く謙子だつたが、今日はそれが出來なかつた。繪筆を捨てると彫村に話すのは、今の謙子でもさう簡單には思へなかつた。

千鶴子の方では、山路などと一緒に居たので、謙子が物怖おしして居るのだと察して居た。

『もう日もないのですから、既念になさる方がいゝでせう』

千鶴子がかういつた時、謙子は決心してしまつた。

『奥さま、長い間御世話になりましたが、私一寸考へまして、繪をやめようと決心して今夜はあがりましたのです』

『な？どうしたのです、藪から棒に……』

千鶴子の方が狼狽してしまつた。ひよつとすると先程千代子と話した彫村の事などが、謙子に傳つたのではないかと、千鶴子は不安になつた。

『まだ日もない事はないのでせう。構圖は出來て居るつて何ひましたが……』

『はい、私すつかり決心しましたのです』

『どうしてゞす』

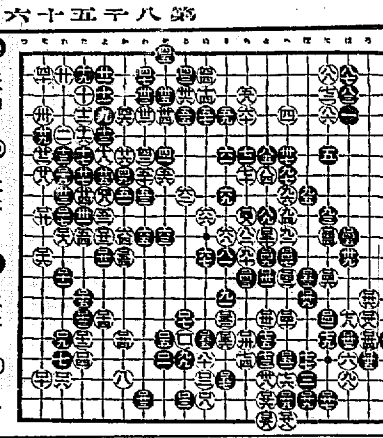
『……』

謙子はすべてを彫村には話すまい決心で居たが千鶴子には話したくもなかつたし、又話すべき筋でもないと思つた。千鶴子は唯狼狽して居るだけだつた。

千鶴子が急に立つて書齋に行つた。謙子は興奮をしづめてヂツト疊を見つめて居た。

## 圍碁新局（七）

先相先先番　村島誼紀　瀬越憲作



[illegible] に十四　[illegible] は十　[illegible] と十一　[illegible] ほ十七　[illegible] り十七
[illegible] へ十二　[illegible] に十二　[illegible] と十　[illegible] か十一　[illegible] と十九
[illegible] ち十二　[illegible] へ十一　[illegible] へ十六　[illegible] ぬ十五
[illegible] に十　[illegible] ち九　[illegible] り十四　[illegible] り十五

## 千字街

◇市内電車側の無停車時間が決まつた。毎月一日から朝七時から四十分間城大前病院前他七ヶ所の停留所は通過

◇本町京電跡の一部を買收した明治製菓賣店いよいよすてきな茶店をやることになつた

◇京城商西館に同胞支配人の洋館が出來たが側面の壁にキザな金文字でMATUSDAとある、ローマ字綴りにしては寧ろ物がとれないと見たものの嘆

## 讀者らん

▲朝のラッシュ・アワーの電車の中での出來事、朝のことゝてみんな一樣に苦り切つた眞面目な顔をしてゐる。一つの冗談でもいふことは、自分の威嚴でも損すると考へてゐるやうに、隣同志と仇敵の樣に言までも無口な乘客ばかり、電車の軋む轟々たるひゞきのみ響けれてゆく、その時一つの低い聲から何んと云ふ愉快な人間が乘つて來たではないか。といふその人は身の丈三尺五寸位のとても低い人間。而も洋服を着てゐるとて面白い妙である。このため今まで眞面目切つた乘客が一齊に[illegible]

と思ふと、乘客が次第々々にゆるみ來つたことである。それと共に電車のなかが急に賑々しくなつたことであつた（傍見生）▲この頃の新聞紙上をみると殘忍極まりなき記事のみによつて埋められてゐる。世の中がこれ程までに暗黑化して來たかを思ふとなさけなくなることの原因はいろ〳〵の方面からいろ〳〵の理由を以て語られるであらうが何んとしても一日もかうした世界からのがれたいものだ（ヘエム生）▲電車が横倒れになつたそれが乘客が七八名しか乘つてゐない全で、空電車のやうであつたのが脫線したといふことは色々の意味において考ふべきである。勿論我々は専門知識を持たないからよく判らないけれども、こんなに簡單に電車が横倒れるといふことは、大切な人間の生命を乘せてゆく社會上重大な交通機關に對して恐怖を感ずる（山本生）▲五月二日の『ファンの聲』における宮戸康夫生上君の『何が彼の女をさうさせたか』における言葉はキネマ旬報の鈴木重三郎の批評と一言一句ちがひない ところが三ところほどあつた樣であるが君は正に京城の映畫ファンを侮らふとしてゐるいはゞ僞評者の樣な者ではないか『何が彼の女をそうさせたか』において彼の女中村すみ子は世の僞評者をのろつた如く君は我々映畫ファンにのろはれるべき僞評者である（一ファン）

## 出版界

▼朝鮮（四月）號文館（朝鮮總督府十五錢）▼朝鮮週報（五三號）論文館（京城水下町四その社六錢）▼印刷雜誌（四號）東京市牛込區矢來町五一その社四十五錢▼教育時論（一六一五號）女子教育の改善に就て（野々村金五郎）貧兒教育の問題（加藤哉太）人文國家論（高瀨興）その他（東京市麹町區三番町六八開發社十八錢）▼昭和之朝鮮（五月）自治問題批判號。日本の帝國道を論じて山梨前總督を檢討す（小笠原省三）その他（東京市赤坂區青山南町五ノ四五その社五十錢）▼科學知識（五月）東京市丸ノ内二ノ六科學知識普及會五十錢▼法律新報（二一六號）東京市丸ノ内三ノ一二その社二十錢▼農業世界（五月）東京日本橋區本石町三丁目博文館四十錢▼新經濟報（四月）創刊十五周年記念號（東京市牛込區築土寺町七ノ一その社二十錢）▼エコノミスト（九月）七周年記念特大號、財界更生特輯（大阪每日新聞社三十錢）▼生保研究（一二一號）大阪市東區高麗橋四ノ八三生命保險研究所二錢▼大阪化粧品商報（九九五號）大阪市東區博勞町二丁目その社十錢▼鮮滿ゴム（九七號）京城南大門通四丁目鮮滿ゴム新報社二十錢▼實業之大阪（五號）悲哀の諸相（森武岡村）フォードとマルクス（土方成美）知識の常識化と社會の發達（新居格明）安田王國解剖錄（永濃清太郎）儀禮を極める今夏のビール戰、九州水力のペテン決算、その他關西、九州の新聞界記事など（大阪市住吉區阿部野通八の一四その社三十錢）▼印刷材料商報（三百五號）大阪市住吉區山王町二の二三その社十八錢▼新興劇合時報（九一號）商務緒合富面の時代的意義、朝鮮の金融組問題の諸問題、その他（大阪市東區南本町二丁目その社十五錢）▼事業之日本（五月）新運命開拓特輯號、恐慌打開を統世的偉人の待望（小竹即一）恐慌救濟投資金融の下（野村兼六）途に缺陷を暴露せる系統補償法運用の正體（小汀利得）失業救濟を時代來る（小林知臣）その他實業界の批判、海外記事など（東京市日本橋區吳服橋町三の七その社四十錢）▼家庭倶樂部（一周年號）三浦兆川主宰、吾等の生活改善の急務（野田富子）その他（京城舟橋町二七三その社二十錢）▼水道（三、[illegible]）


## 大正館

[illegible]
二十九日より超特別大興行 時代劇 新緑の長篇二編が力と天下に誇る松竹現代劇 新興時代 作現代映畫代表的傑作の大作 猶、松竹蒲田撮影所超特作 大作品
深夜の居候 全巻 齋藤達雄、吉川満子主演
外一大力作
戀愛序曲 九卷
新興蒲田の主演女優田中絹代主演、岩村和雄監督による松竹キネマ一九三〇年度超特作
時勢は移る 九卷
林長二郎主演

## 東亞倶樂部

二日より三日間限り 猛烈たる名篇 大破格御入場料割引下席十錢均一
東亞キネマ京都部特作 監督 石田民三
時代劇 狂戀呪文 前後篇 全通し
片岡左衞門

## 沈默

性格名優 エッチ・ビー・ワーナー氏主演 ビーデー・シー特作

## 中央館

マキノ キネマ
五月二日より特選大映畫の公開
學生三代記
マキノプロダクション御室スタヂオ 第一回作品

## 浪花館

五月三日四日午後六時より
淨瑠璃大會（入場無料）



# 鼻の疾病には――

炎症を去り 腫脹を退かせ 鼻腔内分泌腺を調節し 鼻病に確實なる效ある

◎ミツワ鼻病液

# ◎ミツワ鼻病液

みつわ・はなのくすり

定價 入場 四十錢

醫學博士 小平 監督

適應症候
鼻閉塞、鼻充血、鼻加答兒、鼻汁過多、鼻出血、臭鼻症、鼻粘膜腫脹

取次販賣 規定御申越次第呈上

御申越次第送呈 ミツワ家庭醫三十二方を說明せる小冊子あり

○ミツワ石鹼本舖 東京 丸見屋商店



# 投網 釣具

優良と低廉

四分目 二尋 十二圓
五分目 二尋半 十三圓
霞網 三間 三圓
其他網糸製各種

京城永樂町二丁目
漁具商 北井備商會
振替京城四三一八番

定價表（御小窗共）送呈



絹羽二重の 肌とはむかし 今は 牛乳石鹼の 肌と云ひたし

# 牛乳石鹼

S.K.147



# 耳鼻咽喉科診察

京城府黄金町（電本四二二）醫學博士 阪井清
自午前九時至十二時 自午後二時至六時



雨が降つてもこさへあれば……大丈夫
登錄商標 天狗印……強固無類

# 棕櫚蓑 及び 棕櫚マット 田植用繩

其他棕櫚製品一式卸問屋
紀伊棕櫚蓑株式會社滿鮮營業所
大田驛前（電話二九番）
畑商會

カタログ進呈



# 文化夜具入

値下斷行
品質優良絶對他品の追從を許さず

生ズック上 三枚入 四枚入 五枚入
茶ズック上 三枚入 四枚入 五枚入
茶ズック別上 三枚入 四枚入

（外に三木綿帯附あり網賃は各々一圓上り）

鞄製造販賣
京城本町一丁目 高木鞄店
（電話本局二一五三四番）
（地方の御注文は代金引換にて送ります）



一ヶ月孵化能力一萬羽
一ヶ月六回孵化
御注文は代田孵卵場へ
大邱東雲町八四



資本金一五千萬圓
株式會社 山口銀行京城支店
本店 大阪市



## 鳴谷汽船仁川出帆

○寄港地…天津、大連、鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊、眞岡、釧路、厚岸、根室、○各船共總噸數二千噸以上ノ優秀貨客船ニシテ○網走、[illegible]
大連天津直行（大連天津直航）
○但シ須磨丸ハ貨物船也

## 仁川發

△鮮海丸 五月十七日未明
△大成丸 五月十日未明
△長應丸 [illegible]
△須磨丸 [illegible]
裏日本北海道 華太行（釜山、木浦經由）

## 鎭南浦發

△鮮海丸 五月廿二日午後
△大成丸 五月十五日午後
△長成丸 五月十五日午後
△須磨丸 五月一日午後
（鎭南浦港地、新港）

## 仁川發

△鮮海丸 五月廿二日午後
△大成丸 五月二十三日午後
△長成丸 五月十六日午後
△須磨丸 五月一日午後
（臨時寄港地、新港）
○各船共二千噸級優秀貨客船ニシテ無線電信設備アリ
代理店 仁川本町四 日鮮海運株式會社

## 尼ヶ崎汽船仁川出帆

群山、木浦、阪神行 ○鮮一丸 五月二日
群山、木浦、阪神行 ○生駒丸 [illegible]
[illegible]
仁川代理店 高杉回漕部（電話一九番）

## 辰馬汽船仁川出帆

[illegible]
仁川代理店 朝日組回漕部

## 大阪商船汽船出帆

仁川出帆
○神戸、大阪行（群山、木浦經由）
△温州丸 五月一日
△鳥海丸 [illegible]
△海城丸 [illegible]
△神天丸 [illegible]
△嘉州丸 [illegible]
△ひよどり丸 [illegible]
△青山丸 [illegible]
△釜南丸 [illegible]
●大連行 ●長崎、鹿兒島、三角行
●基隆、高雄行
●内地各港出帆主要航路
京城代理店 國際運輸株式會社支店
大阪商船株式會社支店

## 森信汽船仁川出帆

江華線 毎日往復
延安線 隔日往復
富里浦線 隔日往復
南陽浦線 [illegible]
瑞山線 [illegible]
連絡荷物其他各沿岸行汽船發着
森信汽船會社

## 日本郵船出帆

歐洲行 箱根丸 五月[illegible]
伊勢行 靖國丸 [illegible]
濠洲行 加茂丸 [illegible]
▲右之外各地共臨時配船致シ船便ノ御用ヲ取計ヒ居候

## 朝鮮汽船出帆廣告

釜山出帆 取扱店釜山本店
麗水行 [illegible]
木浦行 [illegible]
群山行 [illegible]
濟州行 [illegible]
木浦出帆 取扱店木浦支店
釜山行 各港寄港 毎日午後八時
朝鮮郵船株式會社 京城南大門通り
本局 四一九六 四一八四
釜山支店 大倉町
元山支店 海岸通
仁川出張所 海岸町
京城代理店 國際通運會社

## 仁川汽船出帆

濟州行 直行・毎月出帆
延安行 [illegible]
仙岳行 [illegible]
德積行 [illegible]
[illegible]
各沿岸行汽船荷物取扱
鐵道荷物取扱ヶ陸送部
仁川府本町四丁目
仁川汽船株式會社

## 定期出帆朝鮮郵船

博多航路（博多行）
淸江丸 五月九日 新義州經由
五月六日
釜山丸 [illegible]

威北丸
（木浦行）
京城、群山、木浦

## 仁川發

東京行 長門丸 [illegible]
大阪行 天安丸 [illegible]
[illegible]
代理店 國際通運支店

## 木浦出帆

[illegible]
代理店 木浦支店

## 釜山出帆

取扱店大池回漕店
[illegible]

## 元山出帆

代理店國際通運支店
[illegible]